

目 次

全学共通

関西学院大学の理念・目的	1
KG学士力	1
授業スケジュール・行事予定カレンダー（2014年度）	2
授業科目の履修にあたって	4
1. 単位	
2. 履修基準年度	
3. 授業時間	
4. 授業時間帯等	
5. 成績評価・試験	
6. GPA制度	
7. 授業科目の内容	
8. 授業に関する調査	
9. 複数分野専攻制	
10. マルチプル・ディグリー制度	
11. 教職課程等	
成績評価・試験規程（抜粋）	10
大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び交通機関ストライキの場合等の取扱要領（抜粋）	11
履修・学習要覧webサイトの紹介	12
一般注意事項	16
1. 学生証	
2. 掲示	
3. 学部事務室開室時間	
4. 各種変更手続き	
5. パソコンの利用	
6. 証明書等	
7. 授業の欠席	
8. 授業の長期欠席	
9. 学費	
10. 各種相談	

経済学部

経済学部の理念・目的・教育目標	21
経済学部ディプロマ・ポリシー	22
経済学部カリキュラム・ポリシー	22
経済学部の内規	23
I. カリキュラムについて	27
1. カリキュラムの概要	27
卒業に必要な単位数	
2. 総合教育科目について	28
卒業に必要な単位数	
キリスト教科目	
言語教育科目	
言語専門科目〈2012年度入学生〉	
導入教育科目	
スポーツ科学・健康科学科目	
情報科学科目	
学際・連携科目〈2012年度入学生〉	
グローバルスタディーズ科目〈2013年度以降入学生〉	

ライフデザイン科目	
基盤・学際科目〈2013年度以降入学生〉	
他学部開設の専門教育科目	
3. 専門教育科目について	34
卒業に必要な単位数	
コード番号体系	
基礎科目	
入門科目	
分析ツール科目	
コース標準科目・コース応用科目	
コース関連科目	
各コースの説明	
各コースの履修計画例	
複数分野専攻制（MS）	
4. 教職等資格科目について	45
教職等資格科目（1）	
教職等資格科目（2）	
その他資格科目	
5. 先修科目について	46
II. 履修登録について	47
履修登録	
単位数制限（各学期）について	
履修上の注意点	
Webによる履修登録	
コース選択について（2年生・4年生）	
履修関係スケジュール	49
III. 試験・レポート等について	73
試験について	
出席制について	
レポートについて	
レポートにおける剽窃に対する処分について	
チャペルについて	
IV. 教育課程表	77
2013・2014年度入学生	
2012年度入学生	

関西学院大学の理念・目的

関西学院大学はその理念とするキリスト教主義に基づき、教育基本法および学校教育法の規定するところに従い、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、人格を陶冶することを目的とする。

本学初代学長（第4代院長）C. J. L. ベーツが提唱したスクールモットー“Mastery for Service（奉仕のための練達）”は、関西学院の建学の精神を簡潔に表現するものであり、「社会貢献のためにこそ実力を身につけよ」と解されている。本学は、知性を、そして自らが持つすべての豊かさを、隣人のために用いることを強調するとともに、創立当初から培われてきた国際性と社会貢献への使命感を身につけた世界市民の育成を重視する。

本学は、教育においては、全人的教養および専門的知識・技能を修得させるとともに、広く創造力、課題発見能力、課題解決能力そして実行力を培うことをめざす。また、研究においては、本学として特色ある基礎研究を強化しつつ、応用研究および先端的研究を発展充実させるとともに、研究成果を社会に還元して、社会貢献することをめざす。

KG学士力

関西学院大学の学生が、関西学院の「めざす人間像」である「“Mastery for Service”を体現する世界市民」となるために、卒業時に学部で区別なく共通して身につけておくべき知識・能力である「KG学士力」を次のとおり定める。

“Mastery for Service”を体現する世界市民をめざし、キリスト教主義教育をとおして、世界への視野、幅広い知識、深い専門性、豊かな人間性と自らを律する強さを身につけ、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くために貢献しつづける力

（具体的要素）

1. [関心・意欲・態度] 自律的な態度と社会に貢献しようとする姿勢
 - ・自らを律する強さを持ち、他者と協力してよりよい人間関係や社会を築くための基本的な態度を身につけている。
 - ・世界への視野をもって、社会への深い関心を抱き、生涯にわたって学び、考えていく意欲を持っている。
2. [知識・理解] 幅広い知識と深い専門性
 - ・社会、文化、人間、自然についての幅広い知識と、多角的な視点を身につけている。
 - ・専攻分野の知識を体系的・構造的に理解し、その分野に固有の視座や思考方法を身につけている。
3. [技能・表現] 実践的な学習技能とコミュニケーション力
 - ・情報収集力、データ分析力、論理的思考力、表現力などの技能を身につけている。
 - ・日本語と特定の外国語をもちいて、他者と円滑にコミュニケーションできる力を身につけている。
4. [思考・判断] 課題解決のための総合的思考・判断力
 - ・現代社会における課題に取り組むための課題発見力、創造的思考力および課題解決能力を身につけている。

「KG学士力」は、キリスト教主義に基づく本学の学部教育、それらを補完する全学科目によって育まれるとともに、学生生活（正課外教育や課外活動等）を通してさらに深化・強化されるものである。また、各学部のディプロマ・ポリシーは上記の「具体的要素」をもとに、各学部の専門性と個性を生かして別途設定される。

授業スケジュール・行事予定カレンダー（2014年度）

■は日・祝日、■は授業期間、□は定期試験・中間試験期間

※下記授業期間以外に集中講義を行う場合がある。

*暴風警報・特別警報発令、交通機関ストライキなど、不測の場合の措置については、「大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び交通機関ストライキの場合等の取扱要領（抜粋）」を参照すること。

春学期●4月1日～9月19日

	日	月	火	水	木	金	土	
2014								
				1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12	4月1日(火)、2日(水) 春学期入学式
4	13	14	15	16	17	18	19	4月2日(水)、3日(木) 定期健康診断（西宮聖和）
	20	21	22	23	24	25	26	4月3日(木)～5日(土) 履修指導
	27	28	29*	30				4月7日(月) 春学期授業開始
								4月7日(月)～11日(金) 定期健康診断（神戸三田） (7日～8日……女子、9日～11日……男子)
								4月7日(月)～18日(金) 定期健康診断（西宮上ヶ原） (7日～11日……女子、14日～18日……男子)
								※4月29日(火・祝) 授業実施日
					1	2	3	※5月6日(火・祝) 授業実施日
	4	5	6*	7	8	9	10	5月13日(火)、14日(水) 春季・大学合同チャペル
5	11	12	13	14	15	16	17	5月31日(土) TOEIC実施日
	18	19	20	21	22	23	24	(対象者：神・文・社会・法・経済・商・人間福祉学部の1年生全員)
	25	26	27	28	29	30	31	
		1	2	3	4	5	6	7
		8	9	10	11	12	13	14
6	15	16	17	18	19	20	21	6月28日(土) TOEIC実施日
	22	23	24	25	26	27	28	(対象者：理工・教育学部の1年生全員、神・社会・法・商・理工・人間福祉・教育・国際学部の3年生全員)
	29	30						
				1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12	7月14日(月) 春学期授業終了 (教育学部開講科目の一部のぞく)
7	13	14	15	16	17	18	19	7月15日(火) 春学期補講
	20	21*	22	23	24	25	26	※7月21日(月・祝) 春学期定期試験・中間試験実施日
	27	28	29	30	31			
					1	2		
	3	4	5	6	7	8	9	8月4日(月)、5日(火) 春学期追試験
8	10	11	12	13	14	15	16	8月6日(水)～9月19日(金) 夏季休暇
	17	18	19	20	21	22	23	8月11日(月) 春学期成績発表
	24	25	26	27	28	29	30	
	31							

	日	月	火	水	木	金	土		
			1	2	3	4	5	6	9月17日(水) 春学期卒業式
	7	8	9	10	11	12	13		9月18日(木) 秋学期入学式
9	14	15	16	17	18	19	20		9月22日(月) 秋学期授業開始
	21	22	23	24	25	26	27		9月28日(日) 創立記念日(創立125周年)
	28	29	30						

秋学期●9月20日～3月31日

	日	月	火	水	木	金	土		
					1	2	3	4	※10月13日(月・祝) 授業実施日
	5	6	7	8	9	10	11		10月16日(木)、17日(金) 秋季・大学合同チャペル
10	12	13*	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30	31			

	日	月	火	水	木	金	土	
							1	※11月3日(月・祝) 授業実施日
	2	3*	4	5	6	7	8	※11月24日(月・祝) 授業実施日
11	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24*	25	26	27	28	29	
	30							

	日	月	火	水	木	金	土		
			1	2	3	4	5	6	12月8日(月) クリスマス大学合同チャペル
	7	8	9	10	11	12	13		※12月23日(火・祝) 授業実施日・冬季休暇前授業終了
12	14	15	16	17	18	19	20		12月24日(水)～1月5日(月) 冬季休暇
	21	22	23*	24	25	26	27		
	28	29	30	31					

2015

	日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	3	1月6日(火) 冬季休暇明け授業開始
	4	5	6	7	8	9	10	1月9日(金) 秋学期授業終了 (教育学部開講科目の一部のぞく)
1	11	12	13	14	15	16	17	1月13日(火) 秋学期補講
	18	19	20	21	22	23	24	1月14日(水)～28日(水) 秋学期定期試験
	25	26	27	28	29	30	31	

	日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6	7	2月12日(木)、13日(金) 秋学期追試験
	8	9	10	11	12	13	14	2月19日(木) 秋学期成績発表
2	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	

	日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6	7	3月18日(水) 秋学期卒業式
	8	9	10	11	12	13	14	
3	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					

授業科目の履修にあたって

本学のカリキュラム（教育課程）は、「大学学則」及び「学部内規」に基づいて体系的につくられている。本学を卒業するためには、このカリキュラムに沿って単位を修得しなければならない。履修にあたっての詳細な説明及び手続については、本冊子を熟読すること。

1. 単位

大学では単位制がとられている。各授業科目は学則で単位数が定められており、一つの授業科目を所定の期間履修し、最終評価において合格することにより単位が与えられる。

文部科学省令である「大学設置基準」の第21条では、「1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準」と定めている。本学では学則第18条において、講義科目及び演習科目については15時間の授業をもって1単位とし、言語教育科目、実験科目、実習科目及び実技科目については、30時間の授業をもって1単位とすると定めている。つまり、講義科目及び演習科目については30時間、言語教育科目、実験科目、実習科目及び実技科目については15時間の授業外学習が必要である。

なお、卒業に必要な単位数は学部により異なるので本冊子を参照すること。

2. 履修基準年度

各授業科目には、単位とともに履修基準年度が定められている。履修基準年度とはその授業科目を履修できる最低学年度を表すものである。

履修基準年度1年……第1・2・3・4学年度生が履修できる。

履修基準年度2年……第2・3・4学年度生が履修できる。

履修基準年度3年……第3・4学年度生が履修できる。

履修基準年度4年……第4学年度生が履修できる。

3. 授業時間

毎週1回あたりの授業時間は90分であるが、制度上これを“2時間”としている。

4. 授業時間帯等

(1) 本学における授業・試験等の時間帯は次のとおりである。

(i) 通常授業、定期試験・中間試験、補講・集中講義^(※) 時間帯

第1時限	9：00～10：30
チャペルアワー	10：35～11：05
第2時限	11：10～12：40
昼食時休憩	12：40～13：30
第3時限	13：30～15：00
第4時限	15：10～16：40
第5時限	16：50～18：20

※ただし夏季・冬季・春季休業期間中の集中講義の時間帯は表 (iii) による。

(ii) 追試験時間帯

第1時限	9：30～10：30
第2時限	10：40～11：40
第3時限	12：30～13：30
第4時限	13：40～14：40
第5時限	14：50～15：50

(iii) 夏季・冬季・春季休業期間中の集中講義の時間帯

第1時限	9：10～10：40
第2時限	10：50～12：20
第3時限	13：10～14：40
第4時限	14：50～16：20
第5時限	16：30～18：00

※集中講義の時間帯は科目により異なることがある。異なる場合はシラバスや履修の手引き等に明記されるので確認すること。

(2) キャンパス間の移動を伴う履修について

(i) 西宮上ヶ原キャンパス・西宮聖和キャンパスと神戸三田キャンパス
連続した授業の履修は不可。

(ii) 西宮上ヶ原キャンパスと西宮聖和キャンパス

連続した授業の履修は不可。ただし、チャペルアワーを挟んだ1時限目と2時限目および昼休みを挟んだ2時限目と3時限目の連続履修については可能とする。

(3) 暴風警報・特別警報発令、交通機関ストライキなど不測の場合の措置については、大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び交通機関ストライキの場合等の取扱要領（抜粋）〈後掲〉を参照すること。

5. 成績評価・試験

履修した授業科目は、その学修の成果について試験（定期試験、中間試験及び追試験）や平常評価（レポート、勉学態度等）など授業担当者の教育方針及び評価方針に基づいて、成績評価が行われる（シラバス参照）。成績評価・試験については、成績評価・試験規程（抜粋）〈後掲〉を参照すること。

6. GPA制度

(1) 制度と設定基準

本学ではGrade Point Average（以下、GPAという）制度を実施している。本制度は、各自が履修した科目の成績評価に対して、一定のGrade Point（以下、GPという）を与え、その合計の加重平均をGPAとして提示する成績評価方法である。この制度を通じて、学生自身が自分にとって必要とする科目が何かを考えること、自己の履修を管理し、学習成果がどのレベルに位置するかを把握し、さらなる勉学意欲を高めるための指標とすることが重要である。GPAは、各自の成績表・成績証明書に掲載する。

本学でのGPの設定基準と、GPA算出式は以下のとおりである。

【GPの設定基準】

100～90点又はS評価の場合のGPは4

89～80点又はA評価の場合のGPは3

79～70点又はB評価の場合のGPは2

69～60点又はC評価の場合のGPは1

59～0点又はF評価の場合のGPは0

【GPA算出式】

$$\text{GPA} = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目の評価のGP})] \text{の総和}}{(\text{履修登録した単位数}) \text{の総和}}$$

【GPA算出例】

■2011年度入学生 Aさんの場合 GPA 2.89

履修年度	科目名	単位数	点数	GP
2011	キリスト教学A	2	82	3
2011	基礎演習	4	87	3
2011	英語 I a	1	75	2
2011	コンピュータ基礎	2	83	3

〈GPAの計算例〉

$$\text{AさんのGPA} = \frac{(2 \times 3) + (4 \times 3) + (1 \times 2) + (2 \times 3)}{2 + 4 + 1 + 2} = 2.89$$

■2011年度入学生 Bさんの場合 GPA 2.0

履修年度	科目名	単位数	点数	GP
2011	キリスト教学A	2	82	3
2011	基礎演習	4	87	3
2011	英語 I a	1	50	0
2011	コンピュータ基礎	2	45	0

↓ 2012年度に「英語 I a」と「コンピュータ基礎」を再履修

履修年度	科目名	単位数	点数	GP
2011	キリスト教学A	2	82	3
2011	基礎演習	4	87	3
2011	英語 I a	1	50	0
2011	コンピュータ基礎	2	45	0
2012	英語 I a	1	75	2
2012	コンピュータ基礎	2	69	1

GPA 1.83

なお、GPAの算定対象には、卒業に必要な単位であるかどうかなどにかかわらず本学で開設している全ての科目が含まれる。ただし、認定する科目については、GPを与えず、GPAの算定対象科目としない場合もある。

(2) 履修の中止

GPA制度の主旨に則り、授業開始約2カ月後の時点において、各学部等が定めた科目において、所定の手続き（教学Webサービスで申請）をすることにより履修の中止をすることができる制度も併せて設けている。

〈申請期間〉 春学期：5月6日（月）～5月30日（金）

秋学期：11月7日（月）～11月21日（金）

(3) 成績優秀者の顕彰

成績優秀者は、学期毎に掲示により顕彰している（掲示する基準等については各学部にて異なる）。学期ごとの顕彰とあわせて、2009年度よりGPA上位5%の者に対し、第2・3・4学年度末に顕彰している。第2・3学年度末には1年間、第4学年度末には4年間のGPAについて顕彰している。特に、4年間のGPA上位5%の卒業生には、卒業式に学長名のGPA表彰状を授与する。また学部によっては、成績優秀者に対して履修単位数制限の緩和措置を行っている場合があるので、履修単位数制限、履修登録のページなどで確認すること。

7. 授業科目の内容

各科目の講義目的・到達目標、各回ごとの授業内容、成績評価方法・基準、準備学習などは、ネット上のシラバスで公開されている。授業科目の履修にあたり十分に活用すること。シラバスは、Webサイト（<http://www.kwansei.ac.jp/r/syllabus/>）へアクセスすれば学内および学外から閲覧できる。

なお、シラバスの内容は授業の進行にあわせて変更することがあるので、必ず授業中の担当者の指示あるいは学部等の掲示板で確認すること。

8. 授業に関する調査

本学ではよりよい授業づくりのために、「授業に関する調査」を実施している。授業に関する建設的な意見や感想を授業に活かしていくため、履修学生が責任ある態度で回答することが求められる。調査の方法は各教員により異なり、授業中にアンケート用紙等を用いて行う場合やネットを利用して行う場合があり、その方法についてはシラバスに掲載されている。

9. 複数分野専攻制〔Multidisciplinary Studies (MS)〕

2014年度より略称をMDSからMSに変更。制度内容の変更はない。

この制度は、他学部や学部以外のセンター等から提供されたプログラムのもと、学部の枠を越えた学問領域を学ぶことによって、幅広い知見と深い専門性を備えた学生を輩出するために設けられている。単なる他学部履修とは異なり一定の体系づけられたプログラムを履修することにより、1つの学部に所属しながら、あたかも2つの学部に所属しているような形で学ぶことができる。プログラムの内容、募集要領等詳細については、入学時に配布している『複数分野専攻制への扉』を参照すること（理工学部を除く）。

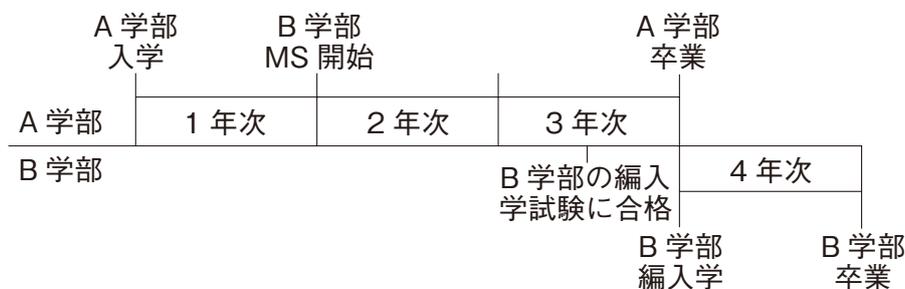
10. マルチプル・ディグリー制度

2014年度から制度名称を「ジョイント・ディグリー制度」から「マルチプル・ディグリー制度」へ変更。制度内容の変更はない。

この制度は、上記のMSを利用して、2つの学部を卒業（2つの学位を取得）することができる制度である。2004年度以降の入学生が対象となる。制度の概要は、「A学部在学中にB学部提供のMSプログラムを履修し、1つ目のA学部を卒業、その後B学部に編入学制度で入学し、A学部在学中に修得した単位の一部とB学部提供のMSプログラムで修得した単位についてB学部で認定を受け、B学部卒業要件の残りの単位を修得して2つ目のB学部を卒業する」というものである。B学部に編入学制度で入学するには、早期卒業制度を利用する場合は3年次の秋学期に、通常卒業を利用する場合は4年次の秋学期に編入学試験を受験し、合格することが必要である。成績優秀者で早期卒業制度を利用できる場合は、A学部を3年で卒業し、最短の4年間で2つの学位を取得することができる。2つの学位を取得するケースとしては以下のとおりである。なお、「早期卒業制度」が適用される学部、「4年次編入」制度が設置されている学部は限られており、該当する学部を各ケースに示している。詳細は教務部教務課または学部事務室へ問い合わせること。

■ 4年で2学位を取得するケース（最短）

「早期卒業制度」と「4年次編入」の併用



A学部：社会・法・経済・人間福祉・国際学部が該当。

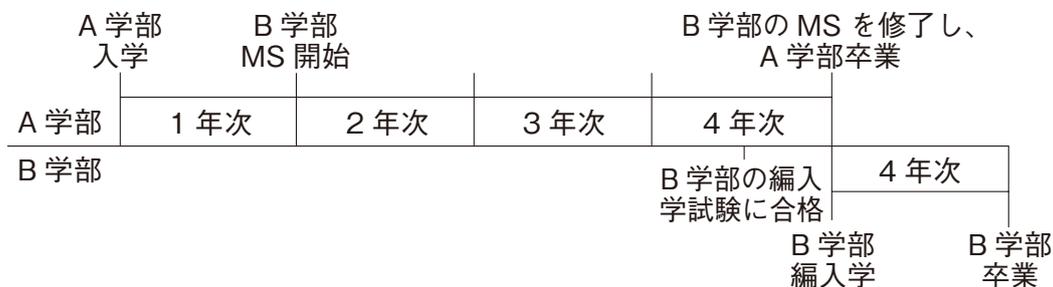
1年次に入学後、A学部所定のカリキュラムを履修しながら、2・3年次開始のB学部MSプログラムを履修し、「早期卒業制度」により3年間で卒業。

B学部：神（2014年度より受入）・文・社会・法・経済・商・国際学部が該当。

B学部4年次に編入学し、B学部の卒業要件のうちの残りの単位を1年間で修得して卒業。

■ 5年で2学位を取得するケース（1）

「通常卒業」と「4年次編入」の併用



A学部：神・文・社会・法・経済・商・人間福祉・教育・国際学部が該当。

1年次に入学後、A学部所定のカリキュラムを履修しながら、2・3年次開始のB学部MSプログラムもあわせて履修し、4年間で卒業。

B学部：神（2014年度より受入）・文・社会・法・経済・商・国際学部が該当。

B学部4年次に編入学し、B学部の卒業要件のうちの残りの単位を1年間で修得して卒業。

- 5年で2学位を取得するケース（2）
「早期卒業制度」と「通常（3年次）編入」の併用



A学部：社会・法・経済・人間福祉・国際学部が該当。

1年次に入学後、A学部所定のカリキュラムを履修しながら、2・3年次開始のB学部MSプログラムを履修し、「早期卒業制度」により3年間で卒業。

B学部：文・社会・経済学部が該当。

B学部3年次に編入学し、B学部の卒業要件のうちの残りの単位を2年間で修得して卒業。

11. 教職課程等

- 中学校、高等学校の教育職員1種免許状を取得したい者は、入学時に配付の『教職課程等履修要項』を参照すること。ただし、教育学部の学生は教育学部の履修心得を参照すること。
 - 幼稚園、小学校の教育職員1種免許状及び保育士の各資格を取得したい者は、教育学部の履修心得を参照すること。ただし、これらの資格取得は教育学部生に限られる。
 - 学校図書館司書教諭・博物館学芸員・社会教育主事*の各資格を取得したい者は、入学時に配付の『教職課程等履修要項』を参照すること。ただし、教育学部の学生は教育学部の履修心得を参照すること。
- ※2014年度以降入学生は社会教育主事資格を取得できない。

成績評価・試験規程（抜粋）

- 第1条 この規程は、本大学学生の成績評価及び試験等について必要な事項を定めることを目的とする。
- 第2条 授業科目及び卒業論文の成績は、試験等の方法により学修の成果について、これを評価する。
- 第3条 試験は定期試験、中間試験及び追試験に分ける。
- 第4条 定期試験は春学期末及び秋学期末の所定の期間に一定の時間割により行う。
- 第5条 中間試験は通年の授業科目について、春学期末の所定の期間に一定の時間割により行うことができる。
- 第6条 追試験は定期試験にさいして病気その他やむを得ない事由により受験できなかった者に対し、当該授業科目について行うことができる。
- 第7条 定期試験、中間試験及び追試験は筆記又は口答とし、報告又は論文をもって代えることができる。
- 第8条 定期試験、中間試験及び追試験はすべて当該学部教授会が担当する。
- 第9条 定期試験、中間試験又は追試験を受験する者は試験場において、原則として本大学所定の学生証を机の上に置いて受験しなければならない。
- 第10条 追試験を受けるためには、受験することができなかった事由の証明書又は報告書（病気による場合は医師の診断書）を添えて追試験願を学部長宛に提出し、教授会の承認を得なければならない。
- 2 追試験を受ける者は、所定の受験料を学院財務課に納入しなければならない。ただし、次の受験者については受験料を免除する。
 - イ 学校保健安全法施行規則に定める「学校において予防すべき感染症」のため登校停止となった者。
 - ロ 裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続に参加する者及び裁判員・補充裁判員として職務に従事する者。
- 第11条 定期試験、中間試験又は追試験にさいして自然災害又は公共交通機関の運行停止等の事由により受験できなかった者に対し、全学的な対応として、当該授業科目について代替試験を行うことができる。
- 2 代替試験は教務部長の判断により行う。
 - 3 代替試験の実施は当該学部教授会が担当する。
 - 4 本規程第7条及び第9条はこれを代替試験に準用する。
 - 5 追試験の代替試験については、論文に代えることができる。
- 第12条 代替試験を受けるためには、受験することができなかった事由を証明又は説明する書面を添えて代替試験願を学部長宛に提出しなければならない。
- 2 代替試験については受験料を徴収しない。
- 第13条 定期試験、中間試験、追試験及び代替試験によらず、平常評価による成績評価を行うことができる。
- 第14条 成績評価は、秀又はS（90点以上）・優又はA（80点以上）・良又はB（70点以上）・可又はC（60点以上）、及び、不可又はF（60点未満）とし、秀又はS・優又はA・良又はB、及び、可又はCを合格とする。
- 2 前項の成績評価に対してグレードポイントを与える。秀又はS（90点以上）は4、優又はA（80点以上）は3、良又はB（70点以上）は2、可又はC（60点以上）は1、及び、不可又はF（60点未満）は0とする。
- 第15条 追試験の成績は原則として減点する。
- 第16条 代替試験の成績は減点しない。ただし、追試験の代替試験の成績は、追試験に準じて取り扱う。
- 第17条 成績評価の結果は一定の期間内に授業科目担当教員によって、教授会に報告されなければならない。
- 第18条 次の者は試験等を受け、成績評価を得ることができない。
- 1 履修の届出をしていない者
 - 2 学費未納者
 - 3 教授会において受験することを不相当と認めた者
- 第19条 この規程に基づいて、各学部は運用のための内規を定めることができる。
- 備考
- 1 第10条第2項の受験料は、1科目について1,000円とする。
 - 2 第14条に定める他に、認定する科目についてはグレードポイントを与えず、Pと表記する。

大学学部の授業・試験実施に関する警報発令及び交通機関ストライキの場合等の取扱要領（抜粋）

この取扱要領は、警報発令及び交通機関ストライキの場合等の、学部における授業・試験の実施について定めるものである。

- 1 別表のいずれかの地域、市町村に暴風警報、特別警報（大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪）が発令された場合は授業を行わない。ただし、授業時間中の場合は学長の判断による。
- 2 暴風警報、特別警報発令状況と授業実施については次のとおりとする。
 - ①午前6時までで別表の地域全ての暴風警報が解除されたときは、平常どおり授業を行う。
 - ②午前8時までで解除されたときは、第2時限から授業を行う。
 - ③午前10時30分までに解除されたときは、第3時限から授業を行う。
 - ④午後0時までで解除されたときは、第4時限から授業を行う。
 - ⑤午後0時を過ぎても解除されないときは、全日休講とする。
 ただし、神戸三田キャンパスで行われる授業は、午前6時の時点で解除されていないときは、全日休講とする。
- 3 特別警報に位置付ける警報（津波、火山、地震（地震動））が発令された場合は学長の判断による。
- 4 阪急電鉄ストライキの場合は授業を行わない。
- 5 阪急電鉄ストライキに伴う授業実施については暴風警報発令の場合と同じ取扱とする。
 なお、神戸三田キャンパスで実施する授業は、西日本旅客鉄道（JR西日本）、神戸電鉄、神姫バスのいずれかがストライキの場合も同じ取扱とする。
- 6 試験についても前4項に準ずる。ただし、試験時間中の場合は学長の判断による。
- 7 警報発令及び交通機関ストライキに準ずる不測事態が発生した場合は、学長の判断による。
- 8 この取扱要領の改廃は大学評議会において決定する。

（略）

附則

（略）

- 7 この取扱要領は、2013年（平成25年）10月4日から改正施行する。

別表

	地域	市町村
兵庫県	阪神	神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町
	北播丹波	西脇市、篠山市、丹波市、多可町
	播磨南東部	明石市、加古川市、三木市、高砂市、小野市、加西市、加東市、稲美町、播磨町
大阪府	大阪市	大阪市
	北大阪	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町
	東部大阪	守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、交野市
	南河内	富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村
	泉州	堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町

履修・学習要覧Webサイトの紹介

本学では、大学での学びに関する基本的な事項をまとめた「履修・学習要覧Webサイト」(<http://www.kwansei.ac.jp/youran>)を提供している。このサイトの主な掲載事項は次のとおりである。科目を履修するにあたって最低限の情報が掲載されているので、必ず目を通しておくこと。

■大学、学部の理念・目的・教育目標

■「KG学士力」および各学部のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

■関西学院大学学則等 諸規程

学則とは大学の構成、カリキュラム、卒業、休学、編入学、学生心得など関西学院大学での学生生活の大もととなる規則である。本学の学生は必ず目を通しておくこと。

また、その他の諸規程（学費、成績評価・試験、警報発令時の授業等の取扱、奨学金、諸施設利用、留学に関する規程等）も本サイトに掲載している。

なお、各学部等事務室のカウンターにも閲覧用資料を設置しているので参照すること。

■シラバス（授業実施要綱）

今年度開講されている科目の概要や各回ごとの授業内容などを確認することができる。

■全学科目、教職等資格関連科目の説明

全学科目とは、学部以外のセンター等が提供している科目で、基本的に全ての学部の学生が履修することができる。学部を超えて、他の学部の学生と一緒に学ぶことができるなど、学部提供の科目とは異なった魅力がある。

全学科目、教職等資格関連科目には次のような科目群があり、それぞれの科目群の説明が掲載されている。

【2012年度以前入学生】

▽言語教育科目 ▽言語専門科目 ▽スポーツ科学・健康科学科目

▽情報科学科目 ▽学際・連携科目（学際科目群，国連科目群，国際科目群，
ライフデザイン科目群，連携科目群，エクステンション科目群）

▽教職に関する科目，学校図書館司書教諭課程関連科目，博物館学芸員課程関連科目，社会教育主事資格関連科目

【2013年度以降入学生】

▽言語教育科目 ▽スポーツ科学・健康科学科目 ▽情報科学科目

▽グローバルスタディーズ科目 ▽ライフデザイン科目 ▽基盤・学際科目

▽教職に関する科目，学校図書館司書教諭課程関連科目，博物館学芸員課程関連科目，社会教育主事資格関連科目

■オフィス・アワー

大学の出会いのなかで最も大きなものの一つが、教員との出会いである。ゼミナールや講義の担当者である教員とは日常の大学生活のなかでコミュニケーションをとることはできるが、講義での疑問点や関心のある問題への取り組み方などの勉学に関する事、そのほか学生生活に関する事など相談事があれば、積極的に本学の専任教員と直接話し合い、指導を受けることによって、より深いコミュニケーションをとることができる。専任教員への積極的なアプローチの場として設けられているのが、オフィス・アワーである。専任教員は、オフィス・アワーとして設けられた時間帯に、特別の所用がない限り個人研究室など所定の場所にいる。各教員のオフィス・アワー時間帯を本サイトに掲載している。（教員所属の学部等掲示板にも掲出している。）

なお、役職についている専任教員のオフィス・アワーは設けていないので、役職者に面会を希望する場合には、関係事務室に前もって問い合わせること。

教学Webサービスの説明書

◎ 履修・学習に関するWebサイトには主に次の4つがあります ◎

教学Webサービス <https://webinfo.kwansei.ac.jp/> (https-sが必要)

履修・学習要覧Webサイト <http://www.kwansei.ac.jp/youran>

事務室からの呼び出しがないか定期的にチェックしてください。

■主な掲載内容

- 履修登録/申込制科目申込
- 成績照会/履修中止
- 時間割照会
- 休講・補講・教室変更 情報確認
- お知らせ閲覧
- 個人呼び出し確認
- 学生情報申請登録
- など



■主な掲載内容

- 大学学則
- 授業スケジュール
- シラバス(授業実施要綱)
- 暴風警報発令時の授業等取扱
- 全学科目の紹介/各学部内規
- 講義担当教員/オフィスアワー
- 諸規程(成績評価・試験、学費、学位、留学、奨学金、各種施設使用など)



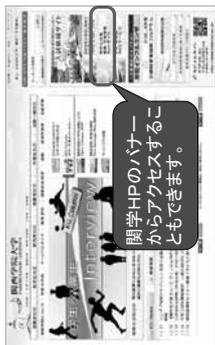
教学Webサービス <https://webinfo.kwansei.ac.jp/> (https-sが必要)

履修・学習要覧Webサイト <http://www.kwansei.ac.jp/youran>

事務室からの呼び出しがないか定期的にチェックしてください。

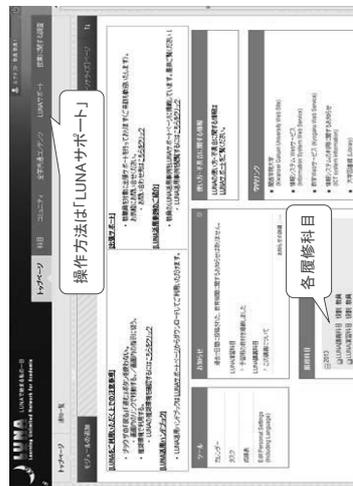
■主な掲載内容

- 履修登録/申込制科目申込
- 成績照会/履修中止
- 時間割照会
- 休講・補講・教室変更 情報確認
- お知らせ閲覧
- 個人呼び出し確認
- 学生情報申請登録
- など



LUNA(教授者・学習者支援システム) <https://luna.kwansei.ac.jp/> (https-sが必要)

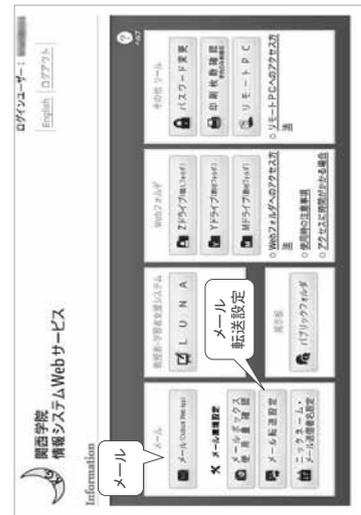
情報システムWebサービス <https://webmail.kwansei.ac.jp/> (https-sが必要)



■主な掲載内容

- 履修している科目の
- 担当教員からのお知らせ
- 掲示板の閲覧・投稿
- 授業資料の閲覧
- 課題(レポート)の提出 など

※どの機能を利用するかは科目によって異なります。
※履修科目は履修登録の時期に応じて反映されます。



■主な機能

- メール利用 (@kwansei.ac.jpのアドレス)
- パスワード変更
- メール転送設定
- 印刷枚数確認
- パブリックフォルダ閲覧
- ファイルサーバーへのアクセス

休講・補講等は教学 Web サービスで確認を！

～2014 年 4 月から休講・補講等の一部の掲示がなくなります！～

2014 年 4 月から休講、補講、教室・時間割変更のお知らせ、および個人伝言は **教学 Web サービス** (<https://webinfo.kwansei.ac.jp/>) でお知らせします。
掲示板での掲示は行いません。

■履修確定前

[個人伝言]タブでは事務室からあなたへのメッセージを確認することができます。
また、履修が登録されると[教務]タブで休講・補講等のお知らせを確認することができます。(*1,2)

The screenshot shows the 'Teaching' (教務) tab selected in the 'Counselor' (コンシェルジュ) section. The main content area displays various links related to class registration and changes. A red box highlights the '教室・時間割変更情報' (Classroom Schedule Change Information) link, with an arrow pointing to the explanatory text above.

コンシェルジュの[教務]タブから休講、補講、教室・時間割変更情報を確認することができます。
履修確定前は、全学の授業の中から履修する授業を探して確認することになります。

(*1) 予備登録(事前登録)された授業は履修登録期間前から休講・補講のお知らせが表示されます。

(*2) 履修登録期間および履修修正登録期間は、あなたの履修申請状態が「未完了」の場合でも確認することができます。

■履修確定後

[教務]タブでは休講・補講等のお知らせを確認することができます。

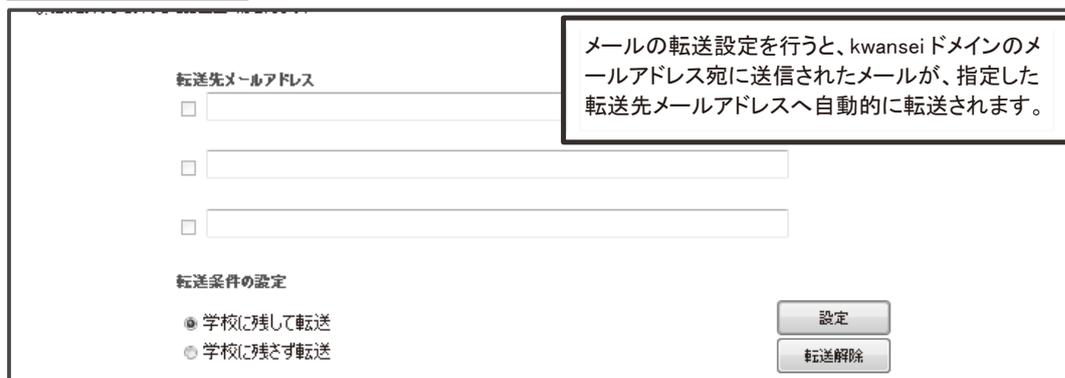
[時間割]でも休講・補講を確認することができます。
(注)Flash 非対応ブラウザでは表示できません。



コンシェルジュの[教務]タブから休講、補講、教室・時間割変更情報を確認することができます。
履修確定後は、自身が履修している授業のみ確認することができます。

■休講、補講、教室・時間割変更、個人伝言のお知らせは、大学のメール(kwansei ドメイン／例: example@kwansei.ac.jp)でも受信できますが、他のメールアドレスへの転送が必要な場合は、各自で設定を行ってください。(*3)

メール転送の設定は、「情報システム Web サービス」(<https://webmail.kwansei.ac.jp/>) →「メール転送設定」から行うことができます。



(*3)転送されるのは本文のみで、添付ファイルは転送されません。

添付ファイルは教学 Web サービスにアクセスして確認してください。

一般注意事項

1. 学生証

「学生証」は常に携帯すること。試験や手続きの際は、必ず学生証の呈示が求められるので、紛失・汚損等の場合は早急に所属学部事務室を通して学生課で再発行の手続きをとること。

(詳細については「大学案内 学生生活編」参照 再発行手数料が必要)

2. 掲 示

大学における学生への連絡・通知は掲示および教学Webサービスによることを原則としている。

登校時には必ず掲示、または定期的に教学Webサービスを確認すること。掲示・教学Webサービスを見なかったという理由で責任を逃れることはできない。

他学部開講科目および全学科目等についての掲示は、当該学部や関連センター等の掲示板で行われるので、十分に注意すること。

事務室への電話による問い合わせには一切応じない。

3. 学部事務室開室時間

月曜日～金曜日 8：50～11：30、12：30～16：50

土 曜 日 8：50～12：20

ただし、行事等によって変更することがある。

なお、5月、6月、9月、10月の第2土曜日および5月の第4土曜日は一斉土休日となるため、事務室は閉室となる。

また、夏季休暇中、冬季休暇中の事務室開室日および時間については、掲示により通知する。

4. 各種変更手続き

保証人、氏名等に変更が生じた場合、速やかに所属学部事務室に届け出ること。

現住所の変更については、教学Webサービスから届け出ること。

5. パソコンの利用

学内ではパソコン教室や図書館でパソコンを利用することができる。ただし、パソコン教室は授業で使用する必要があるで、授業利用時以外（オープン利用時）のみの使用となる。

各キャンパスのパソコン教室等の利用状況は携帯サイト (<https://webmail.kwansei.ac.jp/pcroom>)から確認することができる。また、学内のPCからは<http://www.media.kwansei.ac.jp/>の「PC教室利用状況」で確認することもできる。

6. 証明書等

下記の証明書について、「証明書発行機」による発行を行っている。(要学生証)

ただし、保守等により以下の利用時間帯であっても使用できない場合があるので、余裕を持って発行手続きを行うこと。

■設置場所は次の7ヶ所。

設置場所	台数	利用時間帯
<上ヶ原> 財務課(本部棟) 1階	1台	月～金曜日 8:50～16:50 土曜日 8:50～12:20
<上ヶ原> 学生サービスセンター 1階	2台	
<上ヶ原> 大学図書館 1階	1台	
<上ヶ原> G号館 1階	1台	
<神戸三田> I号館(本部・総政学部館) 1階	1台	
<神戸三田> VI号館(共用棟)	1台	
<梅田> アプローチタワー14階(談話室)	2台	月～金曜日 10:30～21:00 土曜日 10:30～20:00 日曜日 10:30～17:00
<聖和> I号館 1階 (教育学部・短期大学事務室前)	1台	月～金曜日 8:50～16:50 土曜日 8:50～12:20

■証明書発行機で取り扱う証明書の種類は次のとおりです。

○：発行可 ×：証明書発行機による発行不可

種類	和文	英文
在学証明書	○	○
成績証明書	○	○
卒業見込・成績証明書 *発行開始日は掲示で知らせる。	○	○
健康診断証明書	○	×
教育職員免許状取得見込証明書 *発行開始日は掲示で知らせる。	○	×
学割証	○	×
卒業・学士学位証明書 *発行期間は掲示で知らせる。	○	○

各種申込書 (上記以外の証明書の発行に使用)	<p>■必要な証明書を発行する。 所属学部事務室に申し込むこと。</p> <p>■証明書の発行は、原則として申し込みの翌日。証明書の種類によっては作成に2日以上かかる場合もあるので余裕を持って申し込むこと。</p>
---------------------------	---

■詳しい機器の使用方法は「証明書発行機」の画面に表示される。利用に際しては、本人確認のため「学生証」およびパスワードが必要。パスワードは入学時に仮パスワードとして各人の「生月日4桁」があらかじめ発行機に登録されている。仮パスワードは、できるだけ早く任意のパスワードに各人で変更を行うこと。パスワードの変更は、「証明書発行機」で行える。変更の方法は「証明書発行機」の画面の表示にしたがうこと。

7. 授業の欠席

関西学院大学には「公欠」という制度はない。病気や身内の死亡等でやむを得ず授業を欠席する場合も、その扱いは授業担当者の判断となる。やむを得ず授業を欠席する場合は、事前(不可能であれば事後)に直接授業担当者に相談すること。

ただし「学校において予防すべき感染症」(学校感染症)に罹患又は罹患した疑いのある場合は、学長の指示により登校停止の措置がとられる。該当者は学部事務室に申し出ること。登校停止となった場合の教務上の取り扱い

いについては、教務部ホームページ(http://www.kwansei.ac.jp/a_affairs)「感染症への対応について」を確認すること。

また、裁判員制度に関して裁判所からの呼出状が届いたため、授業や定期試験を欠席する場合は学部事務室に申し出ること。

8. 授業の長期欠席

病気等によって1ヶ月以上授業を欠席する場合は、所属学部事務室に連絡の上、必要な手続きを行うこと。

9. 学 費

春学期と秋学期の2回に分けて学費を納入するシステムをとっている。

保証人の方に学費納入用紙を郵送するので、各学期の納入期限までに納入すること。納入期限は曜日により前後することがあるので、詳しくは学費納入用紙を参照すること。

<学費納入期限> 春学期：5月19日

秋学期：11月9日

<分納・延納手続>

学費を分割して納入したい場合は最大3回まで分けることができる。また、期限までに納入することができない場合は納入期限を延長することができる。

いずれも納入期限までに所属学部事務室で手続きをすること。

10. 各種相談

相談がある場合は、所属学部事務室、所属する演習の担当教員、各教員のオフィス・アワーを利用すること。また、学生生活や留学、就職についての窓口として、学生サービスセンターに学生活動支援機構学生課、キャリアセンター、G号館1階に国際教育・協力センターを設けている。学生相談室ではカウンセラーによる相談も行っている。健康上の問題については保健館を利用すること。

(詳細については「大学案内 学生生活編」参照)

【実践型“世界市民”育成プログラム】

関西学院大学は2013年度からの新規事業として、日本のグローバル化に貢献し世界を舞台に活躍するために必要な教養と実践力を確実に身につける3つのコースワークプログラムを設定しました。3つのコースワークで育成される人は、リーダーシップ、コミュニケーション能力、専門性、問題解決能力等を活かし、それぞれに必要な役割を担い、協力し合いプロジェクトを成功に導いていく人です。

『“Mastery for Service”を体現する世界市民の育成』は関西学院大学のミッションです。このミッションに基づいて作られた『実践型“世界市民”育成プログラム』で、将来に役立つ力を身につけてください。

<p>グローバルリーダーコース Global Leader Certificate Program</p>  <p>国際貢献活動を通じてタフなチャレンジ精神で目的を達成する能力を身につけ、国際社会でリーダーとなる人を育成します。</p>	<p>グローバルエキスパートコース Global Expert Certificate Program</p>  <p>交換留学などを通じて高い水準のコミュニケーション能力と専門性を身につけ、世界を舞台に専門的知識・技能を發揮できる人を育成します。</p>	<p>グローバルシティズンコース Global Citizen Certificate Program</p>  <p>国際交流プログラムや世界のさまざまな文化圏の学生との交流を通じて、他者と協調しながら課題解決にあたり、社会貢献できる人を育成します。</p>
---	---	---

	グローバルリーダーコース	グローバルエキスパートコース	グローバルシティズンコース
参加が必要な留学プログラム	国連コース(学生)ボランティア 国際社会貢献活動	ダブル・ディグリー留学 交換留学・認定留学	中期留学 海外インターンシップ インドネシア交流セミナー トルコ交流セミナー 国連セミナー 外国語研修など
コース指定修得単位数	40単位	30単位	30単位
学習成績	コース指定授業科目 GPA3.0以上	全ての授業科目 GPA2.8以上	全ての授業科目 GPA2.5以上
TOEFL スコア	550点以上	550点以上	500点以上

【実践型“世界市民”育成プログラム】のスタートから卒業までの流れ

<p>Stage 1 >></p> <p>学習計画の作成</p> <p>まずグローバル社会でのキャリアを見据え、そのために必要な知識を身につけられるよう学習計画を作成します。</p>	<p>Stage 2 >></p> <p>自己の確立と知識・技能の獲得</p> <p>能動的な学習によって個人を確立し、専門的知識・技能、国際的知識・技能とマネジメント知識・技能を身につけます。</p>	<p>Stage 3 >></p> <p>海外での実践学習</p> <p>いよいよ海外での実践学習です。これまで培った語学力とコミュニケーション能力を活かし、グローバルな舞台で学びを深めます。</p>	<p>Stage 4 >></p> <p>実践力の活用</p> <p>帰学後は、事後学習で外国語力や専門知識のさらなるレベルアップを図ります。学習アドバイザーとして高校生や在学生の国際意識を高揚させる役割も担います。</p>	<p>Stage 5 >></p> <p>評価&証明書を授与</p> <p>コースごとに設定した目標をクリアした学生には証明書を授与し、学長より表彰されます。</p>
--	--	---	---	--

Entry

[登録について]

実践型“世界市民”育成プログラムのスタートにあわせて開設された当プログラムの交流サイトです。

まずはアクセスして！

プログラムに関する情報が次々とアップされます。まずは交流サイトに登録し、情報をキャッチ！サイトでは友だちの輪を広げていくことも可能です。
※facebookに登録していない場合はユーザー登録を行う必要があります。

facebook® 実践型“世界市民”交流サイト

「KG GLOBAL PORT」




アクセス!

4/5 (土) キャンパスライフABCにて説明会開催!

3つのコースワークを中心としたプログラムの概要、多様な国際プログラム、英語インテンシブ・プログラムをはじめとしたカリキュラムに加え、留学について、キャリアサポート体制などの情報を詳しく説明します。また、選択コースと履修科目との関係やプログラムへの登録方法などについても説明を行います。是非ご参加ください。
※説明会の時間、場所については当日配布のパンフレットをご覧ください。
なお、4月以降も随時説明会を開催しています。

対象者 プログラムに興味のある方なら、どなたでもOKです。

申込方法

<https://facebook.com/KG.GLOBAL.PORT>
問い合わせ先：グローバル人材育成推進事務局

プログラムの詳細は入学式で配布される実践型“世界市民”育成プログラムガイドを参照してください。

日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム Cross-Cultural College (CCC)



Cross-Cultural College(CCC)は、典型的な多文化社会であるカナダの3大学(マウント・アリソン大学、クイーンズ大学、トロント大学)と関西学院大学が協働して設置・運営するものです。異文化理解やコミュニケーション力を持ち、多文化を共生させながら、グローバル社会の持続的な発展と成長に寄与できる世界市民リーダーズを育成します。

◆Cross-Cultural Studies をテーマとした学士レベルの共同教育プログラム

CCCは、日加の学生が両国を行き来しながらも学ぶ実践科目を中核に設置した“Certificate Program (CP)”(使用言語は英語)と関学生を対象に、CP への参加を可能にする基礎的な知識や国際経験、英語能力を涵養する複数分野専攻制“Multidisciplinary Studies (MS)”特別プログラムから構成されています。



CCC修了証プログラム (Certificate Program)							
【関学生(学部生)およびカナダ3大学の学生を対象】(TOEIC680点相当以上の英語能力を有する学部生対象)							
CCC修了証対象科目				◆修了要件			
選択必修1	選択必修2	選択必修3	選択1	左図の必要単位数(計16単位)の修得に加えてTOEIC820点(またはTOEFL-ITP580点、TOEFL-IBT92点、IELTS6.5、英検1級)以上の英語能力の証明で修了。修了者には、4大学が協働で運営するCCCから修了証書を授与。			
英語で多文化共生論を学ぶ科目	英語で国際関係論を学ぶ科目	カナダ側学生と協働して学ぶコア科目	英語でCCCの概念に合致する内容を学ぶ科目				
必要単位数				2	2	3	9
複数分野専攻制(MS) 特別プログラム「クロス・カルチュラル・スタディーズ」							
【関学生(2012年度以降入学の学部生)のみを対象】(理工学部生除く)							
CCC修了証対象科目				MS特別プログラム専用対象科目			
選択必修1	選択必修2	選択必修3	選択1	選択必修4	選択必修5	選択2	
英語で多文化共生論を学ぶ科目	英語で国際関係論を学ぶ科目	カナダ側学生と協働して学ぶコア科目	英語でCCCの概念に合致する内容を学ぶ科目	留学・海外研修が伴う科目等	3つのコース別に学ぶ科目	英語を集中的に学ぶ科目	
必要単位数				2	2	6	8
				◆修了要件 左図の必要単位数(計32単位)を修得すれば修了。 修了者には、本学より卒業時に複数分野専攻制修了証書を授与。 これに加えて、TOEIC820点相当以上の英語能力を証明した者には、CCCから修了証書も授与。			

◆多様な交流プログラム

CCCは、日加両国の学生の協働をとまなう実践的な科目(CP コア科目: 選択必修 3)として以下のプログラムを提供しています。参加にはTOEIC680 点相当以上の英語能力が必要です。

Joint Seminar

日加両国で各2週間の計4週間にわたって、カナダの学生と寝食をともにしながら学ぶプログラム。多文化共生をメインテーマにフィールドワークやグループ研究を行います。グループ研究は、日加の学生混成のグループごとに研究テーマを設定し、一つのプレゼンテーションにまとめ上げます。

Global Internship

日加の学生がペアとなり、国際展開に積極的な企業・団体等で日加両国で約1週間のインターンシップを行うプログラム。

※インターンシップ先(予定)
カナダ: カナダ企業や日系企業の現地法人(資生堂、三井物産等)
日本: トヨタ自動車、パナソニック、住友ゴム等

Global Career Seminar

日加学生混成のグループを組み、企業・団体等から提示された国際展開等に関する「課題」について、解決策を立案するプログラム。グループ内でディスカッションを重ね、最終的に企業への発表を行うことで、多国籍な場での合意形成を体感します。

◆ Cross-Cultural College について知りたい方は・・・

- ★ 説明会に参加！
プログラムの概要、MS 特別プログラム、夏に実施する交流プログラムの説明を行います。説明会では、MS 特別プログラムの仮登録の受付も行います。
- ★ CCC ホームページにアクセス！

Cross-Cultural College

問い合わせ先: 国際連携機構 国際教育・協力センター
クロス・カルチュラル・カレッジ (CCC) 事務局
TEL: 0798-54-6046
URL: <http://www.kwansei.ac.jp/cccl/>

説明会 開催!

4/9(水)、4/11(金) 12:45-13:25
西宮上ヶ原キャンパス G号館 202号教室

4/10(木) 12:45-13:25
神戸三田キャンパス Ⅲ号館 102号教室

※上記の説明会は、「実践型”世界市民”育成プログラム」と合同で行います。
MS 特別プログラム、夏のプログラムの詳細については、別途説明会を開催します(説明会日程は、CCC ホームページを参照)。

経済学部 の 理念 ・ 目的 ・ 教育目標

経済学部は高等教育における関西学院の中心的学部として、過去75年にわたり関西学院の教育理念を具現化する先頭に立ってきた。人は経済の場すなわちモノとカネの流れのなかで生活しているが、この流れを理論的、歴史的、政策的に分析するのが経済学である。大学全体のキリスト教主義教育に立って、社会の各分野において活動するのに必要な経済および経済学に関する専門知識を与え、その基本を身につけた人材を育成することが経済学部の存在意義である。キリスト教主義に基づく全人教育の重視と経済学の専門的知識の修得は、わが国の経済運営の重点が成長キャッチアップから創造フロンティアに移行し、また国際的視野が要求されている現在においては、その意義をより大きなものとしている。

本学部は、経済学の専門知識や現実経済の背景にあるさまざまな文化や伝達手段を身につけることを通じて、社会に貢献し、その社会への貢献を通じて自分自身をも磨ける人間を育てようとしている。学生の大半が民間企業へ就職するという状況の中で、経済学というツールを使って経済現象を的確に捉え分析し、新聞の経済記事等を自在に読める人材、企業が求めていると考えられている経済学という基盤を持った実践力を有した人材の育成を行う。本学部の教育目的は「倫理観と判断力を持った実践力のある人材」の育成である。

教育目標は以下のとおりである。

1) チャペルアワーの重視

本学部では、授業開講日には必ず礼拝が行われており、クリスチャン・ノンクリスチャン・教職員・学生を問わずあらゆる立場に立つ講師が、キリスト教主義を標榜するものとして、研究と教育に対する個人的主体的な立場を表明している。

2) 経済学的な考え方の修得

本学部は、入学から卒業までの経済学を学ぶ道筋を示し、順を踏みながら卒業、さらに大学院へと進む教育計画を示している。近年における経済学研究の専門化による弊害を入門教育に持ち込まないために、「経済と経済学の基礎」を設け、経済の現実から経済学の基礎へと進めるよう、1年生のときに繰り返し学習するカリキュラムを実施している。さらに興味を持つ問題によって学べるようにコースメニューを示し、履修指導をしている。

3) 外国語教育の重視

卒業後の学生たちの進路は多岐にわたるが、いかなる進路を選択してももはや国際社会の中での活動は避けがたい。職業の選択の可能性を広げ、海外も視野に入れた活動範囲で仕事をするというダイナミックな人材を育てるためには、外国語習得は不可欠である。しかも、国際社会では多様な文化的背景、価値観、考え方をを持った人々が活躍しており、1言語のみではなく多言語の習得が常識となっている。そこで本学部では、英語の他にフランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮語、スペイン語を提供し、学生に2言語を学習することを求めている。各言語で客観的な教育目標を設定し、その目標が達成できるような授業内容を組んでいる。特に、それぞれの言語で運用力（話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと）が伸びるような授業を展開している。また、学外の語学力認定試験の受験を推奨し、その成績によって単位を認定している。

4) 達成度に基づく教育支援

多様な学生のニーズに応えるために、平均的な学生を視野に入れつつも、それ以上に学ぶ姿勢を持つ学生のための支援体制を整えようとしている。

5) 少人数のゼミ教育の重視

学部創設以来、専任教員による演習授業（3、4年生の「研究演習」）は、学部教育の中心にあり、特にキリスト教主義大学として、ゼミ指導教員とゼミ生の関係は、理念が試される場でもあると、教員は自覚している。また、全学に先駆けて1、2年生のゼミを開設し、1年生のゼミはすでに40年以上の歴史をもつ。高校から大学に進学し、大学に不案内な学生を学生主導の「演習」授業において訓練し、今日でも大学らしい教育の中核として位置付けられる上に、学部の理念にもかなったものとなっている。

6) 正課外教育の拡大

本学部はゼミを中心とした「インターゼミナール大会（合同発表会・ディベート大会）」やスポーツ大会を行い、学生がそれらの企画・運営に自発的に参加することで学生の自主性を育成することに努めている。また、すでに10年以上にわたり発行されている学部コミュニケーション誌『エコノフォーラム』は、その企画・編集作業に学生と教員が同等の立場で協議しあいながら一致協力してあたるという刊行物であり、学生にとってはゼミ活動の集約の場となっている。そのほか、ゼミ合宿、ゼミ旅行、他大学との交流が盛んに行われ、年度末にいくつかのゼミでゼミナール活動誌・研究誌が発行されている。

経済学部 ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

【関心・意欲】

- 世界の様々な地域の人々や文化への共感する力を持っている。
- 他者と協力し、社会に貢献しようという意欲を持っている。

【知識・理解】

- 経済学の基本的な概念と理論的・歴史的な経済学的思考力を身につけている。
- 日本や世界の経済事情、歴史、言語や文化、そして宗教に関する基本的な知識を身につけている。

【技能・表現】

- 基本的な情報処理技術に基づいた、経済データ分析能力を備えている。
- 日本語および1つ以上の外国語の修得に基づいた、コミュニケーション能力を備えている。

【判断・問題解決】

- 経済学的思考力に基づいた、現実の社会や経済の事象についての判断能力を備えている。
- 現実の社会や経済のなかで課題を発見し、解決する能力を備えている。

経済学部 カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

経済学部は、経済学士を授与するにあたり、学生に求める【関心・意欲】、【知識・理解】、【技能・表現】、【判断・問題解決】を育むため、下記のカリキュラムを編成し、これを実施する。

【関心・意欲】

高等学校までの中等教育から大学からの高等教育へ繋ぐ導入教育科目、健康な心身を育み世界の様々な地域の人々や文化を学びそれへの共感を醸成するための言語教育科目を配置する。また、本学のキリスト教主義の礎となるキリスト教科目、学際・連携科目、および、経済学以外の様々な学問分野の基礎を学ぶ他学部開設専門教育科目から構成される総合教育科目を配置する。

【知識・理解】

日本や世界の経済事情、歴史、言語や文化、そして宗教に関する基本的な知識を身につけるための言語教育科目。また、本学のキリスト教主義の礎となるキリスト教科目、学際・連携科目、他学部開設専門教育科目を配置する。これらの幅広い基礎学力の上に、経済学の基本的な概念や経済・社会の歴史的視点を理解し、経済学的思考力を身につけるための「専門基礎科目」を配置する。これは、基礎、標準、応用へと経済学諸分野を発展的に学び、深めるために体系的に配置された基礎科目、入門科目、分析ツール科目からなる。この「専門基礎科目」の履修の上に、多くの学生が履修すべきコース標準科目、さらに発展的な学習を目指す、コース応用科目からなる「専門科目」を配置する。さらに、コースでの学習を相互に関連付けるコース関連科目を配置し、学生に体系的履修を促すための履修モデルを示す。

【技能・表現】

情報処理を基礎とする経済統計やデータ分析能力を育む情報科学科目、分析ツール科目を配置し、また、母国語・外国語によるコミュニケーション能力を育む言語教育科目、中等教育から大学からの高等教育へ繋ぐ導入教育科目、少人数による研究演習科目も含む、コース関連科目を配置する。

【判断・問題解決】

現代の複雑な経済・社会現象を理解し、直面する問題を発見しその解決のための判断能力を育み、学生が自らの生き方や仕事について考える機会をつくるライフデザイン科目を置く。また、コース標準科目、コース応用科目などの「専門科目」、さらには、これらの科目で得た経済学の専門的知識・理解を相互に関連付け考える力を涵養するための少人数による研究演習科目などを配置する。

経済学部内規

I 授業履修内規

(中略)

⑥2012年度以降入学生

1 履修登録について

- イ 毎学期初めに授業科目履修登録を所定の期日までに行わなければならない。
- ロ 履修登録を行わない者は単位を修得することができない。
- ハ 履修登録の変更は本学部の許可のない限り認められない。
- ニ クラス指定のある授業科目は、定められたクラスで受講しなければならない。
- ホ 交換・認定留学生で、原則として5月20日迄に帰学し、5月31日迄に履修登録を行えば、通年科目を履修し単位を修得することができる。また、授業科目履修登録を所定の期日までに行い、4月30日迄に帰学すれば、春学期科目を履修し単位を修得することができる。

2 総合教育科目について

- イ 総合教育科目の基礎演習、キリスト教学A・キリスト教学Bは、必修科目として本学部で開講されるものを履修し単位を修得しなければならない。
- ロ 言語教育科目について
選択必修外国語の選択は入学時の決定に従い、途中での変更はいっさい認められない。

3 先修条件について

- イ 英語は、IとIIの単位を修得しなければIIIとIVを履修することができない。
- ロ フランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮語およびスペイン語は、Iの単位を修得しなければIIを、IIの単位を修得しなければIIIを、IIIの単位を修得しなければIVを履修することができない。
- ハ 研究演習入門の先修条件について
次のaからdを含めて卒業に必要な単位数に算入される科目を36単位以上修得しなければ研究演習入門を履修することができない。ただし、在学期間が3学期間以上であることを必要とする(休学した期間はここでの在学期間に算入されない)。

(総合教育科目)

- a 必修・選択必修外国語6単位

(専門教育科目)

- b 経済と経済学の基礎A・経済と経済学の基礎B・経済の歴史と思想のうち、いずれか2科目6単位以上
- c 入門科目より1科目2単位
- d 分析ツール科目より2科目4単位

- ニ 研究演習入門の単位を修得しなければ研究演習Iを履修することができない。
- ホ 研究演習Iの単位を修得しなければ研究演習IIを履修することができない。
- ヘ 第4学年度編入学生(マルチプル・ディグリー制度適用者)の研究演習IIの履修について先修科目を設けない。
- ト その他の先修条件については「授業科目履修心得」による。

4 コース制について

コース標準科目群・コース応用科目群において定められた

コースより1コース以上を選択し、各コースで定められた科目のうち28単位を必修とする。また、その内6単位以上をコース応用科目群から修得しなければならない。

5 教職等資格科目、他学部での履修科目について

教職等資格科目(1)および他学部等で開設している科目において修得した単位は合計8単位を限度として卒業必要単位数に算入することができる。ただし、教職等資格科目(2)において修得した単位は卒業必要単位数に算入されない。

6 単位数制限について

イ 各学期において履修できる単位数は次のとおりとする。

- 第1学年度 24単位
- 第2学年度 24単位
- 第3学年度 24単位
- 第4学年度 24単位

ただし、

- ・MSプログラムを履修中の学生は各学期30単位、
- ・各学年における席次(GPAによる)が上位5%の学生は翌年度各学期30単位、
- ・他大学からの編入学生は各学期30単位とする。

ロ 夏季休暇中における夏期英語研修プログラム等で修得した単位数、教職等資格科目(2)の単位数は、上記の単位数制限の対象とはならない。

II 試験・出席内規

1 試験について

- イ 試験は中間試験、定期試験、追試験に分かれる。
- ロ 定期試験および中間試験は学期末の試験期間中に実施する。ただし、一部の科目においては、経済学部が独自に設定する場合がある。
- ハ 追試験は、次の事由により定期試験を受けられなかった場合に、その事由を説明するにたる書類を所定期日内に提出し、かつ教授会の承認を得た者に限って実施する。
 - a 二親等以内の死亡
 - b 本人の病気
 - c 試験当日の事故
 - d 学校において予防すべき感染症による登校停止
 - e 裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続きに参加および裁判員・補充裁判員として職務に従事
 - f 以上に相当する事由のある場合

なお、上記a項、d項、e項による事由を除き追試験の評点は20%を減じる。

ニ 中間試験、定期試験、追試験に際して自然災害または公共交通機関の運行停止等の事由により受験できなかった者に対し、代替試験を行うことがある。その場合の取扱いについては「関西学院大学成績評価・試験規程」に従う。

ホ 試験において不正行為を行った者は停学に付し、当該期間の全科目の試験を無効とする。

ヘ 成績評価の結果に関して疑義がある場合には、成績発表後一定の期間内に所定の手続きにより、事務室に調査を願うことができる。

2 出席制について

イ (中略)

[2009年度以降入学生]

必修科目の英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの各科目についてはそれぞれ6回以上、選択必修科目のフランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの各科目についてはそれぞれ4回以上、ドイツ語、中国語、朝鮮語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの各科目については合計6回以上、スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの各科目については、ペアの授業いずれかの時限で4回以上欠席したときは採点されない。

ロ 基礎演習、研究演習入門、研究演習Ⅰ、研究演習Ⅱについては、当該期間を通じてその欠席時数が授業予定時数の3分の1をこえるときは採点されない。

ハ 阪急電鉄以外の交通機関のストライキにより授業に出席できなかった場合、1週間以内に所定の届け出をし、承認されれば、欠席扱いとはならない。

欠席時数の計算においては、上記の場合を除きいかなる理由も考慮されない。

Ⅲ 研究演習入門・研究演習Ⅰ・研究演習Ⅱ・卒業論文内規

1 (中略)

[2009年度以降入学生]

研究演習入門、研究演習Ⅰ、研究演習Ⅱ(卒業論文を含む)は一体としての演習課程とみなし、原則として同じ担当者のもとで指導を受けるものとする。

2 編入学生および2年次(休学期間を除く)秋学期より交換留学、継続交換留学、認定留学、英語中期留学、フランス語中期留学または海外インターンシッププログラムに参加した場合、(中略)2003年度以降入学生は専門教育科目(専門科目)2単位によって代替し、研究演習Ⅰより履修することができる。

3 交換留学者または認定留学者で、原則として5月20日迄に帰学し、5月31日迄に履修登録を行えば、研究演習Ⅰあるいは研究演習Ⅱとその他の通年科目を履修し、単位を修得することができる。また、交換留学者または認定留学者で、原則として、5月21日以降に帰学する場合は、留学前の春学期と帰学後の秋学期の履修をもって、研究演習Ⅰあるいは研究演習Ⅱの履修とし、帰学年度の単位を修得することができるが、その他の通年科目は履修することができない。

4 交換留学、継続交換留学、認定留学、英語中期留学、フランス語中期留学または海外インターンシッププログラムへの参加により、3年生で研究演習Ⅰが履修できない場合は外国留学または海外インターンシッププログラムで修得した4単位をもって研究演習Ⅰを代替し研究演習Ⅱを履修する。あるいは、研究演習Ⅱを代替して研究演習Ⅰを履修することができる。4年生で研究演習Ⅱが履修できない場合は、外国留学または海外インターンシッププログラムで修得した4単位をもって研究演習Ⅱを代替することができる。

(中略)

6 秋学期から次年度の春学期までを休学する者は、休学前の春学期と復学後の秋学期の履修をもって、研究演習Ⅰあるいは研究演習Ⅱの履修とし、復学年度の単位を履修することができる。

7 「国連学生ボランティア」に参加する者については、別に定める期間に参加年度の研究演習の代替申請を行うことにより、翌年度の研究演習履修を認める。すなわち、研究演習入門履修予定者にあつては、参加翌年度の研究演習Ⅰ、研究演習Ⅰ履修予定者にあつては、研究演習Ⅰ、またはⅡの履修を認める。

8 卒業論文提出について

卒業論文の提出については『授業科目履修心得』に従うこと。

Ⅳ その他

1 学則第3章第6節の改正について

イ 学則の適用は、学則改正にかかわらず原則として入学年度の学則が適用される。ただし、学則改正は全学年度に適用される場合もある。

ロ 学則改正に伴う移行措置は「授業科目履修心得」による。

2 第4学年度編入入学について

学則第4章第46条3項に定める第4学年度への編入入学については、2004年度以降入学生のマルチプル・ディグリー制度適用者とする。(マルチプル・ディグリー制度適用者とはMSを修了または履修中のもので、継続して編入入学により学位取得を希望する者)

3 編入学試験を受けて入学した者について

イ 編入学生については、入学の許可された学年の学則が適用される。

ロ 編入学生(マルチプル・ディグリー制度適用者を除く)については、出身校また本学他学部において修得した単位は、一定の基準によって本学部授業科目の履修により修得したものと認定される。

ハ マルチプル・ディグリー制度による第3学年度あるいは第4学年度編入学生の単位認定は次のとおりとする。

a 卒業に必要な総合教育科目の単位については、全て履修したものと一括認定する。

b 編入前に修得した本学部開講の専門教育科目に関しては個別認定する。なお、出身学部で修得した専門教育科目については本学部の専門教育科目に個別認定することもある。

c 編入前に出身学部において修得した教職等関連科目に関しては個別認定する。

4 再入学生について

再入学生については、再入学が許可された学年の学生に適用される学則を準用する。

5 交換留学生および認定留学生について

交換留学生および認定留学生は、本学部になくとも1年以上在学し、24単位以上の単位を修得した者にかぎる。

6 英語・フランス語・ドイツ語・中国語・朝鮮語・スペイン語・日本語認定科目について

上記それぞれの言語教育科目の単位を申請により本内規最終ページの別表(言語教育認定科目の単位認定について)のとおり認定することができる。

単位認定を希望する者は該当科目の履修前あるいは履修中にスコアレポート(成績通知書)または合格証書等を持参のうえ「単位認定願」を事務室に提出しなければならない。

7 休学者で学年度の秋学期より復学する者については、秋学期開講科目についてのみ復学時点で履修登録を行うことができる。

8 英語中期留学(以下SSEA)について

イ SSEA制度を利用する者は、留学期間の該当学期および通年の科目は単位を修得することができない。

ロ (中略)

[2010年度以降入学生]

SSEA制度利用者は次表の科目を未修得の英語Ⅲ・Ⅳより4単位(インテンシブコースにあつては3単位)の範囲で、科目の単位を読み替えることができる。

科目名	単位数
英語中期留学マウント・アリソン大学Ⅰ	5
英語中期留学クイーンズ大学Ⅰ	3

英語中期留学トロント大学 I	5
英語中期留学スターリング大学 I	7
英語中期留学ニュー・サウス・ウェールズ大学 I	4
英語中期留学オックスフォード大学 I	8

9 フランス語中期留学について

イ フランス語中期留学制度を利用する者は、留学期間の該当学期および通年の科目は単位を修得することができない。

ロ (中略)

[2009年度以降入学生]

フランス語中期留学制度を利用する者の中で、フランス語中期留学 I (4 単位) を修得した者は、未修得のフランス語Ⅲ・Ⅳより 4 単位 (インテンシブコースにあっては 3 単位) の範囲で、科目の単位を読み替えることができる。

10 夏季ドイツ語海外研修について

[2011年度以降入学生]

夏季ドイツ語海外研修を利用する者の中で、帰学後、事務室に「単位認定願」を提出する者は、事務室に申し出をすることにより、認定される単位のうち、ドイツ語Ⅲ、Ⅳより未修得の科目を 2 単位認定し、残りの単位については外国大学科目として認定することができる。

11 早期卒業について

[2004年度以降入学生]

学則第 7 条第 2 項に定める、卒業については下記のとおりとする。

(1) 対象者

本学大学院に早期に進学を希望する者、およびマルチプル・ディグリー制度により、本学他学部においても学位取得を希望する者。

(2) 卒業条件

① [3 年卒業の場合]

3 年間在学し(休学期間は、在学期間に算入しない)、卒業に必要な単位をすべて修得し、かつ卒業単位数に算入される合格科目の平均点が 80 点以上ある者。

(中略)

[3 年半卒業の場合]

3 年半在学し(休学期間は、在学期間に算入しない)、卒業に必要な単位をすべて修得し、かつ卒業単位数に算入される合格科目の平均点が 80 点以上ある者。

(中略)

②本学大学院に早期に進学を希望する者は、3 年次または 4 年次に行われる本学大学院の入学試験に合格すること。

③マルチプル・ディグリー制度により、本学他学部においても学位取得を希望する者は、複数分野専攻制 (MS) を履修中であり、3 年次または 4 年次に行われる本学他学部の編入学試験に合格すること。

④本内規により卒業を希望する者は、3 年次または 4 年次の履修登録時 (春または秋) に申請をしなければならない。

別表（言語教育認定科目の単位認定について）

（中略）

2009年度入学生から適用の英語・フランス語・ドイツ語・中国語・朝鮮語・スペイン語認定科目について

	試験名称	点数/級	認定科目・単位数
英語	TOEICオフィシャルスコアまたは経済学部実施のTOEIC-IPスコア	600点以上	I a、I b、II a、II b、III a、III b、IV a、IV bより未修得の科目を最大2単位認定する。残りの単位については総合教育科目の自由選択で最大2単位認定する。
		650点以上	I a、I b、II a、II b、III a、III b、IV a、IV bより未修得の科目を最大4単位認定する。残りの単位については総合教育科目の自由選択で最大4単位認定する。
	TOEICオフィシャルスコアまたは経済学部実施のTOEIC-IPスコア（もしくは英検準1級合格者）	700点以上	I a、I b、II a、II b、III a、III b、IV a、IV bより未修得の科目を最大6単位認定する。残りの単位については総合教育科目の自由選択で最大6単位認定する。
	TOEICオフィシャルスコアまたは経済学部実施のTOEIC-IPスコア（もしくは英検1級合格者）	750点以上	I a、I b、II a、II b、III a、III b、IV a、IV bより未修得の科目を最大8単位認定する。残りの単位については総合教育科目の自由選択で最大6単位認定する。

（中略）

	試験名称	点数/級	認定科目・単位数
フランス語 (2010年度以降 入学生)	実用フランス語検定試験	4級	Iを認定する。
		3級	I、IIより未修得の科目を最大4単位認定する。
		2級	I、II、III、IVより未修得の科目を最大8単位認定する。
	フランス語資格試験(DELF/DALF)	A1	I、IIより未修得の科目を最大4単位認定する。
		A2	I、II、III、IVより未修得の科目を最大8単位認定する。

	試験名称	点数/級	認定科目・単位数
ドイツ語	ヨーロッパ共通言語参照枠のドイツ語試験のA1レベル 具体的には ・ドイツ文化センター実施のStart Deutsch 1あるいはFit in Deutsch 1 ・オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験の「ドイツ語能力1」(Kompetenz in Deutsch 1) が該当するがその他のドイツ語試験でも認定する。	A1レベル ・Start Deutsch 1 ・Fit in Deutsch 1 ・Kompetenz in Deutsch 1	I、IIより未修得の科目を最大4単位認定する
	ヨーロッパ共通言語参照枠のドイツ語試験のA2レベル 具体的には ・ドイツ文化センター実施のStart Deutsch 2あるいはFit in Deutsch 2 ・オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験の「ドイツ語能力2」(Kompetenz in Deutsch 2)あるいはA2基礎ドイツ語(A2 Grundstufe Deutsch) が該当するがその他のドイツ語試験でも認定する。	A2レベル ・Start Deutsch 2 ・Fit in Deutsch 2 ・A2 Grundstufe Deutsch	I、II、III、IVより未修得の科目を最大8単位認定する。
	ヨーロッパ共通言語参照枠のドイツ語試験B1、B2、C1、C2レベル 具体的には ・ドイツ文化センターの実施する検定試験 ・オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験 が該当するがその他のドイツ語試験でも認定する。	B1レベル B2レベル C1レベル C2レベル	

	試験名称	点数/級	認定科目・単位数
中国語	中国語検定試験	準4級	Iを認定する。
	中国語検定試験	4級	I、IIより未修得の科目を最大4単位認定する。
	HSK	3級	
	中国語検定試験	3級	I、II、III、IVより未修得の科目を最大8単位認定する。
	HSK	4級	

※HSKは筆記試験のみの点数/級で単位認定する。

	試験名称	点数/級	認定科目・単位数
朝鮮語	ハングル能力検定試験	4級	I、IIより未修得の科目を最大4単位認定する。
		3級	I、II、III、IVより未修得の科目を最大8単位認定する。

	試験名称	点数/級	認定科目・単位数
スペイン語	スペイン語技能検定試験	5級	I、II、より未修得の科目を最大4単位認定する。
		4級	I、II、IIIより未修得の科目を最大6単位認定する。
	スペイン語検定試験(DELE)	初級	I、II、IIIより未修得の科目を最大6単位認定する。

※スペイン語IVについては認定しない。

	試験名称	点数/級	認定科目・単位数
日本語 (2006年度 以降入学生)	日本留学試験(日本語)および、 本学実施の日本語プレースメンステスト	310点以上 かつ 85点以上	日本語 I、II の計4単位を認定する。
	日本語能力試験(N1)および、 本学実施の日本語プレースメンステスト	150点以上 かつ 85点以上	

※この認定を受けた者は第1学年度より日本語 III、IV の履修を認める。

I. カリキュラムについて

1. カリキュラムの概要

卒業に必要な単位数=124単位

卒業に必要な単位数の概略は次表のとおりである。詳細については教育課程表（本冊子P.77以降）を参照すること。

〈2013年度以降入学生〉

卒業必要単位数	総合教育科目									専門教育科目					教職等資格科目 (1)	
	キリスト教科目	言語教育科目	導入教育科目	スポーツ科学・健康科学科目		情報科学科目	グローバルスタディーズ科目	ライフデザイン科目	基盤・学際科目	他学部開設 専門教育科目	専門基礎科目		専門科目			
				基礎科目	入門科目						分析ツール科目	コース標準科目	コース応用科目	コース関連科目		
4	16	4					2			10	4	6	28	6		
12										30						
小計 38										小計 78						
自由選択（フリーゾーン） 8																
合計	124															

〈2012年度入学生〉

卒業必要単位数	総合教育科目									専門教育科目					教職等資格科目 (1)		
	キリスト教科目	言語教育科目	言語専門科目	導入教育科目	スポーツ科学・健康科学科目		情報科学科目	学際・連携科目	ライフデザイン科目	他学部開設 専門教育科目	基礎科目	入門科目	分析ツール科目	コース標準科目		コース応用科目	コース関連科目
					基礎科目	入門科目											
4	16		4					2			10	4	6	28	6		
12										30							
小計 38										小計 78							
自由選択（フリーゾーン） 8																	
合計	124																

卒業に必要な単位数に含まれない科目

以下の科目は卒業に必要な単位数に算入されない。

教職等資格科目(2)（詳細は教育課程表（P.77以降）参照）、他学部教養教育科目

2. 総合教育科目について

総合教育科目は、2013年度以降入学生はキリスト教科目、言語教育科目、導入教育科目、スポーツ科学・健康科学科目、情報科学科目、グローバルスタディーズ科目、ライフデザイン科目、基盤・学際科目、他学部開設専門教育科目、2012年度入学生はキリスト教科目、言語教育科目、言語専門科目、導入教育科目、スポーツ科学・健康科学科目、情報科学科目、学際・連携科目、ライフデザイン科目、他学部開設専門教育科目で構成されており、卒業に必要な必修・選択必修・選択科目の単位は次表のとおりである。

卒業に必要な単位数＝38単位

〈2013年度以降入学生〉

総合教育科目									
	キリスト教科目	言語教育科目	導入教育科目	スポーツ科学・健康科学科目	情報科学科目	グローバルスタディーズ科目	ライフデザイン科目	基盤・学際科目	他学部開設専門教育科目
必修	4	8	4						
選択必修		8					2		
小計	4	16	4				2		
選択	12								
合計	38								

〈2012年度入学生〉

総合教育科目									
	キリスト教科目	言語教育科目	言語専門科目	導入教育科目	スポーツ科学・健康科学科目	情報科学科目	学際・連携科目	ライフデザイン科目	他学部開設専門教育科目
必修	4	8		4					
選択必修		8						2	
小計	4	16		4				2	
選択	12								
合計	38								

キリスト教科目

キリスト教科目は教育課程表（P.77以降）「キリスト教科目」のとおりである。

- ①キリスト教学A・キリスト教学B（計4単位）は必修科目である。
- ②第1学年度生のみ、キリスト教学A・キリスト教学Bはクラス指定とする。
ただし、再履修の場合は、クラスを自由に選択して履修することができる。

言語教育科目

言語教育科目は教育課程表（P.77以降）「言語教育科目」のとおりである。

必修外国語：英語

選択必修外国語：フランス語・ドイツ語・中国語・朝鮮語・スペイン語

英語を必修外国語、フランス語・ドイツ語・中国語・朝鮮語・スペイン語を選択必修外国語として開講する。
履修については下記のとおりとする。

- (1)必修単位、選択必修単位をそれぞれ8単位とする。
- (2)選択必修外国語については、フランス語・ドイツ語・中国語・朝鮮語・スペイン語の中から1つを選択しなければならない。
- (3)選択は入学時の決定に従い、途中での変更は認めない。
- (4)基本的に、1年次・2年次ともに必修外国語、選択必修外国語それぞれ4単位、計8単位を履修する。
- (5)外国人留学生の外国語の履修に関しては別に定める。P.30参照。

【注意】

- ①科目名のⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳはグレードを表す。
- ②英語では学習目標の到達度合を測るためにTOEIC-IPテスト（※参照）を利用する。
1年次春学期（全学実施）、2年次秋学期（経済学部実施）に行われる標記テストを受験しなければならない（掲示に注意すること）。

※ TOEIC-IPテストについての注意事項

- ①未受験者は、試験実施学期の最終評価から一律5点減点する。つまり、基本的に1年生は春学期受講科目である英語Ⅰa、英語Ⅰb、2年生は秋学期の英語Ⅳa、英語Ⅳbが該当する。
- ②2年生のインターメディアイト・イングリッシュ受講者にも受験を義務づける。ただし、2年秋学期には必修の英語科目（インターメディアイト・イングリッシュ）は春学期時点で修得済みであるので未受験でも減点はしない。
- ③単位認定され英語必修科目受講を免除された学生にも、2回とも受験を義務づける。ただし、未受験の場合でも減点はしない。

先修条件

各外国語科目の先修条件を次のとおりとする。

【英語】

ⅠとⅡの単位を修得しなければⅢとⅣを履修することができない。

【フランス語・ドイツ語・中国語・朝鮮語・スペイン語】

Ⅰの単位を修得しなければⅡを、Ⅱの単位を修得しなければⅢを、Ⅲの単位を修得しなければⅣを履修することができない。

認定科目

検定試験等の成績により、英語・フランス語・ドイツ語・中国語・朝鮮語・スペイン語・日本語科目の単位認定を申請することができる。ただし、日本語については外国人留学生を対象とする。

単位認定を希望する者は該当科目の履修前あるいは履修中にスコアレポート（成績通知書）または合格証書等を持参のうえ「単位認定願」を経済学部事務室に提出しなければならない（各外国語の認定科目および単位数については「経済学部内規」P.26を参照のこと）。

出席制

語種	1年生科目	2年生科目	出席制
英語	I a、I b、II a、II b (各1単位)	III a、III b、IV a、IV b (各1単位)	6回以上欠席したときは採点されない
フランス語	I、II (各2単位)	III、IV (各2単位)	ペアの授業でそれぞれ4回以上欠席したときは採点されない
ドイツ語	I、II (各2単位)	III、IV (各2単位)	ペアの授業で合計6回以上欠席したときは採点されない
中国語	I、II (各2単位)	III、IV (各2単位)	ペアの授業で合計6回以上欠席したときは採点されない
朝鮮語	I、II (各2単位)	III、IV (各2単位)	ペアの授業で合計6回以上欠席したときは採点されない
スペイン語	I、II (各2単位)	III、IV (各2単位)	ペアの授業いずれかの時限で4回以上欠席したときは採点されない

クラス指定

各外国語は指定されたクラスで履修しなければならない。

再履修クラス

英語・フランス語・ドイツ語・中国語・朝鮮語については再履修クラスを設ける（ただし、他の必修科目と重複して履修できない場合もある）。スペイン語については再履修クラスを設けない。

インテンシブ・コースの履修

- ①インテンシブ・コースを履修した場合の履修体系については言語教育研究センター発行の「外国語のすすめ」を参照すること。
- ②インテンシブ・コースの履修については1年生の春学期に英語の場合はI a、I b（各1単位）を、フランス語・ドイツ語の場合は各科目のI（2単位）をそれぞれ修得し、言語教育研究センターが実施する選考試験に合格しなければならない。
- ③必修外国語を英語とし、フランス語・ドイツ語を選択した場合は選択必修外国語としてインテンシブ・コースを履修することができる。
- ④英語のインテンシブ・コースを履修した者は、学部のコースに戻ることはできない。
- ⑤フランス語・ドイツ語においてインテンシブ初級Iの単位を修得できなかった者は、学部において未修得の単位を修得しなければならない。

外国人留学生の外国語必修科目・選択必修科目

外国人留学生の本学部における外国語の履修については下記のとおり、必修外国語を日本語（8単位）、選択必修外国語を基礎英語（8単位）とする。

なお、日本語は全学科目として開講されているので、履修・学習要覧Webサイトの全学科目の項目、日本語教育センター発行の『日本語科目履修案内』を参照すること。

(1)必修科目

日本語Ⅰ（２） 日本語Ⅱ（２） 日本語Ⅲ（２） 日本語Ⅳ（２） 合計８単位

【日本語の単位認定】

入学時点で「日本留学試験」の日本語の点数（400点満点）が310点以上、「日本語能力試験」のN1級の点数（180点満点）が150点以上で、入学前に実施される「日本語プレースメントテスト」の点数（100点満点）が85点以上の者は、「日本語Ⅰ」（２単位）と「日本語Ⅱ」（２単位）の単位認定を申請し、「日本語Ⅲ」から履修を始めることができる。

- ・日本語は習熟度別にクラス編成を行う。そのため、まずは「日本語Ⅰ」のクラス分けを決めるテスト（プレースメントテスト）を実施するので必ず受験すること。プレースメントテストの詳しい日時等は、日本語教育センターからの案内で確認すること。
- ・日本語はⅠの単位を修得しなければⅡを、Ⅱの単位を修得しなければⅢを、Ⅲの単位を修得しなければⅣを履修することができない。

(2)選択必修科目

基礎英語Ⅰ甲A（１） 基礎英語Ⅰ甲B（１） 基礎英語Ⅰ乙A（１） 基礎英語Ⅰ乙B（１）

基礎英語Ⅱ甲A（１） 基礎英語Ⅱ甲B（１） 基礎英語Ⅱ乙A（１） 基礎英語Ⅱ乙B（１）

合計８単位

- ・基礎英語の代わりに英語・フランス語・ドイツ語・中国語・朝鮮語・スペイン語を選択必修科目として履修することもできるが、その選択は入学時の決定に従い、途中での変更は一切認められない。また母語を選択必修科目として履修することはできない。
- ・基礎英語Ⅰ甲A及びBの単位を修得しなければ基礎英語Ⅱ甲A及びBを、基礎英語Ⅰ乙A及びBを修得しなければ基礎英語Ⅱ乙A及びBを履修することができない。

言語教育科目〈全学科目〉

「インテンシブ・プログラム」のほか、「英語中期留学」、「フランス語中期留学」またイタリア語、ロシア語等が全学科目として開講されているので履修・学習要覧Webサイトの全学科目の項目また言語教育研究センター発行の『インテンシブ・プログラムと外国語学習のすすめ』を参照のこと。

その他

- ①経済学部 of 英会話ⅠA・ⅠB、英会話（特）Ⅰ・Ⅱの履修を希望する場合は申込手続きが必要である。
- ②必修および選択必修外国語の16単位を全て修得した者については、他の1言語のⅠ（２単位）を履修し、単位を修得することができる。ただし言語によっては履修者数により履修できない場合がある。

言語専門科目〈2012年度入学生〉

言語専門科目は教育課程表（P.77以降）「言語専門科目」のとおりである。

言語教育研究センター提供の複数分野専攻制（MS）の科目であり、入学時配布の『複数分野専攻制への扉』を参照のこと。

導入教育科目

導入教育科目は教育課程表（P.77以降）「導入教育科目」のとおりである。

基礎演習（４単位）は必修科目である。

基礎演習は学生の自発性を重視し、知的・創造的活動に必要な基礎的能力を養成するとともに、教員と学生との交流をはかることを目的として開講されている小集団（ゼミナール）形式の科目であり、クラス指定が

される。1年間を通じてその欠席時数が授業予定時数の1/3を超える時は採点されない（成績表には0点を表記）ので注意すること（本冊子の「経済学部内規」Ⅱ. 2. 出席制について参照）。

スポーツ科学・健康科学科目

スポーツ科学・健康科学科目は教育課程表（P.77以降）「スポーツ科学・健康科学科目」のとおりである。全科目が全学科目であるので、詳細は履修・学習要覧Webサイトの全学科目の項目およびシラバスで確認すること。

スポーツ科学・健康科学科目は、全科目について申込手続きが必要になる。詳細については『スポーツ科学・健康科学科目ガイドブック』および「スポーツ科学・健康科学科目時間割」（各学部事務室・教務機構事務部・総合体育館に設置）を参照のこと。

情報科学科目

情報科学科目は教育課程表（P.77以降）「情報科学科目」のとおりである。

全科目が全学科目であるので、詳細は履修・学習要覧Webサイトの全学科目の項目およびシラバスで確認すること。

情報科学科目は、コンピュータに何ができるか、何をしてはいけないのかなど、コンピュータに対する作法・モラル・哲学を学ぶとともに、コンピュータを有効な道具として使いこなす能力を、実習を通して養うために開講されている。開講科目一覧を参照のこと。なお、申込制となっているので履修できない場合がある。申込手続きの日時には注意すること。

なお、コンピュータ実践およびコンピューター言語の履修については科目名の後の（ ）内の内容が異なっていれば重複して履修することができる。

学際・連携科目 〈2012年度入学生〉

学際・連携科目は教育課程表（P.77以降）「学際・連携科目」のとおりである。

一部の科目は全学科目であるので、詳細は履修・学習要覧Webサイトの全学科目の項目およびシラバスで確認すること。

- ①科目の多くが申し込み必要となっているため申込手続きの日時に注意すること（P.49以降参照）。
- ②「外国大学科目」とは交換留学・認定留学において修得した単位を認定するための科目である。留学については経済学部事務室または国際教育・協力センターに問い合わせること。
- ③「西宮市大学単位共通講座」については、西宮北口で開講されるため移動時間帯の授業科目は履修できないので注意すること。
- ④経済学部の科目として「学際トピックスA～J」を開講している。
科目名のうしろのコード番号が異なれば履修することができる。

<例>

履修可否	既に修得済の科目	履修予定の科目	履修可否の理由
○	学際トピックスA (2013)	学際トピックスA (2014)	コード番号が異なっている
○	学際トピックスB (2013)	学際トピックスE (2013)	科目名が異なっている
×	学際トピックスC (2013)	学際トピックスC (2013)	科目名・コード番号が同じ

○：履修可能 ×：履修不可

グローバルスタディーズ科目 〈2013年度入学生〉

グローバルスタディーズ科目は教育課程表（P.77以降）「グローバルスタディーズ科目」のとおりである。

全科目が全学科目であるので、詳細は履修・学習要覧Webサイトの全学科目の項目及びシラバスで確認する

こと。

- ①科目の多くが申し込み必要となっているため申込手続きの日時に注意すること（P.51以降参照）
- ②「外国大学科目」とは交換留学・認定留学において修得した単位を認定するための科目である。留学については経済学部事務室または国際教育・協力センターに問合せること。

ライフデザイン科目

ライフデザイン科目は教育課程表（P.77以降）「ライフデザイン科目」のとおりである。

一部の科目は全学科目であるので、詳細は履修・学習要覧Webサイトの全学科目の項目およびシラバスで確認すること。

- ①ライフデザイン科目は2単位選択必修である。
- ②事前申込が必要な科目があるので、全学科目についての詳細はキャリアセンター・キャリア教育プログラム室発行の冊子「履修の手引き」、学部科目についてはシラバスおよびP.49・50で確認すること。
- ③履修基準年度2年のキャリアワークショップの履修希望者は、前年度秋学期に実施する履修許可のための選考に参加しなければならない。詳細は秋学期以降、掲示・教学Webサービス等でお知らせする。

基盤・学際科目〈2013年度入学生〉

基盤・学際科目は教育課程表（P.77以降）「基盤・学際科目」のとおりである。

一部の科目は全学科目であるので、詳細は履修・学習要覧Webサイトの全学科目の項目及びシラバスで確認すること。

- ①経済学部の科目として「学際トピックスA～J」を開講している。
科目名のうしろのコード番号が異なれば履修することができる。

<例>

履修可否	既に修得済の科目	履修予定の科目	履修可否の理由
○	学際トピックスA (2013)	学際トピックスA (2014)	コード番号が異なっている
○	学際トピックスB (2013)	学際トピックスE (2013)	科目名が異なっている
×	学際トピックスC (2013)	学際トピックスC (2013)	科目名・コード番号が同じ

○：履修可能 ×：履修不可

- ②科目の多くが申し込み必要となっているため申込手続きの日時に注意すること（P.49以降参照）
- ③「西宮市大学単位共通講座」については、西宮北口で開講されるため移動時間帯の授業科目は履修できないので注意すること。

他学部開設の専門教育科目

- ①他学部の授業実施要綱（履修・学習要覧Webサイト）・他学部の時間割表に†印のついている科目を履修することはできない。
- ②他学部開設の専門教育科目（ただし、資格科目を除く）を履修した場合は、総合教育科目の選択科目12単位の一部として扱い、12単位を超えた単位については自由選択（フリーゾーン）として、卒業に必要な単位に算入することができる。
- ③単位修得済の同一名称の専門教育科目は再度履修することはできない。他学部で経済学部と同一名称の専門教育科目も履修できない。また、科目名称は異なるが同じ内容のため履修できない科目もある。詳細は経済学部事務室で確認すること。
- ④申込手続きが必要な科目があるので、各学部の状況を把握しておくこと。

3. 専門教育科目について

本学部において開講される専門教育科目は、基礎科目・入門科目・分析ツール科目からなる専門基礎科目と、コース標準科目・コース応用科目・コース関連科目からなる専門科目で構成されている。

第1学年度より履修ができる専門基礎科目は、経済学を学んで行く上で、基礎となる科目であり、必修あるいは選択必修科目にしている。

第2学年度からは専門科目の選択必修科目および選択科目の履修が始まる。5つのコースより各自の関心と進路に合わせて1コースを選び、各コースで定められた科目より28単位以上を修得（うち6単位以上はコース応用科目より修得）しなければならない。

卒業に必要な単位数=78単位

専門教育科目の卒業に必要な単位数は次表のとおりである。

専門教育科目						
	専門基礎科目			専門科目		
	基礎科目	入門科目	分析ツール科目	コース標準科目	コース応用科目	コース関連科目
必修	10					
選択必修		4	6	28	6	
小計	48					
選択	30					
合計	78					

【注意】

- ①「I・II」、「A・B」が付いている科目はそれぞれ別科目である。
例：「マクロ経済学 I・II」という表記の場合は「マクロ経済学 I」「マクロ経済学 II」を表す。また、「財政学 A・B」という表記の場合は「財政学 A」「財政学 B」を表す。
- ②「II」を履修するには、まず「I」を修得しなければならない（先修条件）。
「I」のみの修得も可。また、「A・B」については「A」のみ修得、「B」のみ修得、「A」「B」とも修得のいずれも可（修得の順序は問わない）。

コード番号体系

専門教育科目の体系的性と難易度を明確にし、学生諸君が体系的な履修を可能とするため、教育課程表（P.77以降）に記載されている専門教育科目の科目左にコードを付番している。各コードの位置づけは下表のとおり。

コード番号	位置づけ
100	経済学を学ぶ上で基礎となる科目。
200	経済学部の大数の学生にとって各専門分野で学ぶべき基本的な内容。
300・350	200番より学習レベルの高い科目であり、応用的要素の強い個別的な科目。なお、350番の科目については大学院開設科目と連携して開講する科目。
400	大学院における標準的な科目の一部について学部学生の履修を認めている科目。履修するためには授業担当者との面接が必要となる。履修方法の詳細はP.35を参照のこと。

基礎科目

基礎科目は教育課程表（P.77以降）「基礎科目」のとおりである。

経済と経済学の基礎A・B（各4単位）、経済の歴史と思想（2単位）は第1学年の必修科目であり、クラスを指定する。ただし、再履修者は指定しない。経済と経済学の基礎A・経済の歴史と思想を春学期、経済と経済学の基礎Bを秋学期に各3クラス開講する（経済と経済学の基礎A・Bは週2コマの授業＜ペア形式＞、経済の歴史と思想は週1コマの授業）。

なお、春学期の「経済と経済学の基礎A」、秋学期の「経済と経済学の基礎B」については補習クラスを開設する。大学院生と学部上級生が主な補習の担当者となり、全クラス春学期、秋学期ともに水曜日5時限に実施する。各クラスの補習教室と補習開始日は授業開始日までに経済学部掲示板にてお知らせする。

入門科目

入門科目は教育課程表（P.77以降）「入門科目」のとおりである。

現代経済入門A・B、言語と文化、地域政策入門A・Bの中から4単位を修得すること。

第2学年度以降「地域政策コース」を選択しようと考えている者は、地域政策入門A・Bを修得しておくことが望ましい。また、第3学年度に地域インターンシップ実習を履修（申込者が定員を超える場合は選考あり）するには、地域政策入門A・Bの少なくともいずれかを修得していることが望ましい。

分析ツール科目

分析ツール科目は教育課程表（P.77以降）「分析ツール科目」のとおりである。

経済学のための数学入門A・B、経済学のための統計学入門A・B、経済情報処理入門Ⅰ・Ⅱの中から6単位を修得すること。経済情報処理入門Ⅰ・Ⅱは事前申込が必要な科目のため、申込の日時に注意すること（P.47・48参照）。

コース標準科目・コース応用科目

コース標準科目・コース応用科目は教育課程表（P.77以降）「コース標準科目」「コース応用科目」のとおりである。

- ①第2学年度より各自の関心と進路に合わせ教育課程表に記載の5つのコースより1つ選択し、各コースで定められた科目のうち28単位を修得しなければならない（各コースについての説明文P.36）。
- ②上記28単位のうち6単位をコース応用科目から修得しなければならない。
- ③選択したコース以外の科目についても履修することができる。
- ④コース修了必要単位（28単位）を超えて修得した場合は専門教育科目の選択科目として、卒業に必要な単位数に算入する。
- ⑤途中でのコース変更を認めるが、卒業までに必ず1コース（28単位）を修了しなければならない。
- ⑥コース選択は第2学年度の春学期履修登録時と第4学年度の春学期履修登録時に教学Webサービスの履修登録画面にて行うことができる。

新設科目「Topics in Economics (in English) A～D」、「Japanese and Asian Economies A・B」の取り扱いについて

2014年度より経済学部の科目として「Topics in Economics (in English) A～D」、「Japanese and Asian Economies A・B」を開講する。

修得した単位は、コースに定められた科目として取り扱い、卒業に必要な単位数に算入することができる（入学年度の教育課程表参照）。

また、「Topics in Economics (in English) A～D」は科目名のうしろのコード番号が異なれば履修することができる。

〈例〉

履修可否	既に修得済の科目	履修予定の科目	履修可否の理由
○	Topics - A (2013)	Topics - A (2014)	コード番号が異なっている
○	Topics - B (2014)	Topics - C (2014)	科目名が異なっている
×	Topics - D (2014)	Topics - D (2014)	科目名・コード番号が同じ

○：履修可能 ×：履修不可

コース関連科目

履修基準年度に注意しながら卒業までに各自、自由に選択し、必要な単位を修得すればよい。なお、以下の科目については履修にあたり下記の記載内容に注意すること。

①研究演習入門

研究演習（入門、Ⅰ、Ⅱとも）はゼミナールと呼ばれているものである。

入門、Ⅰ、Ⅱは入門から継続して履修するものであり、Ⅰから履修を始めることや、Ⅱのみ履修するなど、途中からの履修は認められない。

研究演習入門は第2学年度秋学期の開講であるが、選考された演習クラスで履修しなければならない。申込・選考は例年4月～6月に予定している（掲示で案内する）。研究演習入門を履修するには、次のaからdを含めて卒業に必要な単位数に算入される科目を36単位以上修得しなければならない。ただし、在学期間が3学期以上であることを必要とする（休学した期間はここでの在学期間に算入されない）。

<総合教育科目>

a 必修・選択必修外国語 6単位

<専門教育科目>

b 経済と経済学の基礎A・B、経済の歴史と思想のうち、いずれか2科目 6単位以上

c 入門科目より1科目 2単位

d 分析ツール科目より2科目 4単位

なお、欠席時数が授業予定時数の1/3を超える時は採点されない（成績表には0点を表記）ので注意すること。

②研究演習Ⅰ

研究演習Ⅰは第3学年度の選択科目であり、研究演習入門と同一科目の担当者のもとで履修しなければならない。また、欠席時数が授業予定時数の1/3を超える時は採点されない（成績表には0点を表記）ので注意すること。

③研究演習Ⅱ（卒業論文含む）

研究演習Ⅱが第4学年度の選択科目であり、研究演習Ⅰと同一科目の担当者のもとで履修しなければならない。また、欠席時数が授業予定時数の1/3を超える時は採点されない（成績表には0点を表記）ので注意すること。

卒業論文とは、研究演習Ⅱの担当者の指導のもとに各自が選んだテーマの研究成果をまとめたものである。所定の期日までに経済学部事務室に提出する必要がある。

④経済学トピックス・経済事情

科目名のうしろのコード番号（コード番号がないものも一つのコード番号としてみなす）が異なれば履修することができる。

〈例〉

履修可否	すでに修得済の科目	履修予定の科目	履修可否の理由
○	経済学トピックスD(801)	経済学トピックスD(2012)	コード番号が異なっている
○	経済学トピックスB(2002)	経済学トピックスE(2002)	科目名が異なっている
×	経済学トピックスH(2002)	経済学トピックスH(2002)	科目名・コード番号が同じ
○	経済学トピックスG	経済学トピックスG(701)	コード番号なしとコード番号あり

○：履修可能 ×：履修不可

⑤大学院連携科目（コード番号400番の「上級」科目）

勉学意欲の高い学部生が、大学院（経済学研究科）科目を受講し、経済学部での履修単位として修得できるよう、大学院科目を提供している（コード番号400番の科目）。履修にあたっては履修条件を設ける科目もあるため、事前の申込手続き（春・秋学期）が必要であり、授業担当者の面接によって履修者が選考される。1学期あたりの履修可能科目数については特に制限を設けない。

ただし、それぞれの科目において大学院生の履修者がゼロの場合は不開講となる。詳しくは掲示等で確認すること。

学部科目		大学院科目
「上級ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」	←	「ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」
「上級マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」	←	「マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」
「上級計量経済学Ⅰ・Ⅱ」	←	「計量経済学Ⅰ・Ⅱ」
「上級日本経済史」	←	「経済史A」
「上級外国経済史」	←	「経済史B」

《大学院進学後の単位認定》

学部生が当該科目を単位修得し、大学院（経済学研究科前期課程）に進学した場合、本人の申請により最大10単位まで単位認定することができる。

ただし、学部卒業必要単位数に含まれていない当該科目の単位のみを認定の対象とする。

各コースの説明

日本経済と財政・金融

本コースでは、国民経済のGDPの決定や日本経済全体のメカニズムを、経済学理論を通じて論理的に理解する。具体的なテーマは、人口動態、経済成長など時間の経過とともに起こる問題、少子高齢化時代における年金や医療の問題、巨額の国債残高の問題、消費税を含めた税制のあり方、雇用、福祉など日本経済が直面する問題、景気回復・経済成長を目指す国家の成長戦略や、日本銀行などの中央銀行が担う金融政策などマクロ経済への政策課題など多角的なものとなる。また、経済統計データを用いて計量経済学的手法で、財政問題を分析する力や国の経済政策の立案・評価できる能力を養う。将来、金融業界などへの就職を考えている、あるいは国家上級公務員を目指す人や大学院に進学し、主にマクロ経済学やマクロ経済政策を学ぶことを考えている学生に適したコースである。

日本の企業と家計

本コースでは、企業や消費者の行動原理と市場経済のメカニズムを、経済学理論をもとにして論理的に理解し、主に経済のミクロ的視点から考察する。具体的には、企業の事業資金のファイナンス、家計の資産運用、若年者の失業等の労働問題や社会保障問題、巨大企業同士の合併・提携、共同研究開発の企業間競争への影響、中小企業が市場競争にもたらす影響、企業への規制および規制緩和のメリット・デメリット、企業活動のグローバル化が国内の産業集積に及ぼす変化などがテーマとなる。こうした中で政府が行う産業組織や競争政策、政府の市場介入である規制の在り方等の経済政策を学ぶ。大学院進学者、フィナンシャル・プランナーや経営コンサルタント、シンクタンク、公務員、研究者として働く職を目指す学生に適したコースである。

世界経済の歴史・思想と文化

「本当の豊かさとは何か」という問いからスタートし、歴史的観点からさまざまな世界の思想や経済社会の特色や変化を探る。私たちが現実には直面する日本経済の低迷、企業の混迷といった現在、日本が抱える諸問題も、歴史的な背景と因果関係を持っていると考えられる。歴史・文化的な分析手法は、経済学の考え方や思想の変遷を知ること、理論的分析手法では捨象されるが重要な文化的、社会的な幅広い側面から経済社会の在り方を問い、現代社会を鋭く分析するセンスを養うため、あらゆる職種の人に必要な理論的分析と並ぶ大切な手法である。本コースは、経済社会を広い目で理解し、歴史等の社会科学系の教師やジャーナリストなど、時代の流れを見据え、社会に文章や映像で情報を伝える仕事を目指す学生に適したコースである。

グローバル経済と環境・資源

現代の経済は財やサービスの国際貿易を抜きにしては成り立たない。また、企業は多国籍企業として子会社を海外に設立し、生産・販売活動を行っている。さらには労働者の国際間移動も増大の一途をたどっている。本コースでは、このようなグローバルな視点から限りある経済資源や地球環境、人口問題に触れながら世界経済や国際金融、先進国と発展途上国の利害対立の問題を考察する。現代の国際貿易の基本構造、関税などの貿易政策、WTO、TPPなど関税撤廃、自由貿易協定などの国際的制度やルールを、理論的・体系的に学ぶ。本コースは、国際的視野をもったビジネス・パーソンを目指す人や、WTO、IMFなどの国際公務員やJICAなど国際協力機関で働くことを目指す学生に適したコースである。

地域政策（経法連携）

近年の地方分権の進展、東京一極集中への批判の強まりから、地域の活力向上に対する関心が強まっており、国から地方へ、官から民への動きの中で、地域における「公民協働」による地域社会の発展が求められている。地域の活性化を図り、地域の問題を解決していくために必要な能力を兼ね備えた人材の育成には、学部を横断した経済学・法学・政治学の修得が必要であり、経済学部と法学部が連携し地域政策を学べるよう設けたコースである。本コースでは、経済を正しく分析・理解し、社会の問題解決に貢献できる能力、また法律と政治について理解を深め、論理的思考能力を養うことをねらいとしており、経済学部生と法学部生が席を並べて学び、学部を越えて相互交流できるよう、さまざまな授業科目を設けている。なかでも、中央省庁の現役官僚を担当教員とする少人数制の演習科目や、教室では実感できない自治体、NPO、企業などで実際に仕事を体験する地域インターンシップ実習（就業体験）などは本コースの特長と言える。地域づくりをになう企業人、地方自治体の公務員、NPOなど地域の諸団体の構成員、シンクタンク職員、ジャーナリストなどをを目指す学生に適したコースである。

世界経済の歴史・思想と文化コース 履修計画例

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		必要単位	修得単位		
	修得科目名	単位	修得科目名	単位	修得科目名	単位	修得科目名	単位				
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教A	2						4	4		
		キリスト教B	2									
	言語教育科目	英語 I a	1	英語 III a	1					16	16	
		英語 I b	1	英語 III b	1							
		英語 II a	1	英語 IV a	1							
		英語 II b	1	英語 IV b	1							
		フランス語 I	2	フランス語 III	2							
	フランス語 II	2	フランス語 IV	2								
	導入教育科目	基礎演習	4						4	4		
	スポーツ科学・健康科学科目	総合コース	2	人権教育科目	2	「関学」学	2					
情報科学科目			学際トピックス	2	日本思想史AorB(文)	2			10			
グローバルスタディーズ科目												
基盤・学際科目												
他学部開設専門教育科目												
ライフデザイン科目	キャリアデザインと仕事	2	仕事と生き方	2					2	4		
総合教育科目合計		20		14		4		0	38	38		
専門教育科目	専門基礎科目	基礎科目	経済と経済学の基礎A	4						10	10	
			経済と経済学の基礎B	4								
		入門科目	経済の歴史と思想	2							4	8
			現代経済入門A	2	地域政策入門AorB	2						
	分析ツール科目	経済情報処理入門I	言語と文化	2						6	12	
			経済情報処理入門II	2								
		経済学のための数学入門A	経済学のための数学入門A	2						28	30	
			経済学のための数学入門B	2								
	コース標準科目	経済学のための統計学入門A	経済学のための統計学入門A	2						6	18	
			経済学のための統計学入門B	2								
		マクロ経済学I	マクロ経済学I	2	マクロ経済学II	2	国際経済学	2				
			ミクロ経済学I	2	ミクロ経済学II	2	アジア経済論A	2				
		経済史A	経済史A	2	経済統計学AorB	2						
			経済史B	2	社会政策AorB	2						
	社会思想史A		2	文化と社会の経済学A	2							
	社会思想史B		2	日本経済史I	2							
	コース応用科目	経済学史AorB	2	日本経済史IIor外国経済史II	2							
		近代経済学史AorB	2	社会科学概論AorB	2							
研究演習入門	2	研究演習I	4	研究演習II	4							
		産業組織論AorB	2	経済事情	2							
		会計学AorB	2	労働経済学AorB	2							
専門教育科目合計		20		24		26		16	78	86		
教職科目	教職等資格科目(1)									0		
教職科目	教職等資格科目(2)									—		
修得科目合計		40		38		30		16	124	124		

世界経済の歴史・思想と文化コース 履修計画例 (応用科目をより多く履修した例)

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		必要単位	修得単位		
	修得科目名	単位	修得科目名	単位	修得科目名	単位	修得科目名	単位				
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教A	2						4	4		
		キリスト教B	2									
	言語教育科目	英語 I a	1	英語 III a	1					16	16	
		英語 I b	1	英語 III b	1							
		英語 II a	1	英語 IV a	1							
		英語 II b	1	英語 IV b	1							
		フランス語 I	2	フランス語 III	2							
	フランス語 II	2	フランス語 IV	2								
	導入教育科目	基礎演習	4						4	4		
	スポーツ科学・健康科学科目	総合コース	2	人権教育科目	2	アメリカ経済史(国)	2	外交史AorB(法)	2			
情報科学科目					社会福祉思想史AorB(社)	2			10			
グローバルスタディーズ科目												
基盤・学際科目												
他学部開設専門教育科目												
ライフデザイン科目	キャリアデザインと仕事	2	仕事と生き方	2					2	4		
総合教育科目合計		20		12		4		2	38	38		
専門教育科目	専門基礎科目	基礎科目	経済と経済学の基礎A	4						10	10	
			経済と経済学の基礎B	4								
		入門科目	経済の歴史と思想	2							4	8
			現代経済入門A	2	地域政策入門AorB	2						
	分析ツール科目	経済情報処理入門I	言語と文化	2						6	12	
			経済情報処理入門II	2								
		経済学のための数学入門A	経済学のための数学入門A	2						28	24	
			経済学のための数学入門B	2								
	コース標準科目	経済学のための統計学入門A	経済学のための統計学入門A	2						6	16	
			経済学のための統計学入門B	2								
		マクロ経済学I	マクロ経済学I	2	経済統計学AorB	2						
			ミクロ経済学I	2	社会政策AorB	2						
		経済史A	経済史A	2	文化と社会の経済学A	2						
			経済史B	2	日本経済史I	2						
	社会思想史A		2	外国経済史I	2							
	社会思想史B		2	国際経済学	2							
	コース応用科目	経済学史AorB	2	日本経済史II	2							
		現代日本経済史or現代外国経済史	2	外国経済史II	2							
		経済地理学AorB	2	文化と社会の経済学B	2							
				近代経済学史AorB	2							
				社会科学概論AorB	2							
研究演習入門	2	研究演習I	4	研究演習II	4							
		会計学AorB	2	経済事情	2							
		経済情報処理	2									
専門教育科目合計		20		24		26		16	78	86		
教職科目	教職等資格科目(1)									0		
教職科目	教職等資格科目(2)									—		
修得科目合計		40		36		30		18	124	124		

I・カリキュラム

グローバル経済と環境・資源コース 履修計画例

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		必要単位	修得単位			
	修得科目名	単位	修得科目名	単位	修得科目名	単位	修得科目名	単位					
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教学A	2						4	4			
		キリスト教学B	2										
	言語教育科目	英語 I a	1	英語 III a	1					16	16		
		英語 I b	1	英語 III b	1								
		英語 II a	1	英語 IV a	1								
		英語 II b	1	英語 IV b	1								
		スペイン語 I	2	スペイン語 III	2								
	スペイン語 II	2	スペイン語 IV	2									
	導入教育科目	基礎演習	4						4	4			
	スポーツ科学・健康科学科目	総合コース	2	国連セミナー	2	国際情報分析	2	資源エネルギー論(総政)	2				
情報科学科目			平和学「広島・長崎講座」	2						10			
グローバルスタディーズ科目													
基礎・学際科目													
他学部開設専門教育科目													
ライフデザイン科目	キャリアデザインと仕事	2			キャリアTOEIC講座	2			2	4			
総合教育科目合計		20		12		4		2	38	38			
専門教育科目	基礎科目	経済と経済学の基礎A	4							10	10		
		経済と経済学の基礎B	4										
		経済の歴史と思想	2										
	入門科目	現代経済入門A	2	地域政策入門AorB	2					4	8		
		現代経済入門B	2										
	分析ツール科目	言語と文化	2							6	12		
		経済情報処理入門I	2	経済学のための数学入門A	2								
		経済情報処理入門II	2	経済学のための数学入門B	2								
	コース標準科目					経済学のための統計学入門A	2			28	26		
						経済学のための統計学入門B	2						
						マクロ経済学I	2	マクロ経済学II	2			経済史AorB	2
						ミクロ経済学I	2	ミクロ経済学II	2			社会思想史AorB	2
						国際経済学	2	経済統計学A	2				
						環境・資源経済学	2	経済統計学B	2				
						国際経済政策	2	開発経済学	2				
				アジア経済論A	2								
コース応用科目						中級国際経済学	2	経済地理学AorB	2	6	8		
						中級環境・資源経済学	2	社会科学概論AorB	2				
					研究演習入門	2	研究演習I	4	研究演習II	4	22		
					会計学AorB	2	外国経済史I	2	経済ビジネス英語	2			
							計量経済学	2	農業経済論AorB	2			
							NPO/NGOと市民社会	2					
専門教育科目合計		20		26		24		16	78	86			
教職科目	教職等資格科目(1)									0			
	教職等資格科目(2)									—			
	修得科目合計	40		38		28		18	124	124			

グローバル経済と環境・資源コース 履修計画例 (応用科目をより多く履修した例)

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		必要単位	修得単位		
	修得科目名	単位	修得科目名	単位	修得科目名	単位	修得科目名	単位				
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教学A	2						4	4		
		キリスト教学B	2									
	言語教育科目	英語 I a	1	英語 III a	1					16	16	
		英語 I b	1	英語 III b	1							
		英語 II a	1	英語 IV a	1							
		英語 II b	1	英語 IV b	1							
		スペイン語 I	2	スペイン語 III	2							
	スペイン語 II	2	スペイン語 IV	2								
	導入教育科目	基礎演習	4						4	4		
	スポーツ科学・健康科学科目			国連セミナー	2	プロジェクト・マネジメントI	2	国際協力論(法)	2			
情報科学科目			平和学「広島・長崎講座」	2	現代国際法(国)	2				10		
グローバルスタディーズ科目												
基礎・学際科目												
他学部開設専門教育科目												
ライフデザイン科目	キャリアデザインと仕事	2			キャリアTOEIC講座	2			2	4		
総合教育科目合計		18		12		6		2	38	38		
専門教育科目	基礎科目	経済と経済学の基礎A	4							10	10	
		経済と経済学の基礎B	4									
		経済の歴史と思想	2									
	入門科目	現代経済入門A	2							4	6	
		現代経済入門B	2									
	分析ツール科目	言語と文化	2							6	12	
		経済情報処理入門I	2	経済学のための数学入門A	2							
		経済情報処理入門II	2	経済学のための数学入門B	2							
	コース標準科目					経済学のための統計学入門A	2			28	20	
						経済学のための統計学入門B	2					
						マクロ経済学I	2	マクロ経済学II	2			
						ミクロ経済学I	2	ミクロ経済学II	2			
						国際経済学	2	経済統計学A	2			
						環境・資源経済学	2	経済統計学B	2			
						国際経済政策	2					
				アジア経済論Aor開発経済学	2							
コース応用科目						実証国際経済学AorB	2	国際金融論	2	6	20	
						人口と経済発展AorB	2	国際金融システム論	2			
						中級国際経済学	2	Topics in Economics (in English)	2			
						中級環境・資源経済学	2	社会科学概論AorB	2			
						中級国際経済政策	2					
						アジア経済論Bor中級開発経済学	2					
					研究演習入門	2	研究演習I	4	研究演習II	4	18	
					英語経済書講義AorB	2	現代外国経済史	2	経済ビジネス英語	2		
							計量経済学	2				
専門教育科目合計		20		24		28		14	78	86		
教職科目	教職等資格科目(1)									0		
	教職等資格科目(2)									—		
	修得科目合計	38		36		34		16	124	124		

地域政策コース 履修計画例

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		必要単位	修得単位			
	修得科目名	単位	修得科目名	単位	修得科目名	単位	修得科目名	単位					
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教A	2						4	4			
		キリスト教B	2										
	言語教育科目	英語Ⅰa	1	英語Ⅲa	1					16	16		
		英語Ⅰb	1	英語Ⅲb	1								
		英語Ⅱa	1	英語Ⅳa	1								
		英語Ⅱb	1	英語Ⅳb	1								
		ドイツ語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅲ	2								
	ドイツ語Ⅱ	2	ドイツ語Ⅳ	2									
	導入教育科目	基礎演習	4						4	4			
	スポーツ科学・健康科学科目	人権教育科目	2	災害復興学入門	2	地域フィールドワーク	2						
情報科学科目			総合コース	2	行政学A(法)	2			10				
グローバルスタディーズ科目													
基盤・学際科目													
他学部開設専門教育科目													
ライフデザイン科目	キャリアデザインと仕事	2	仕事と生き方	2					2	4			
総合教育科目合計		20		14		4		0	38	38			
専門教育科目	専門基礎科目	基礎科目	経済と経済学の基礎A	4						10	10		
			経済と経済学の基礎B	4									
		入門科目	経済の歴史と思想	2									
		地域政策入門A	2	現代経済入門AorB	2					4	8		
	分析ツール科目	言語と文化	2										
		経済情報処理入門Ⅰ	2	経済学のための数学入門A	2					6	12		
		経済情報処理入門Ⅱ	2	経済学のための数学入門B	2								
					経済学のための統計学入門A	2							
	専門科目	コース標準科目				経済学のための統計学入門B	2				28	28	
						マクロ経済学Ⅰ	2	マクロ経済学Ⅱ	2	地域政策論			2
						ミクロ経済学Ⅰ	2	ミクロ経済学Ⅱ	2				
						財政学A	2	経済統計学A	2				
						財政学B	2	経済統計学B	2				
						都市経済論	2	行政法概論	2				
		コース応用科目											
								公共経済学	2	公共政策実践演習A	2	6	8
									公共政策実践演習B	2			
							財政トピックス	2					
					研究演習入門	2	研究演習Ⅰ	4	研究演習Ⅱ	4	20		
						社会政策AorB	2	民法AorB	2				
						人口と経済発展AorB	2	法と経済学Ⅰ	2				
							規制経済学	2					
専門教育科目合計		20		24		24		18	78	86			
教職科目	教職等資格科目(1)									0			
教職等資格科目(2)										0			
修得科目合計		40		38		28		18	124	124			

地域政策コース 履修計画例 (応用科目をより多く履修した例)

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		必要単位	修得単位			
	修得科目名	単位	修得科目名	単位	修得科目名	単位	修得科目名	単位					
総合教育科目	キリスト教科目	キリスト教A	2						4	4			
		キリスト教B	2										
	言語教育科目	英語Ⅰa	1	英語Ⅲa	1					16	16		
		英語Ⅰb	1	英語Ⅲb	1								
		英語Ⅱa	1	英語Ⅳa	1								
		英語Ⅱb	1	英語Ⅳb	1								
		ドイツ語Ⅰ	2	ドイツ語Ⅲ	2								
	ドイツ語Ⅱ	2	ドイツ語Ⅳ	2									
	導入教育科目	基礎演習	4						4	4			
	スポーツ科学・健康科学科目	人権教育科目	2	災害復興学入門	2			都市防災論(総政)	2		8		
情報科学科目							地方財政論(入福)	2					
グローバルスタディーズ科目													
基盤・学際科目													
他学部開設専門教育科目													
ライフデザイン科目	キャリアデザインと仕事	2	仕事と生き方	2	履修セミナー	2		2	6				
総合教育科目合計		20		12		2		4	38	38			
専門教育科目	専門基礎科目	基礎科目	経済と経済学の基礎A	4						10	10		
			経済と経済学の基礎B	4									
		入門科目	経済の歴史と思想	2									
		地域政策入門A	2	現代経済入門AorB	2					4	8		
	分析ツール科目	言語と文化	2										
		経済情報処理入門Ⅰ	2	経済学のための数学入門A	2					6	12		
		経済情報処理入門Ⅱ	2	経済学のための数学入門B	2								
					経済学のための統計学入門A	2							
	専門科目	コース標準科目				経済学のための統計学入門B	2				28	24	
						マクロ経済学Ⅰ	2	公共政策論A	2	NPO/NGOと市民社会			2
						ミクロ経済学Ⅰ	2	行政法概論	2				
						財政学A	2	地域政策演習A	2				
						財政学B	2	地域政策演習B	2				
						都市経済論	2	経済統計学AorB	2				
		コース応用科目											
								公共経済学	2	関西経済論	2	6	18
								自治体経営論	2	地域政策トピックス	2		
							国と地方関係論	2	社会科学概論AorB	2			
							地域データ分析	2					
							社会保障論AorB	2					
							地域インターンシップ実習	2					
					研究演習入門	2	研究演習Ⅰ	4	研究演習Ⅱ	4	14		
							計量経済学	2	民法AorB	2			
専門教育科目合計		20		24		28		14	78	86			
教職科目	教職等資格科目(1)									0			
教職等資格科目(2)										0			
修得科目合計		40		36		30		18	124	124			

I・カリキュラム

日本経済と財政金融コース 履修計画例（3年卒業で大学院進学を目指す場合の履修例）

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		必要 単位	修得 単位		
	修得科目名	単位	修得科目名	単位	修得科目名	単位	修得科目名	単位				
総合教育科目	キリスト教科目	2							4	4		
	言語教育科目	英語 I a	1	インターメディアエイト・イングリッシュ II	3	英会話 II A	1			16	24	
		英語 I b	1	英会話 I A	1	英会話 II B	1					
		インターメディアエイト・イングリッシュ I	3	英会話 I B	1							
		中国語 I	2	中国語 III	2							
		中国語 II	2	中国語 IV	2							
		朝鮮語初級 I	1	朝鮮語初級 III	1							
		朝鮮語初級 II	1	朝鮮語中級	1							
	導入教育科目	基礎演習	4						4	4		
	スポーツ科学・健康科学科目	総合コース	2									
	情報科学科目	コンピュータ実践	2							4		
	グローバルスタディーズ科目											
	基盤・学際科目											
	他学部開設専門教育科目											
ライフデザイン科目	キャリアデザインと仕事	2							2	2		
総合教育科目合計		25		11		2		0	38	38		
専門教育科目	基礎科目	経済と経済学の基礎 A	4							10	10	
		経済と経済学の基礎 B	4									
		経済の歴史と思想	2									
		現代経済入門 A	2	地域政策入門 Aor B	2							
	入門科目	現代経済入門 B	2							4	8	
		言語と文化	2									
	分析ツール科目	経済情報処理入門 I	2	経済学のための数学入門 A	2					6	12	
		経済情報処理入門 II	2	経済学のための数学入門 B	2							
	コース標準科目			経済学のための統計学入門 A	2					28	26	
				経済学のための統計学入門 B	2							
				マクロ経済学 I	2	経済史 Aor B	2					
				ミクロ経済学 I	2	社会思想史 Aor B	2					
				マクロ経済学 II	2	財政学 Aor B	2					
				ミクロ経済学 II	2	環境・資源経済学	2					
				経済統計学 A	2							
				経済統計学 B	2							
				経済情報処理	2							
				計量経済学	2							
			マクロ金融論orミクロ金融論	2								
	コース応用科目					中級マクロ経済学	2			6	16	
						中級ミクロ経済学	2					
						マクロ経済とその応用 A or ミクロ経済とその応用 A	2					
						マクロ経済とその応用 B or ミクロ経済とその応用 B	2					
					数理統計	2						
					中級計量経済学 I	2						
					中級計量経済学 II	2						
				経済学のための数学ツール Aor B	2							
			研究演習入門	2	研究演習 I	4			14			
			国際経済学	2	英語経済書講読 Aor B	2						
			社会政策 Aor B	2	経済事情	2						
	専門教育科目合計	20		34		32		0	78	86		
教職科目	教職等資格科目 (1)								0	0		
教職科目	教職等資格科目 (2)								—	—		
	修得科目合計	45		45		34		0	124	124		

複数分野専攻制 (MS)

他学部の専門教育科目を体系的に学ぶために、この制度がある。複数分野専攻制 (MS) で修得した単位は、自由選択 (フリーゾーン) として卒業に必要な単位に算入することができる。詳細は入学時に配布している『複数分野専攻制への扉』を参照すること。

4. 教職等資格科目について

教職等資格関連科目として、教職等資格科目(1)と教職等資格科目(2)が開講される。

教職等資格科目 (1)

教職等資格科目(1)は教職課程の教科専門科目であるが、教職免許状を取得しない者も履修することができる。修得した単位は、教育課程表(P.77以降)のとおり、自由選択(フリーゾーン)として取扱い、8単位まで卒業に必要な単位数に算入することができる。なお、免許状取得希望者は、『教職課程等履修要項』の冊子をもとに、資格の取得についての説明の文書および履修・学習要覧Webサイトを参照し、必ず教職教育研究センターの指導を受けること。

教職等資格科目 (2)

教職等資格科目(2)は、教職課程の教職に関する科目および学校図書館司書教諭資格取得のための科目である。修得した単位は、教育課程表(P.77以降)のとおり、卒業に必要な単位数に算入されない。なお、免許状取得希望者は、『教職課程等履修要項』の冊子をもとに、資格の取得についての説明の文書および履修・学習要覧Webサイトを参照し、必ず教職教育研究センターの指導を受けること。

その他の資格科目

博物館学芸員・社会教育主事*の資格を取得するためには、そのために必要な科目を1年次より計画的に履修する必要がある。取得希望者は『教職課程等履修要項』の冊子をもとに資格の取得についての説明の文書および履修・学習要覧Webサイトを参照し、必ず教職教育研究センターの指示を受けること。

※2014年度以降入学生は社会教育主事資格を取得できない。

5. 先修科目について

次表の先修条件には十分に注意すること。

系列	授業科目	左の授業科目を履修するために必要な先修科目・条件
言語教育科目	英語Ⅲa・Ⅲb	英語Ⅰa・Ⅰb・Ⅱa・Ⅱb
	英語Ⅳa・Ⅳb	英語Ⅰa・Ⅰb・Ⅱa・Ⅱb
	基礎英語Ⅱ甲A	基礎英語Ⅰ甲A・基礎英語Ⅰ甲B
	基礎英語Ⅱ甲B	基礎英語Ⅰ甲A・基礎英語Ⅰ甲B
	基礎英語Ⅱ乙A	基礎英語Ⅰ乙A・基礎英語Ⅰ乙B
	基礎英語Ⅱ乙B	基礎英語Ⅰ乙A・基礎英語Ⅰ乙B
	英会話ⅡA	英会話ⅠA・英会話ⅠB
	英会話ⅡB	英会話ⅠA・英会話ⅠB
	フランス語Ⅱ	フランス語Ⅰ
	フランス語Ⅲ	フランス語Ⅱ
	フランス語Ⅳ	フランス語Ⅲ
	ドイツ語Ⅱ	ドイツ語Ⅰ
	ドイツ語Ⅲ	ドイツ語Ⅱ
	ドイツ語Ⅳ	ドイツ語Ⅲ
	中国語Ⅱ	中国語Ⅰ
	中国語Ⅲ	中国語Ⅱ
	中国語Ⅳ	中国語Ⅲ
	朝鮮語Ⅱ	朝鮮語Ⅰ
	朝鮮語Ⅲ	朝鮮語Ⅱ
	朝鮮語Ⅳ	朝鮮語Ⅲ
	スペイン語Ⅱ	スペイン語Ⅰ
	スペイン語Ⅲ	スペイン語Ⅱ
	スペイン語Ⅳ	スペイン語Ⅲ
	日本語Ⅱ	日本語Ⅰ
	日本語Ⅲ	日本語Ⅱ
	日本語Ⅳ	日本語Ⅲ
	言語教育研究センター開講の英語インテンシブ・プログラム	言語教育研究センター発行の冊子「インテンシブ・プログラムと外国語学習のすすめ」参照。
言語教育研究センター開講のフランス語・ドイツ語インテンシブ・プログラム		
言語教育研究センター開講の選択外国語科目		
ライフデザイン科目	認定インターンシップA・B キャリアゼミアドバンスト インターンシップ実習	関西学院大学キャリアセンター・キャリア教育プログラム室発行の冊子「履修の手引き」または本冊子P.54参照
	キャリアTOEIC講座	①経済学部 of 英語を必修科目として8単位修得した者 ②インターメディアエイト・イングリッシュⅠ・Ⅱまたは、アドバンスト・イングリッシュA・B・C・D(飛び級コース)を必修科目として6単位修得した者
専門科目	経済情報処理入門Ⅱ	経済情報処理入門Ⅰ
	マクロ経済学Ⅱ	マクロ経済学Ⅰ
	ミクロ経済学Ⅱ	ミクロ経済学Ⅰ
	中級計量経済学Ⅱ	中級計量経済学Ⅰ
	日本経済史Ⅱ	日本経済史Ⅰ
	外国経済史Ⅱ	外国経済史Ⅰ
	家計経済学Ⅱ	家計経済学Ⅰ
	法と経済学Ⅱ	法と経済学Ⅰ
	上級マクロ経済学Ⅱ	上級マクロ経済学Ⅰ
	上級ミクロ経済学Ⅱ	上級ミクロ経済学Ⅰ
	上級計量経済学Ⅱ	上級計量経済学Ⅰ
	研究演習入門	本冊子P.34参照。
	研究演習Ⅰ	研究演習入門
	研究演習Ⅱ	研究演習Ⅰ
	教職等資格科目(1)	英会話(特)Ⅱ

Ⅱ. 履修登録について

履修・学習要覧Webサイト・授業科目履修心得により経済学部のカリキュラムを十分理解しておくこと。

履修登録

春学期・・・春学期開講科目と通年科目を登録する。

秋学期・・・秋学期開講科目のみを登録する。

履修登録の日時についてはP.49以降を参照すること。

単位数制限（各学期）について

全学年→24単位

【単位数制限に関する注意点】

- ①通年科目の単位数は1/2として計算する。
- ②夏季休暇中におけるCCCプログラム科目、インドネシア交流セミナーA・B、オックスフォード大学ジョイントセミナーA・B、トルコ交流セミナーA・B、海外フィールドワーク、国連セミナー、夏期外国語研修プログラム等については単位数制限外とする。
また、認定インターンシップA・Bおよび春学期または秋学期の集中講義であるキャリアゼミA・B・C、霞が関セミナー、キャリアゼミアドバンスト、海外インターンシップ等についても単位数制限外とする。
- ③西宮市大学共通単位講座は単位数制限内に算入する。
- ④夏季休暇中における平和学特別講義「ヒロシマ」は単位数制限内に算入する。
- ⑤教職等資格科目（1）は単位数制限内とする。
- ⑥教職等資格科目（2）は単位数制限外とする。
- ⑦複数分野専攻制（MS）で履修する科目は単位数制限内に算入する。
- ⑧言語教育研究センター提供の「サマー・インテンシブ・イングリッシュA（集中）」は単位数制限内とする。
- ⑨日本語学習コース、総合日本学習コース、中国・韓国学習コース科目の単位数は単位数制限内とする。
- ⑩春学期集中科目は春学期、秋学期集中科目は秋学期の単位数制限に算入する。
- ⑪MSプログラムを履修中の学生は履修単位数制限を各学期30単位とする。
- ⑫各学年における席次（GPAによる）が上位5%の学生は履修単位数制限を翌年度各学期30単位とする。
- ⑬他大学からの編入学生は履修単位数制限を各学期30単位とする。
- ⑭卒業に必要な単位に算入されない科目（P.27）は単位数制限外とする。

履修上の注意点

- ①授業科目履修登録を所定の期日までに完了しない者は、授業科目を履修することができない（「経済学部内規」I. 1参照）。
- ②具体的な履修登録手順については、下記「Webによる履修登録」を熟読すること。
- ③授業科目によっては履修登録に先立って申込・登録の手続きを必要とする場合があるので注意すること。
- ④履修登録の際には履修基準年度に注意すること。
- ⑤履修する科目を、事前に本人控え（P.75・76）に記入し、誤りなく履修登録すること。
- ⑥単位修得済の同一名称の授業科目は再度履修することができない。

【同一科目名称についての注意点】

次の科目は同一名称科目としてみなされる。

- ①科目名称が変更になったが同一内容の科目。
- ②他学部と同一名称の科目。
- ③他学部の科目で授業内容が同一であるとみなしている科目。

（例：商学部開講の「会計学総論」と経済学部開講の「会計学A・B」は同一内容のため重複履修できない）

※詳細については経済学部事務室にて確認すること。

- ⑦履修についての相談は、経済学部事務室にて受け付ける。

Webによる履修登録

定められた期間内に以下の手順で履修登録を行うこと。

詳細について不明な点は、教学Webサービストップページ「履修・成績・授業時間割マニュアル」を参照のこと。

- ①教学Webサービス：<https://webinfo.kwansei.ac.jp>にログイン。（IDとパスワードが必要 ⇒ ID・パスワードが不明な場合は第4別館かMR棟のPCサポート室へ）
- ②教務メニューの「履修登録」のリンクをクリック。
- ③時間割画面が表示され、画面左上のタイトルが「履修申請 申請状況画面」となっていることを確認。
- ④時間割画面内の「+」のアイコンをクリックし、履修可能科目の中から履修したい科目を選択。
- ⑤科目の選択が終わったら、画面下部の「履修科目チェック」をクリック。エラーメッセージが表示されなければ画面下部の「申請」をクリックし、履修を確定。エラーメッセージが表示された場合は、その内容に従って速やかに修正すること。
- ⑥「履修申請確認」画面が表示されるので、画面右下の「印刷」ボタンをクリックし、画面を印刷。
※必ずプリントアウトして保管しておくこと（履修確定後の「履修確認表」の配布は行わない）。

コース選択について（2年生・4年生）

2年生・4年生は春学期履修登録期間中に「履修申請 申請状況画面」の「コース選択へ」ボタンより必ず選択すること。

2014年度春学期 履修関係スケジュール

スケジュールは変更になる場合がある。定期的に掲示及び教学Webサービスを確認すること。

日程	時刻	内容	備考
3/24(月)	8:50	履修申請画面公開	クラス指定科目の時間割を確認すること。
3/25(火)	8:50	Web申込科目受付開始 (優先申込科目)	当該期間中の受付科目は以下の通り。 社会学部十字科目、言語教育センター科目、スポーツ科学・健康科学科目の優先申込み科目。 詳細はP.51以降を参照すること。当選者の発表は教学Webサービスで行う。
3/27(木)	16:50	Web申込科目受付締切 (優先申込科目)	
3/29(土)	8:50	Web申込科目当選発表 (優先申込科目)	
4/1(火)	8:50	Web申込科目受付開始 (学部科目、全学科目)	経済学部開講の申込科目は以下のとおり。 異文化理解、英会話 I A、英会話(特) I、英会話(特) II、 経済情報処理入門 I、学際トピックスC(2013)、経済情報処理、 Topics in Economics(in English) C(2013)(※1)、地域政策 演習A、公共政策実践演習A・B、地域インターンシップ実習 全学科目の申込科目は P.51以降を参照すること。当選者の発表は教学Webサービスにて行う。
4/3(木)	16:50	Web申込科目受付締め切り (学部科目、全学科目)	
4/5(土)	8:50	Web申込科目当選発表 (学部科目)	
4/5(土)	18:00	Web申込科目当選発表 (全学科目)	
4/5(土)	8:50	Web申込科目の追加申込開始 (学部科目)	経済学部事務室にて申込をすること(先着順)。対象科目は受付開始と同時にお知らせする。 先着順ため、定員に達した時点で予定よりも早く申込を締め切ることがある。
4/7(月)	11:30	Web申込科目の追加申込締め切り (学部科目)	
4/7(月)		春学期授業開始	
4/7(月)	8:50 ~ 11:30	Web申込科目の追加申込 (全学科目)	全学科目の追加申込可能な科目、申込手続き等の詳細はP.51以降を参照すること。
4/7(月)	17:00	Web申込科目の追加当選発表 (全学科目)	
4/11(金)	8:50	履修登録受付開始	登録方法については教学Webサービス「履修・成績・授業時間割マニュアル」を参照すること。締切後の履修登録は一切受け付けない。
4/14(月)	11:30	履修登録受付締め切り	
4/18(金)	8:50	履修修正登録受付開始	
4/21(月)	16:50	履修修正登録受付締め切り	
4/29(火)	8:50	確定時間割照会開始	教学Webサービス「時間割照会」にて必ず確認すること。
5/19(月)	8:50	春学期後半開講科目履修申込受付	経済学部事務室にて申込をすること。 当該期間中の受付科目と対象者学生は以下のとおり。 中級計量経済学Ⅱ 春学期前半に「中級計量経済学Ⅰ」を履修した者が対象となる。 (※2)
5/23(金)	16:50	春学期後半開講科目履修申込 締め切り	
5/26(月)	8:50	履修中止申請受付開始	教学Webサービス「履修中止」より申請すること。履修中止できない科目は経済学部事務室、教学Webサービスにて確認すること。
5/30(金)	16:50	履修中止申請受付締め切り	
8/11(月)	9:00	春学期成績発表	教学Webサービス「成績照会」より確認すること。

※1 Topics in Economics(in English) C(2013): Globalization and International Economicsは英語だけを使用して、講義と受講者による議論・プレゼンテーションを併用した双方向型授業のため、履修するにあたって望ましい条件は以下のとおり。

- ・TOEICスコアが700点以上である
 - ・英語を用いて主体的・能動的に国際経済や国際金融について学びたい
 - ・ミクロ経済学、マクロ経済学、統計学の基本的な理解を有する
 - ・理論経済学を現実の問題に応用する力を養いたい
- 申込期間中にTOEICスコアレポートを経済学部事務室まで持参すること(学内で受験した際のスコアで申請する場合は提出不要)。その他授業内容等詳細はシラバスを参照すること。

※2 「中級計量経済学Ⅰ」を未修得となった場合は履修不可となる。また、前年度以前に「中級計量経済学Ⅰ」を修得済みの者は履修登録期間中に「中級計量経済学Ⅱ」を履修登録することができる。

2014年度秋学期 履修関係スケジュール

スケジュールは変更になる場合がある。定期的に掲示及び教学Webサービスを確認すること。

日程	時刻	内容	備考
9/2(火)	9:00	Web申込科目受付開始 (優先申込科目)	当該期間中の受付科目は以下の通り。 社会学部十字科目、スポーツ科学・健康科学科目の優先申込み科目、教職実践演習 詳細はP.51以降を参照すること。当選者の発表は教学Webサービスで行う。
9/3(水)	16:00	Web申込科目受付締め切り (優先申込科目)	
9/5(金)	9:00	Web申込科目当選発表 (優先申込科目)	
9/4(木)	9:00	履修申請画面公開	クラス指定科目の時間割を確認すること。
9/5(金)	9:00	Web申込科目受付開始 (学部科目、全学科目)	経済学部開講の申込科目は以下のとおり。 異文化理解、英会話ⅠB、経済情報処理入門Ⅱ、公共政策実践演習A・B、キャリアTOEIC講座 全学科目の申込科目はP.51以降を参照すること。当選者の発表は教学Webサービスにて行う。
9/8(月)	16:00	Web申込科目受付締め切り (学部科目、全学科目)	
9/10(水)	9:00	Web申込科目当選発表 (学部科目)	
9/11(木)	8:50	Web申込科目当選発表 (全学科目)	
9/10(水)	9:00	Web申込科目の追加申込開始 (学部科目)	
9/10(水)	16:00	Web申込科目の追加申込締め切り (学部科目)	先着順ため、定員に達した時点で予定よりも早く申込を締め切ることがある。
9/11(木)	12:30 ~ 16:50	Web申込科目の追加申込 (全学科目)	全学科目の追加申込可能な科目、申込手続き等の詳細はP.51以降を参照すること。
9/16(火)	8:50	Web申込科目の追加当選発表 (全学科目)	
9/22(月)		秋学期授業開始	
9/22(月)	8:50	履修登録受付開始	登録方法については教学Webサービス「履修・成績・授業時間割マニュアル」を参照すること。締め切後の履修登録は一切受け付けない。
9/25(木)	16:50	履修登録受付締め切り	
9/30(火)	8:50	履修修正登録受付開始	
10/2(木)	16:50	履修修正登録受付締め切り	
10/9(木)	8:50	確定時間割照会開始	教学Webサービス「時間割照会」にて必ず確認すること。
11/17(月)	8:50	履修中止申請受付開始	教学Webサービス「履修中止」より申請すること。履修中止できない科目は経済学部事務室、教学Webサービスにて確認すること。
11/21(金)	16:50	履修中止申請受付締め切り	
2015/ 2/19(木)	8:50	春学期成績発表	教学Webサービス「成績照会」より確認すること。

2014年度 春学期 全学科目予備登録スケジュール (西宮上ヶ原キャンパス)

全学科目の開講一覧は55ページ～

【春学期】

担当窓口	共通教育センター	スポーツ科学・健康科学 教育プログラム室	キャリアセンター	
3/26 (水)		●スポーツ科学・健康科学科目 《優先申込 受付》 対象： 教員職員免許状取得のために履修する必要がある3年生以上の未履修者 ※「体育方法学講義C」 「体育方法学演習C」のみ ▼Web受付のみ 3/25 (火) 8:50～3/27 (木) 16:50	《2014年度キャリア教育プログラムガイド配布》 ▼3/20～ キャリアセンター窓口 (学生サービスセンター2F)	
3/27 (木)				
3/28 (金)				
3/29 (土)		《優先申込 履修者発表》 8:50 Web		
3/31 (月)				
4/1 (火)	●情報科学科目のうち「文科系学生のための情報技術入門」、「コンピュータ実践 (ITパスポート講座)」を除く全科目 ●グローバルキャリアデザイン入門 ●「関学」学 ●平和学特別演習「ヒロシマ」 ●災害復興学入門 ●総合コース526・634 ●スタディスキルセミナー ●連携講座006・008・009・012・014 ●社会連携プロジェクト001・002・003 ▼Web受付のみ 4/1(火) 8:50～4/3(木) 16:50	●西宮市大学共通単位講座 《申込受付》 ①オンキャンパス科目：1～3年生対象 ▼4/1(火)～4/3(木) ②センター科目：1～4年生対象 ▼4/8(火)～4/14(月) 共通教育センター(教務機構事務部) ※日程が変更になる場合は掲示等でお知らせします。 《履修者発表》 ①オンキャンパス科目 ▼4/5(土) 9:00 ②センター科目 ▼4/29(火) 9:00 共通教育センター(教務機構事務部) 各学部掲示板 ●コンソーシアムひょうご神戸講座 春・秋学期全科目：2～3年生対象 ▼4/1(火)～4/7(月) 共通教育センター(教務機構事務部)	《一般申込 受付》 対象者：全学部生 対象科目： スポーツ科学・健康科学科目 全科目 ▼Web受付のみ 4/1(火) 8:50～4/3(木) 16:50	●社会の中での自分 (インターンシップ講義) ●インターンシップ実習 ▼Web受付のみ 4/1(火) 8:50～4/3(木) 16:50 ●キャリアゼミA ▼ES提出 (キャリアセンター：学生サービスセンター2階) 3月24日(月) 8:50～4月3日(木) 16:50 ▼Web受付 4/1(火) 8:50～4/3(木) 16:50 *「ES提出」と「web受付」の両方を完了しないと、履修登録完了になりません。
4/2 (水)				
4/3 (木)				
4/4 (金)		《履修者発表》 ▼4/14(月) 共通教育センター(教務機構事務部) 各学部掲示板		
4/5 (土)	《履修者発表》 18:00 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、 教学Webサービス「お知らせ」に表示(予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。	●EUIJ科目 EUIJプログラム登録(詳細は別途掲示) ▼4/1(火)～4/18(金) 共通教育センター(教務機構事務部) 受付時間(全科目共通) (平日) 8:50～11:30 12:30～16:50 (土曜日) 8:50～12:20	《履修者発表》 18:00 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、 教学Webサービス「お知らせ」に表示(予定) ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。「キャリアゼミA」は追加募集を行いません。	
4/7 (月)	《追加申込 受付》 ▼Web受付のみ 8:50～11:30 《追加申込 履修者発表》 17:00 Webでのみ発表	《追加申込 受付》 ▼Web受付のみ 8:50～11:30 《追加申込 履修者発表》 17:00 Webでのみ発表	《追加申込受付》 ▼Web受付のみ 8:50～11:30 《追加申込履修者発表》 17:00 Webでのみ発表	
4/8 (火)				
4/9 (水)				
5月 月上旬			●キャリアゼミB ・募集要項公開：5月下旬～ キャリアセンター窓口および 「KGキャリアナビ」(web)にて 入手可 ・申込受付：5月下旬～6月中旬 ●キャリアゼミ アドバンスト ・募集要項公開：6月上旬～ キャリアセンター窓口および 「KGキャリアナビ」(web)にて 入手可 ・申込受付：6月上旬～7月上旬 ●認定インターンシップA・B ・事前届出書類配布：6月中旬～ キャリアセンター窓口にて ・申請受付：6月中旬～9月上旬	

(※1) 教職課程等科目の申込場所は、特に指定がない場合は「教職教育研究センター事務室(大学院1号館1F)」である。

(※2) 西宮市大学共通単位講座、EUIJ科目、コンソーシアムひょうご神戸講座は、Webでの申込はできない。

(※3) EUIJのCertificateプログラム概要(科目一覧も含めて)については、各学部事務室の掲示・カウンターに配置している。

(※4) 西宮市大学共通単位講座のうち、センター科目は西宮市大学交流センターで実施される科目、オンキャンパス科目は各参加大学で実施される科目をさす。

2014年度 春学期 全学科目予備登録スケジュール (西宮上ヶ原キャンパス)

【春学期】

担当窓口	言語教育研究センター	国際教育・協力センター、日本語教育センター (CIEC)	教職教育研究センター	
3/26 (水)				
3/27 (木)			●免許状取得のための他学部履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50	
3/28 (金)			●免許状取得のための他学部履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50	
3/29 (土)			●免許状取得のための他学部履修申込 ▼8:50~12:20	
3/31 (月)			●免許状取得のための他学部履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50	
4/1 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ●ブレインターミディエイト/プレアドバンスト/アドバンスト/スーパー・アドバンスト・イングリッシュ ●サマー・インテンシブ・イングリッシュB (抽選150名) (集中9/2~6、予備日9/8) ●Language and Communication ●Culture and Society ●Academic Writing and Presentation ●Project-based Seminar in English ●フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級 ※1 ●ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級 ※1 ●中国語中級 ※2 ▼Web受付のみ 4/1(火) 8:50~4/3(木) 16:50 	<ul style="list-style-type: none"> ●総合日本語学習コース ●中国・韓国学習コース ●Topics in Canadian Studies A, B ●English for Cross-Cultural Studies A, B ●CCC Introduction to International Relations ●CCC Introduction to Multicultural Studies ▼Web受付&事務室にスコア提出 (スコア事前登録済の場合はWebのみ可) 4/1(火) 8:50~4/3(木) 16:50 ●国際情報分析 ●国際環境論 ●教育開発論 ●プロジェクトマネジメント I ●グローバルゼミ I ●留学のための英語Academic Writing (交換留学派遣決定者のみ申込可能) ▼Web受付のみ 4/1(火) 8:50~4/3(木) 16:50 ※受付場所、履修条件等、詳細はCIECプログラム募集要項を参照 受付時間 (平日) 8:50~11:30 12:30~16:50 	<ul style="list-style-type: none"> ●日本語 (読解・作文) ●ビジネス日本語A ●ビジネス日本語B ●日本語総合演習A ●日本語教育基礎 ●日本語教育基礎演習 ▼Web受付のみ 4/1(火) 8:50~4/3(木) 16:50 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育実習2次登録 (4年生) ▼8:50~11:30 12:30~16:50 ●博物館実習オリエンテーション (3年生以上) ▼13:30~14:30 4別202
4/2 (水)			●教育実習2次登録 (4年生) ▼8:50~11:30 12:30~16:50	
4/3 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ●(※1) フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級/ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級 (先修条件特別措置対象者のみ) ●(※2) 中国語中級 (検定試験合格者のみ) ▼言語教育研究センター (G号館) にて申込 4/1(火) 8:50~4/3(木) 16:50 			<ul style="list-style-type: none"> ●教育実習2次登録 (4年生) ▼8:50~11:30 12:30~16:50 《博物館実習履修者発表》 8:50 教職教育研究センター ●博物館実習履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50 ●社会教育実習履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50
4/4 (金)			<ul style="list-style-type: none"> ●3年生対象 教育実習オリエンテーション I ▼13:30~15:00 B101 (予定) ●博物館実習履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50 ●社会教育実習履修申込 ▼8:50~11:30 12:30~16:50 ●介護等体験事前指導 (3年生以上) ▼9:30~11:55 B101 (予定) 	
4/5 (土)	《履修者発表》 18:00 Webでのみ発表	《一般申込 履修者発表》 18:00 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、 教学Webサービス「お知らせ」に表示 (予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。	《一般申込 履修者発表》 18:00 Webでのみ発表 ■追加申込対象科目は、 教学Webサービス「お知らせ」に表示 (予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●教職課程・博物館学芸員課程・学 校図書館司書教諭課程等説明会 (新入生・新規希望者) ▼10:00~11:30 5別3、5別4 13:30~15:00 5別3 ●博物館実習履修申込 ▼8:50~12:20 ●社会教育実習履修申込 ▼8:50~12:20
4/7 (月)		《追加申込受付》 ▼Web受付のみ 8:50~11:30 《追加申込履修者発表》 17:00 Webでのみ発表	《追加申込受付》 ▼Web受付のみ 8:50~11:30 《追加申込履修者発表》 17:00 Webでのみ発表	
4/8 (火)				
4/9 (水)				《免許状取得のための他学部履修許可発表》 各学部
5月上旬				

2014年度 秋学期 全学科目予備登録スケジュール (西宮上ヶ原キャンパス)

全学科目の開講一覧は55ページ～

[秋学期]

担当窓口	共通教育センター	スポーツ科学・健康科学 教育プログラム室	キャリアセンター	
9/2 (火)		<p>●スポーツ科学・健康科学科目 《優先申込 受付》 対象：教育職員免許状取得のために履修する必要がある3年生以上の未履修者 ※「体育方法学講義C」「体育方法学演習C」のみ ▼Web受付のみ 9/2(火) 9:00～9/3(水) 16:00</p>	<p>《2014年度キャリア教育プログラム配布中》 キャリアセンター (学生サービスセンター2F)</p>	
9/3 (水)				
9/4 (木)				
9/5 (金)	<p>●情報科学科目のうち「情報技術概論」、「コンピュータ実践 (ITパスポート講座)」を除く全科目 ●ライフデザインと仕事 ●グローバルキャリアデザイン入門 ●「関学」学 ●災害復興学 ●人権教育科目009 ●総合コース518・525 ●スタディスキルセミナー</p> <p>▼Web受付のみ 9/5(金) 9:00～9/8(月) 16:00</p>	<p>《優先申込 履修者発表》 9/5(金) 9:00 Web</p> <p>《一般申込 受付》 対象者：全学部生 対象科目： スポーツ科学・健康科学科目 全科目</p> <p>▼Web受付のみ 9/5(金) 9:00～9/8(月) 16:00</p>	<p>●ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習)</p> <p>▼Web受付のみ 9/5(金) 9:00～9/8(月) 16:00</p>	
9/6 (土)				
9/8 (月)				
9/9 (火)		<p>●西宮市大学共通単位講座 《申込受付》 ①オンキャンパス科目：1～3年生対象 ▼9/9(火)～9/17(水) ②センター科目：1～4年生対象 ▼9/18(木)～9/25(木) 共通教育センター(教務機構事務部) ※日程が変更になる場合は掲示等でお知らせします。</p>		
9/10 (水)				
9/11 (木)	<p>《履修者発表》 8:50 Webでのみ発表</p> <p>《追加申込受付》 ▼Web受付のみ 12:30～16:50</p> <p>■追加申込対象科目がある場合、教学Webサービス「お知らせ」に表示(予定) ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。</p>	<p>《履修者発表》 ①オンキャンパス科目 ▼9/19(金) 9:00 ②センター科目 ▼10/9(木) 9:00 共通教育センター(教務機構事務部) 各学部掲示板</p> <p>●EUIJ科目 EUIJプログラム登録(詳細は別途掲示) ▼9/16(火)～10/10(金) 共通教育センター(教務機構事務部)</p>	<p>《一般申込 履修者発表》 8:50 Webでのみ発表</p> <p>《追加申込 受付》 ▼Web受付のみ 12:30～16:50</p> <p>■追加申込対象科目は、教学Webサービス「お知らせ」に表示(予定) ※追加募集は一般申込抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。</p>	<p>《履修者発表》 8:50 Webでのみ発表</p> <p>■追加申込対象科目がある場合、教学Webサービス「お知らせ」に表示(予定) ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。</p> <p>《追加申込受付》 ▼Web受付のみ 12:30～16:50</p>
9/12 (金)		<p>受付時間(期間によって異なります) 9/9(火)～10(水) (平日) 9:00～11:30 12:30～16:00</p>		
9/16 (火)	<p>《追加申込履修者発表》 8:50 Webでのみ発表</p>	<p>《追加申込履修者発表》 8:50 Webでのみ発表</p>	<p>《追加申込履修者発表》 8:50 Webでのみ発表</p>	
9/22 (月)		<p>(平日) 8:50～11:30 12:30～16:50 (土曜日) 8:50～12:20</p>		
11月 中旬			<p>●キャリアゼミC ・募集要項公開：11月上旬～ キャリアセンター窓口および「KGキャリアナビ」(web)にて入手可 ・申込受付：11月中旬～11月下旬</p> <p>●霞が関セミナー ・募集要項公開：11月上旬～ キャリアセンター窓口および「KGキャリアナビ」(web)にて入手可 ・申込受付：11月中旬～11月下旬</p>	

(※1) 教職課程等科目の申込場所は、特に指定がない場合は「教職教育研究センター事務室(大学院1号館1F)」である。

(※2) 西宮市大学共通単位講座、EUIJ科目、コンソーシアムひょうご神戸講座は、Webでの申込はできない。

(※3) EUIJのCertificateプログラム概要(科目一覧も含めて)については、各学部事務室の掲示・カウンターに配置している。

(※4) 西宮市大学共通単位講座のうち、センター科目は西宮市大学交流センターで実施される科目、オンキャンパス科目は各参加大学で実施される科目をさす。

2014年度 秋学期 全学科目予備登録スケジュール (西宮上ヶ原キャンパス)

【秋学期】

担当窓口	言語教育研究センター	国際教育・協力センター、日本語教育センター (CIEC)	教職教育研究センター	
9/2 (火)			●教職実践演習申込 ▼Web受付のみ 9/2(火) 9:00~ 9/3(水) 16:00	
9/3 (水)			●免許状取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00 ●教職実践演習申込 ▼Web受付のみ 16:00まで	
9/4 (木)			●免許状取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00	
9/5 (金)	●ブレインターミディエイト/ブリアド バノスト/アドバノスト/スーパー・アド バノスト・イングリッシュ ●Language and Communication ●Culture and Society ●Academic Writing and Presentation ●Project-based Seminar in English ●フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級 ※1 ●ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級 ※1 ●中国語中級 ※2 ▼Web受付のみ 9/5(金) 9:00~9/8(月) 16:00	●総合日本学習コース ●中国・韓国学習コース ●Topics in Canadian Studies C, D ●English for Cross-Cultural Studies A, B ●CCC Introduction to International Relations ●CCC Introduction to Multicultural Studies ▼Web受付&事務室にスコア提出(スコア事前登録済の場合はWebのみで可) 9/5(金) 9:00~9/8(月) 16:00 ●国際情報分析 ●教育開発論 ●国際平和構築論 ●グローバルゼミⅠ・Ⅱ ●プロジェクトマネジメントⅠ・Ⅱ ●留学のための英語 Academic Writing (交換留学派遣決定者のみ申込可能) ▼Web受付のみ 9/5(金) 9:00~9/8(月) 16:00	●日本語(聴解・会話) ●日本語総合演習B ●ビジネス日本語A ●ビジネス日本語C ●日本語教育基礎 ●日本語教育基礎演習 ▼Web受付のみ 9/5(金) 9:00~9/8(月) 16:00	●免許状取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00 《教職実践演習履修者発表》 9:00 Webでのみ発表 ●教職実践演習 追加申込 ▼Web受付のみ 9/5(金) 9:00~ 9/8(月) 16:00 ※追加募集は抽選後定員に満たない場合にのみ行います。
9/6 (土)	●(※1) フランス語インテンシブ初級Ⅲ・中級/ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ・中級(先修条件特例措置対象者のみ) ●(※2) 中国語中級(検定試験合格者のみ) ▼言語教育研究センター(G号館)にて申込 9/5(金) 9:00~9/8(月) 16:00	※受付場所、履修条件等、詳細はCIECプログラム募集要項を参照 受付時間 (平日) 9:00~11:30 12:30~16:00	●免許状取得のための他学部履修申込 ▼9:00~12:00 ●教職実践演習 追加申込 ▼Web受付のみ 終日	●免許状取得のための他学部履修申込 ▼9:00~11:30 12:30~16:00 ●教職実践演習 追加申込 ▼Web受付のみ 16:00まで
9/8 (月)				
9/9 (火)				
9/10 (水)				
9/11 (木)	《履修者発表》 8:50 Webでのみ発表	《履修者発表》 8:50 Webでのみ発表 《追加申込受付》 ▼Web受付のみ 12:30~16:50 ■追加申込対象科目がある場合、教学Webサービス「お知らせ」に表示(予定) ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。	《履修者発表》 8:50 Webでのみ発表 《追加申込受付》 ▼Web受付のみ 12:30~16:50 ■追加申込対象科目がある場合、教学Webサービス「お知らせ」に表示(予定) ※追加申込受付は抽選後定員に満たないクラスがある場合にのみ行います。	《追加申込 教職実践演習履修者発表》 8:50 Webでのみ発表
9/12 (金)				
9/16 (火)		《追加申込履修者発表》 8:50 Webでのみ発表	《追加申込履修者発表》 8:50 Webでのみ発表	
9/22 (月)				《免許状取得のための他学部履修許可発表》 各学部
11月中旬				

2014年度 全学科目 開講一覧・予備登録（申込み）について

2014年度の全学科目の開講は以下のとおりです。（海外派遣プログラムの科目は掲載していません。）
履修登録については、下記とともに、次頁以降の履修上の注意または各窓口発行の冊子をよく確認してください。

担当窓口の略称は以下のとおり	
共通教育センター(教務機構)……共通	スポーツ科学・健康科学教育プログラム室(教務機構)……スポ
言語教育センター(教務機構)……言セ	キャリアセンター……キャ
国際教育協力センター、日本語教育センター……CIEC	

◎申込方法

A	Webでの予備登録のみ	日程：春学期 4/1(火) 8:50～4/3(木) 16:50 発表：4/5(土) 18:00 秋学期 9/5(金) 9:00～9/8(月) 16:00 発表：9/11(木) 8:50
B	Webでの予備登録+担当窓口への英語要件スコア原本持参	スコア原本持参期間はWeb予備登録と同じ ※スコアを事前登録済（自動登録も含む）の学生はWebでの予備登録のみで可
C	Webでの予備登録+ES提出	ES提出期間：3/24(月) 8:50～4/3(木) 16:50
■	別日程での申し込み期間は各要項で確認（右記）配布は学部事務室・各窓口	担当窓口： CIEC……『国際教育プログラム募集要項』 言セ……『インテンシブ・プログラムと外国語学習のすすめ』 キャ……『キャリアセンター 2014年度キャリア教育プログラムガイド』
空白	Web本登録・修正期間にWeb登録	

- * 注意事項に※のあるものは、次頁以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を確認してください。
- * 予備登録科目について、定員に満たないクラス等で追加受付がある場合がありますので、スケジュール、教学Webを適宜確認してください。
- * 担当窓口CIEC、言セ、キャについては、必ず担当窓口発行の要項（上記表）を確認してください。

通年開講科目

通年開講科目												
基盤・学際科目[2012年度以前入学生：学際・連携科目]												
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者/コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日/時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
		共通	人権教育科目006	障害と人権		川村 暁雄	4	1	木4	上ケ原	なし	
A	※	共通	社会連携プロジェクト001	TAKARAZUKAを学問する		永田雄次郎	4	2	金5	上ケ原	20	
A	※	共通	社会連携プロジェクト002	環境マップの作成を通した地域連携まちづくりの実践		客野 尚志	4	2	木4	上ケ原・三田	20	
A	※	共通	社会連携プロジェクト003	ソーシャルビジネス創成…コミュニティトレード理解と促進…		定藤 繁樹	4	2	木5	上ケ原	20	
A		共通	総合コース634	情報の先駆者たち列伝		根岸 紳	4	2	木4	上ケ原	100	

春学期開講科目

春学期開講科目												
言語教育科目												
申込方法	ソノリバー	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施※	開講場所	受講者数制限	特記事項	
■	—	言セ	ブレインターミディエイト・イングリッシュ	1～22	春・秋	1	1	○	上ケ原	各25		
■	—	言セ	インターミディエイト・イングリッシュⅡ	1～22	春	3	2	○	上ケ原	各25	クラスは学部毎、IM-I修得者のみ	
■	—	言セ	ブレアドバンスト・イングリッシュ(C)	1～4	春	2	1	○	上ケ原	各25	英語要件あり	
■	—	言セ	ブレアドバンスト・イングリッシュ(B)	5・6	春	2	1	○	上ケ原・三田	各25	英語要件あり	
■	—	言セ	ブレアドバンスト・イングリッシュ(TOEFL)	7	春	2	1	○	上ケ原	各25	英語要件あり	
■	—	言セ	ブレアドバンスト・イングリッシュ(TOEIC)	8～11	春	2	1	○	上ケ原・三田	各25	英語要件あり	
■	—	言セ	アドバンスト・イングリッシュA	1～10	春・秋	2	1	○	上ケ原	各25	英語要件あり	
■	—	言セ	アドバンスト・イングリッシュB	1～7	春・秋	2	1	○	上ケ原・三田	各25	英語要件あり	
■	—	言セ	アドバンスト・イングリッシュC	1～8	春・秋	2	1	○	上ケ原	各25	英語要件あり	
■	—	言セ	アドバンスト・イングリッシュD	1～7	春・秋	2	1	○	上ケ原・三田	各25	英語要件あり	
■	—	言セ	スーパーアドバンスト・イングリッシュ	1～7	春・秋	2	1	○	上ケ原	各25	英語要件あり	
■	—	言セ	サマー・インテンシブ・イングリッシュB		春集中	1	1	○	上ケ原	150	9/2～6の5日間 予備日9/8	
■	—	言セ	フランス語インテンシブ初級Ⅱ	1～3	春	3	2		上ケ原	各約20	履修要件あり	
■	—	言セ	フランス語インテンシブ初級Ⅲ	1～3	春・秋	2	2		上ケ原	各約20	履修要件あり	
■	—	言セ	フランス語インテンシブ中級	1・2	春・秋	2	3		上ケ原	各約20	履修要件あり	
■	—	言セ	ドイツ語インテンシブ初級Ⅱ	1・2	春	3	2		上ケ原	各約20	履修要件あり	
■	—	言セ	ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ	1・2	春・秋	2	2		上ケ原	各約20	履修要件あり	
■	—	言セ	ドイツ語インテンシブ中級	1・2	春・秋	2	3		上ケ原	各約20	履修要件あり	

	言セ	基礎フランス語Ⅰ	1・2	春	1	1		上ケ原				
	言セ	基礎フランス語Ⅲ	1	春	1	2		上ケ原		履修要件あり		
	言セ	フランス語アラカルト(読む)	1・2	春・秋	1	2		上ケ原				
	言セ	フランス語アラカルト(書く)	1・2	春・秋	1	2		上ケ原				
	言セ	フランス語アラカルト(聞く・話す)A	1~3	春・秋	1	1		上ケ原				
	言セ	フランス語アラカルト(聞く・話す)B	1・2	春・秋	1	1		上ケ原				
	言セ	フランス語アラカルト(聞く・話す)C	1・2	春・秋	1	1		上ケ原				
	言セ	基礎ドイツ語Ⅰ	1	春	1	1		上ケ原				
	言セ	基礎ドイツ語Ⅲ	1	春	1	2		上ケ原		履修要件あり		
	言セ	ドイツ語アラカルト(読む)	1・2	春・秋	1	2		上ケ原				
	言セ	ドイツ語アラカルト(書く)	1・2	春・秋	1	2		上ケ原				
	言セ	ドイツ語アラカルト(聞く・話す)A	1・2	春・秋	1	1		上ケ原				
	言セ	ドイツ語アラカルト(聞く・話す)B	1・2	春・秋	1	1		上ケ原				
	言セ	ロシア語初級Ⅰ	1	春	1	1		上ケ原				
	言セ	ロシア語初級Ⅲ	1	春	1	2		上ケ原		履修要件あり		
	言セ	イタリア語初級Ⅰ	1~6	春・秋	1	1		上ケ原				
	言セ	イタリア語初級Ⅱ	1~4	春・秋	1	1		上ケ原		履修要件あり		
	言セ	イタリア語初級Ⅲ	1	春	1	2		上ケ原		履修要件あり		
	言セ	スペイン語初級Ⅰ	1・2	春	1	1		上ケ原				
	言セ	スペイン語初級Ⅲ	1	春	1	2		上ケ原		履修要件あり		
	言セ	スペイン語中級	1・2	春・秋	1	2		上ケ原		履修要件あり		
	言セ	ポルトガル語初級Ⅰ	1	春	1	1		上ケ原				
	言セ	ポルトガル語初級Ⅲ	1	春	1	2		上ケ原		履修要件あり		
	言セ	アラビア語初級Ⅰ	1・2	春・秋	1	1		上ケ原				
	言セ	アラビア語初級Ⅲ	1	春	1	2		上ケ原		履修要件あり		
	言セ	基礎中国語Ⅰ	1・2	春	1	1		上ケ原				
	言セ	基礎中国語Ⅲ	1	春	1	2		上ケ原		履修要件あり		
■	言セ	中国語中級	1~4	春・秋	1	2		上ケ原		履修要件あり		
	言セ	朝鮮語初級Ⅰ	1~3	春	1	1		上ケ原				
	言セ	朝鮮語初級Ⅲ	1・2	春	1	2		上ケ原		履修要件あり		
	言セ	インドネシア語初級Ⅰ	1・2	春	1	1		上ケ原				
	言セ	インドネシア語初級Ⅲ	1	春	1	2		上ケ原		履修要件あり		
	CIEC	日本語Ⅰ	1~6	春	2	1		上ケ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照		
	CIEC	日本語Ⅲ	1~5	春	2	2		上ケ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照		
A	CIEC	日本語(読解・作文)		春	1	2		上ケ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照		
A	CIEC	ビジネス日本語A	1~3	春・秋	1	3		上ケ原・三田	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照		
A	CIEC	ビジネス日本語B	1・2	春	1	3		上ケ原・三田	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照		
A	CIEC	総合日本語演習A		春	2	1		上ケ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照		
	CIEC	日本語学習コース		春・秋	1	1	1	上ケ原	15	交換留学生対象		
■	200	CIEC	英語中期留学マウント・アリソン大学Ⅰ	1・2	春集中 秋集中	5	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目	
■	200	CIEC	英語中期留学マウント・アリソン大学Ⅱ	1・2	春集中 秋集中	4	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目	
■	200	CIEC	英語中期留学マウント・アリソン大学Ⅲ	1・2	春集中 秋集中	4	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目	
■	200	CIEC	英語中期留学クイーンズ大学Ⅰ	1・2	春集中 秋集中	3	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目	
■	200	CIEC	英語中期留学クイーンズ大学Ⅱ	1・2	春集中 秋集中	5	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目	
■	200	CIEC	英語中期留学クイーンズ大学Ⅲ	1・2	春集中 秋集中	5	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目	
■	200	CIEC	英語中期留学トロント大学Ⅰ	1・2	春集中 秋集中	5	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目	
■	200	CIEC	英語中期留学トロント大学Ⅱ	1・2	春集中 秋集中	5	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目	
■	200	CIEC	英語中期留学ニュー・サウス・ウェールズ大学Ⅰ		春集中	4	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目	
■	200	CIEC	英語中期留学ニュー・サウス・ウェールズ大学Ⅱ		春集中	4	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目	
■	200	CIEC	英語中期留学ニュー・サウス・ウェールズ大学Ⅲ		春集中	4	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目	
春 スポーツ科学・健康科学科目 (次ページ以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)												
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A	※	スポ	スポーツ科学講義A	野球の科学	1	中山 悌一	2	1	金・I	上ケ原	200	
A		スポ	健康科学講義A	心と健康	1	安田 傑	2	1	火・I	上ケ原	200	

A	スポ	体育方法学講義C	体育講義	1	仲田 秀臣	2	1	木・Ⅲ	上ケ原	200		
A	スポ	体育方法学講義C	体育講義	2	中塘二三生	2	1	火・Ⅰ	神戸三田	200		
A	スポ	スポーツ科学演習A	卓球	1	森田 茂	2	1	月・Ⅱ	上ケ原	30		
A	スポ	スポーツ科学演習A	卓球	2	森田 茂	2	1	月・Ⅲ	上ケ原	30		
A	スポ	スポーツ科学演習A	卓球	3	高島 規郎	2	1	木・Ⅱ	上ケ原	30		
A	スポ	スポーツ科学演習A	テニス	11	山下 伸一	2	1	水・Ⅱ	上ケ原	30		
A	スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	21	長岡 雅美	2	1	月・Ⅱ	上ケ原	30		
A	スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	22	中嶋 輝雄	2	1	金・Ⅱ	上ケ原	30		
A	スポ	スポーツ科学演習A	ラケットスポーツ	31	森田 茂	2	1	月・Ⅰ	上ケ原	30		
A	スポ	スポーツ科学演習A	ラケットスポーツ	32	仲田 秀臣	2	1	木・Ⅰ	上ケ原	30		
A	スポ	スポーツ科学演習C	サッカー	1	栗原 栄	2	1	水・Ⅰ	上ケ原	30		
A	スポ	スポーツ科学演習C	ソフトボール	11	中山 悌一	2	1	金・Ⅱ	上ケ原	30		
A	※	スポ	スポーツ科学演習D	バスケットボール	1	中嶋 輝雄	2	1	金・Ⅰ	上ケ原	30	
A	※	スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	11	長岡 雅美	2	1	月・Ⅰ	上ケ原	30	
A	※	スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	12	山下 伸一	2	1	水・Ⅲ	上ケ原	30	
A	※	スポ	スポーツ科学演習F	水泳・水球	1	栗原 栄	2	1	水・Ⅱ	上ケ原	30	
A	※	スポ	体育方法学演習C	体育実技	1	高島 規郎	2	1	木・Ⅰ	上ケ原	35	
A	※	スポ	体育方法学演習C	体育実技	2	仲田 秀臣	2	1	木・Ⅱ	上ケ原	35	
A	※	スポ	体育方法学演習C	体育実技	3	佐藤 博信	2	1	木・Ⅲ	上ケ原	35	
A	※	スポ	体育方法学演習C	体育実技	4	中山 悌一	2	1	金・Ⅲ	上ケ原	35	
A	※	スポ	体育方法学演習C	体育実技	5	中塘二三生	2	1	火・Ⅱ	神戸三田	35	
A	※	スポ	体育方法学演習C	体育実技	6	中塘二三生	2	1	火・Ⅲ	神戸三田	35	
A	※	スポ	体育方法学演習C	体育実技	7	栗原 栄	2	1	木・Ⅱ	神戸三田	35	
A	※	スポ	体育方法学演習C	体育実技	8	栗原 栄	2	1	木・Ⅲ	神戸三田	35	
A	※	スポ	体育方法学演習C	体育実技	9	溝畑 潤	2	1	金・Ⅰ	神戸三田	35	
A	※	スポ	体育方法学演習C	体育実技	10	溝畑 潤	2	1	金・Ⅱ	神戸三田	35	
A	※	スポ	余暇生活学演習C	夏期アウトドア (キャンプ)	1~2	林 直也	2	1	集中	上ケ原・学外	40 (各20)	

春 情報科学科目 (次ページ以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること)

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／ コーディネータ	単位	履修 基準 年度	曜日 時限	開講場所	受講者 数制限	特記事項
A		共通	コンピュータ基礎		1	若松 泰之	2	1	月・Ⅴ	上ケ原	80	
A		共通	コンピュータ基礎		2	古隅 弘樹	2	1	火・Ⅰ	上ケ原	150	
A		共通	コンピュータ基礎		3	西本 実苗	2	1	火・Ⅴ	上ケ原	80	
A		共通	コンピュータ基礎		4	鈴木 遵也	2	1	水・Ⅰ	上ケ原	150	
A		共通	コンピュータ基礎		5	鈴木 遵也	2	1	水・Ⅴ	上ケ原	80	
A		共通	コンピュータ基礎		6	若松 泰之	2	1	木・Ⅰ	上ケ原	150	
A		共通	コンピュータ基礎		7	若松 泰之	2	1	木・Ⅴ	上ケ原	80	
A		共通	コンピュータ基礎		8	橋本 幸枝	2	1	金・Ⅰ	上ケ原	150	
A		共通	コンピュータ基礎		9	西本 実苗	2	1	金・Ⅴ	上ケ原	80	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)		1	島野 達雄	2	1	月・Ⅱ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)		2	高田 茂樹	2	1	月・Ⅴ	上ケ原	45	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)		3	古隅 弘樹	2	1	火・Ⅱ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)		4	周防 節雄	2	1	木・Ⅲ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)		5	高田 茂樹	2	1	木・Ⅳ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)		6	森際 孝司	2	1	金・Ⅱ	上ケ原	80	
A		共通	コンピュータ実践 (表計算)		7	橋本 幸枝	2	1	金・Ⅲ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (ホームページ作成)		1	高田 茂樹	2	1	月・Ⅳ	上ケ原	45	
A		共通	コンピュータ実践 (ホームページ作成)		2	西本 実苗	2	1	火・Ⅱ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (ホームページ作成)		3	西本 実苗	2	1	火・Ⅲ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (ホームページ作成)		4	内田啓太郎	2	1	金・Ⅲ	上ケ原	45	
A		共通	コンピュータ実践 (ホームページ作成)		5	池田 瑞穂	2	1	金・Ⅳ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (プレゼンテーション)		1	島野 達雄	2	1	月・Ⅲ	上ケ原	45	
A		共通	コンピュータ実践 (プレゼンテーション)		2	西本 実苗	2	1	火・Ⅳ	上ケ原	45	
A	※	共通	コンピュータ実践 (プレゼンテーション)		3	島野 達雄	2	1	水・Ⅲ	上ケ原	45	
A	※	共通	コンピュータ実践 (文書作成)		1	島野 達雄	2	1	水・Ⅱ	上ケ原	45	
A	※	共通	コンピュータ実践 (文書作成)		2	後藤 達也	2	1	木・Ⅰ	上ケ原	30	
A	※	共通	コンピュータ実践 (文書作成)		3	後藤 達也	2	1	木・Ⅱ	上ケ原	45	
A	※	共通	コンピュータ実践 (文書作成)		4	箱井 英寿	2	1	金・Ⅰ	上ケ原	30	
A	※	共通	コンピュータ実践 (Webコンピューティング)		1	池田 瑞穂	2	1	木・Ⅲ	上ケ原	30	
A	※	共通	コンピュータ実践 (マルチメディア)		1	森 巧尚	2	1	火・Ⅲ	上ケ原	24	
A	※	共通	コンピュータ実践 (マルチメディア)		2	森 巧尚	2	1	火・Ⅳ	上ケ原	24	
A	※	共通	コンピュータ実践 (マルチメディア)		3	鍵本 聡	2	1	水・Ⅳ	上ケ原	24	
A	※	共通	コンピュータ実践 (マルチメディア)		4	鍵本 聡	2	1	水・Ⅴ	上ケ原	24	

A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	1	周防 節雄	2	1	木・Ⅳ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (データ分析)	2	箱井 英寿	2	1	金・Ⅱ	上ケ原	30	
		共通	コンピュータ実践 (ITパスポート講座)	1	池田 瑞穂	2	1	木・Ⅳ	上ケ原	—	
A		共通	コンピュータ実践 (画像処理)	1	高田 茂樹	2	1	月・Ⅱ	上ケ原	30	
A	※	共通	コンピュータ実践 (画像処理)	2	高田 茂樹	2	1	月・Ⅲ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (画像処理)	3	鍵本 聡	2	1	水・Ⅱ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (画像処理)	4	高田 茂樹	2	1	木・Ⅱ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (画像処理)	5	高田 茂樹	2	1	木・Ⅲ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践 (メディアマネジメント)	1	水野 五郎	2	1	金・Ⅲ	上ケ原	20	
A		共通	コンピュータ言語 (J A V A 言語)	1	池田 瑞穂	2	1	金・Ⅱ	上ケ原	30	
		共通	文科系学生のための情報技術入門		高田 茂樹	2	1	火・Ⅴ	上ケ原	—	
春 グローバルスタディーズ科目											
申込方法	ソール	担当	科目名	クラス	開講期	単位	履修	英語	開講場所	受講者	特記事項
■	—	言セ	Language and Communication	1~16	春・秋	2	1	◎	上ケ原	各12	英語要件あり
■	—	言セ	Culture and Society	1~17	春・秋	2	1	◎	上ケ原	各12	英語要件あり
■	—	言セ	Academic Writing and Presentation	1~11	春・秋	2	1	◎	上ケ原	各12	英語要件あり
■	—	言セ	Project-based Seminar in English (Study Abroad)	1~4	春・秋	2	1	◎	上ケ原	各25	
■	—	言セ	Project-based Seminar in English (Career English)	1~4	春・秋	2	1	◎	上ケ原	各15	
B	100	CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 1)	1・2	春・秋	2	1	◎	上ケ原	10	
B	200	CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 2)	1・2	春・秋	2	1	◎	上ケ原	10	
B	300	CIEC	English for Cross-Cultural Studies A (Level 3)	1・2	春・秋	2	1	◎	上ケ原	10	
B	100	CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 1)	1・2	春・秋	2	1	◎	上ケ原	10	
B	200	CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 2)	1・2	春・秋	2	1	◎	上ケ原	10	
B	300	CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 3)	1・2	春・秋	2	1	◎	上ケ原	10	
■	200	CIEC	国連セミナー		春集中	2	2		海外派遣	20	
■	400	CIEC	国連コースボランティア実習	1・2	春・秋	12	2		海外派遣		
■	400	CIEC	国連コースボランティア課題研究	1・2	春・秋	4	2		海外派遣		
■	400	CIEC	国際社会貢献実習	1・2	春・秋	12	2		海外派遣		
■	400	CIEC	国際社会貢献課題研究	1・2	春・秋	4	2		海外派遣		
■	100	CIEC	海外フィールドワーク	1・2	春集中 秋集中	2	1		海外派遣	15	
A	200	CIEC	国際情報分析	1~4	春・秋	2	1		上ケ原・三田	24	
A	300	CIEC	国際環境論		春	2	2		上ケ原	100	
A	300	CIEC	教育開発論	1・2	春・秋	2	2		春)三田 秋)上ケ原	100	
A	200	CIEC	プロジェクトマネジメントⅠ	1~4	春集中 秋集中	2	1		上ケ原	20	
A	300	CIEC	プロジェクトマネジメントⅡ	1~4	春集中 秋集中	2	2		上ケ原	20	
	100	CIEC	世界市民論	1・2	春・秋	2	1		上ケ原		
	300	CIEC	International Politics and Economy A		春集中	2	2	◎	上ケ原	20	隔週土曜日開講
A	100	CIEC	グローバルゼミⅠ	1~2	春	2	1		上ケ原・三田	20	13年度以前入学生のみ履修可
	100	CIEC	日本史概略		春	2	1		上ケ原		一般留学生対象
■	200	CIEC	インドネシア交流セミナーB		春集中	2	1		海外派遣	16	隔年開講科目
■	200	CIEC	カナダ研究マウント・アリソン大学		春集中 秋集中	3	2		海外派遣		英語中期留学の選択科目
■	200	CIEC	国際研究マウント・アリソン大学		春集中 秋集中	3	2		海外派遣		英語中期留学の選択科目
■	200	CIEC	カナダ研究トロント大学		春集中	3	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目
	100	CIEC	カナダ研究入門A		春	2	1		上ケ原		
B	300	CIEC	Topics in Canadian Studies A		春	2	2	◎	上ケ原		
B	300	CIEC	Topics in Canadian Studies B		春	2	2	◎	上ケ原		
	100	CIEC	北欧研究入門		春	2	1		上ケ原		
A	200	CIEC	留学のための英語 Academic Writing	1~3	春・秋	2	1	◎	上ケ原	20	交換留学派遣決定者、出願者対象
	100	CIEC	留学とキャリア設計		春	2	1		上ケ原		
	400	CIEC	International Scholar's Topics A		春	2	1	◎	上ケ原		
B		CIEC	総合日本学習コース科目		春	2	1	◎	上ケ原	15	詳細「国際教育プログラム募集要項」参照
B		CIEC	中国・韓国学習コース科目		春	2	1	◎	上ケ原	15	詳細「国際教育プログラム募集要項」参照
B	200	CIEC	CCC Introduction to Multicultural Studies		春・秋 秋集中	2	1	◎		100	
B	200	CIEC	CCC Introduction to International Relations		春・秋 秋集中	2	1	◎		100	
■	300	CIEC	CCC Joint Seminar in Japan	1・2	春集中	3	2			15	
■	300	CIEC	CCC Joint Seminar in Canada	1・2	春集中	3	2		海外派遣	15	

■	300	CIEC	CCC Global Internship in Japan			春集中	3	2				40	
■	300	CIEC	CCC Global Internship in Canada			春集中	3	2		海外派遣		20	
■	300	CIEC	CCC Global Career Seminar in Japan			春集中	3	2				40	
A	200	CIEC	日本語教育基礎		1~6	春・秋	2	1		上ケ原・三田		40	詳細「国際教育プログラム募集要項」参照
A	300	CIEC	日本語教育基礎演習		1~4	春・秋	2	1		上ケ原		20	詳細「国際教育プログラム募集要項」参照
春 ライフデザイン科目[2012年度以前入学生：学際・連携科目]													
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時間	開講場所	受講者数制限	特記事項	
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		1	樋口 保隆	2	1	火3	上ケ原	45	1年生のみ	
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		2	樋口 保隆	2	1	火4	上ケ原	45	1年生のみ	
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		3	樋口 保隆	2	1	火5	上ケ原	45	1年生のみ	
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		4	樋口 保隆	2	1	水4	神戸三田	45	1年生のみ	
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		5	樋口 保隆	2	1	水5	神戸三田	45	1年生のみ	
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		6	樋口 保隆	2	1	木3	上ケ原	45	1年生のみ	
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		7	江原 昭博	2	1	水2	上ケ原	45	1年生のみ	
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		8	江原 昭博	2	1	水3	上ケ原	45	1年生のみ	
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		9	江原 昭博	2	1	水4	上ケ原	45	2年生のみ	
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		10	江原 昭博	2	1	水5	上ケ原	45	2年生のみ	
A	※	キャ	社会の中での自分（インターンシップ講義）		1	吉川 雅也	2	2	水・I	上ケ原	350		
A	※	キャ	社会の中での自分（インターンシップ講義）		2	吉川 雅也	2	2	水・II	上ケ原	350		
A	※	キャ	社会の中での自分（インターンシップ講義）		3	吉川 雅也	2	2	水・III	上ケ原	350		
A	※	キャ	社会の中での自分（インターンシップ講義）		4	吉川 雅也	2	2	水・IV	上ケ原	350		
A	※	キャ	社会の中での自分（インターンシップ講義）		5	吉川 雅也	2	2	木・IV	神戸三田	250		
A	※	キャ	インターンシップ実習			吉川 雅也	2	3	集中	各企業・団体	100	先修条件あり	
■	※	キャ	海外インターンシップ		1	吉川 雅也	2	1	集中	各企業・団体	15	詳細「国際教育プログラム募集要項」参照	
C	※	キャ	キャリアゼミA		1	森 隆史	1	2	金・V	上ケ原	70	一部変則日程あり	
C	※	キャ	キャリアゼミA		2	森 隆史	1	2	金・III	神戸三田	25	一部変則日程あり	
■	※	キャ	キャリアゼミB			吉川 雅也	1	2	集中	上ケ原・東京	40		
■	※	キャ	キャリアゼミアドバンスト			吉川 雅也	1	3	集中	上ケ原・千刈	30	先修条件あり	
■	※	キャ	認定インターンシップA			吉川 雅也	1	3	集中	各企業・団体	なし	認定科目・先修条件あり	
■	※	キャ	認定インターンシップB			吉川 雅也	2	3	集中	各企業・団体	なし	認定科目・先修条件あり	
春 基盤・学際科目[2012年度以前入学生：学際・連携科目]													
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時間	開講場所	受講者数制限	特記事項	
A		共通	「関学」学		1	舟木 譲	2	1	月4	上ケ原	300		
A	※	共通	平和学特別演習「ヒロシマ」			木本 浩一	2	1	集中	広島	30	8/3~8/8	
A		共通	災害復興学入門			松田 曜子	2	1	金2	上ケ原	100		
		共通	人権教育科目002	在日朝鮮人と人権A		高島 千代	2	1	火4	上ケ原	なし		
		共通	人権教育科目004	人権から見たジェンダーA		舟木 譲	2	1	火4	上ケ原	なし		
		共通	人権教育科目008	人権問題入門		藤井 和夫	2	1	月2	上ケ原	なし		
		共通	人権教育科目010	セクシュアリティと人権		榎本てる子	2	1	金2	上ケ原	なし		
		共通	人権教育科目011	部落差別と人権A		嶺重 淑	2	1	月4	上ケ原	なし		
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		1	渡辺 一成	2	1	月1	上ケ原	30		
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		2	渡辺 一成	2	1	月2	上ケ原	30		
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		3	渡辺 一成	2	1	水2	上ケ原	30		
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		4	渡辺 一成	2	1	水4	神戸三田	30		
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		5	樋口 保隆	2	1	木1	上ケ原	30		
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		6	樋口 保隆	2	1	木2	上ケ原	30		
A	※	共通	スタディスキルセミナー（論文作成）		1	内田啓太郎	2	1	水4	上ケ原	30		
A		共通	スタディスキルセミナー（文章表現）		1	石井 晃	2	1	金2	上ケ原	20		
A	※	共通	スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）		1	内田啓太郎	2	1	火4	上ケ原	30		
A	※	共通	スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）		2	内田啓太郎	2	1	金4	上ケ原	30		
		共通	連携講座002	タカラヅカ学		定藤 繁樹	2	1	金1	上ケ原	なし		
		共通	連携講座004	医学入門A		兵庫医科大学 教員	2	1	金3	神戸三田	なし		
A	※	共通	連携講座006	早期臨床体験実習		兵庫医科大学 提供科目	1	1	集中	兵庫医科大学	20	8/26~8/29	
A	※	共通	連携講座008	医療入門		兵庫医科大学 提供科目	2	1	集中	兵庫医科大学	10	9/1,3,4,6,8,9,12,19	
A	※	共通	連携講座009	東洋医学入門		兵庫医科大学 提供科目	1	2	集中	兵庫医科大学	10	9/1,3,4,16,17,19	
		共通	連携講座010	「イノベーション政策と知的財産」入門講座		眞壽田順啓	2	1	水4	上ケ原	なし		
	※	共通	連携講座011	現役経営者と学ぶ後継者のためのキャリアデザイン		定藤 繁樹	2	2	金2	上ケ原	なし	願書提出あり	

A	共通	連携講座012	発達障がい入門	井出 浩	2	1	木1	上ケ原	50	
	共通	連携講座013	ソーシャル・イノベーション	小池 洋次	2	1	火4	神戸三田	なし	
A	※ 共通	連携講座014	臨床ゲノム医学入門	兵庫医科大提供科目	1	1	集中	兵庫医科大学	10	9/1,2,3,9,11,12
A	共通	総合コース526	文案への誘い	森田 雅也	2	1	火5	上ケ原	200	
	共通	総合コース527	EUの社会経済と産業	市川 顕	2	1	金1	上ケ原	なし	
	共通	総合コース529	グローバル世界における日本の文化力	中村 哲	2	1	木5	上ケ原	なし	

秋学期開講科目

秋 言語教育科目											
申込方法	ソナーバー	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施※	開講場所	受講者数制限	特記事項
■	-	言セ	ブレインターミディエイト・イングリッシュ	1~22	春・秋	1	1	◎	上ケ原	各25	
■	-	言セ	インターミディエイト・イングリッシュ I	1~24	秋	3	1	◎	上ケ原	各25	選考あり、クラスは学部毎
■	-	言セ	プレアドバンスト・イングリッシュ (C)	12~16	秋	2	1	◎	上ケ原	各25	英語要件あり
■	-	言セ	プレアドバンスト・イングリッシュ (B)	17~20	秋	2	1	◎	上ケ原・三田	各25	英語要件あり
■	-	言セ	プレアドバンスト・イングリッシュ(TOEFL)	21	秋	2	1	◎	上ケ原	各25	英語要件あり
■	-	言セ	プレアドバンスト・イングリッシュ(TOEIC)	22~25	秋	2	1	◎	上ケ原・三田	各25	英語要件あり
■	-	言セ	アドバンスト・イングリッシュ A	1~10	春・秋	2	1	◎	上ケ原	各25	英語要件あり
■	-	言セ	アドバンスト・イングリッシュ B	1~7	春・秋	2	1	◎	上ケ原・三田	各25	英語要件あり
■	-	言セ	アドバンスト・イングリッシュ C	1~8	春・秋	2	1	◎	上ケ原	各25	英語要件あり
■	-	言セ	アドバンスト・イングリッシュ D	1~7	春・秋	2	1	◎	上ケ原・三田	各25	英語要件あり
■	-	言セ	スーパーアドバンスト・イングリッシュ	1~7	春・秋	2	1	◎	上ケ原	各25	英語要件あり
■	-	言セ	フランス語インテンシブ初級 I	1~3	秋	3	1		上ケ原	各約20	選考あり
■	-	言セ	フランス語インテンシブ初級 II	1~3	春・秋	2	2		上ケ原	各約20	履修要件あり
■	-	言セ	フランス語インテンシブ中級	1・2	春・秋	2	3		上ケ原	各約20	履修要件あり
■	-	言セ	ドイツ語インテンシブ初級 I	1・2	秋	3	1		上ケ原	各約20	選考あり
■	-	言セ	ドイツ語インテンシブ初級 II	1・2	春・秋	2	2		上ケ原	各約20	履修要件あり
■	-	言セ	ドイツ語インテンシブ中級	1・2	春・秋	2	3		上ケ原	各約20	履修要件あり
	-	言セ	基礎フランス語 II	1	秋	1	1		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	基礎フランス語 IV	1	秋	1	2		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	フランス語アラカルト (読む)	1・2	春・秋	1	2		上ケ原		
	-	言セ	フランス語アラカルト (書く)	1・2	春・秋	1	2		上ケ原		
	-	言セ	フランス語アラカルト(聞く・話す) A	1~3	春・秋	1	1		上ケ原		
	-	言セ	フランス語アラカルト(聞く・話す) B	1・2	春・秋	1	1		上ケ原		
	-	言セ	フランス語アラカルト(聞く・話す) C	1・2	春・秋	1	1		上ケ原		
	-	言セ	基礎ドイツ語 II	1	秋	1	1		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	基礎ドイツ語 IV	1	秋	1	2		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	ドイツ語アラカルト (読む)	1・2	春・秋	1	2		上ケ原		
	-	言セ	ドイツ語アラカルト (書く)	1・2	春・秋	1	2		上ケ原		
	-	言セ	ドイツ語アラカルト(聞く・話す) A	1・2	春・秋	1	1		上ケ原		
	-	言セ	ドイツ語アラカルト(聞く・話す) B	1・2	春・秋	1	1		上ケ原		
	-	言セ	ロシア語初級 II	1	秋	1	1		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	ロシア語中級	1	秋	1	2		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	イタリア語初級 I	1~6	春・秋	1	1		上ケ原		
	-	言セ	イタリア語初級 II	1~4	春・秋	1	1		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	イタリア語中級	1	秋	1	2		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	スペイン語初級 II	1	秋	1	1		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	スペイン語中級	1・2	春・秋	1	2		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	ポルトガル語初級 II	1	秋	1	1		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	ポルトガル語中級	1	秋	1	2		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	アラビア語初級 I	1・2	春・秋	1	1		上ケ原		
	-	言セ	アラビア語初級 II	1	秋	1	1		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	アラビア語中級	1	秋	1	2		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	基礎中国語 II	1・2	秋	1	1		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	基礎中国語 IV	1	秋	1	2		上ケ原		履修要件あり
■	-	言セ	中国語中級	1~4	春・秋	1	2		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	朝鮮語初級 II	1~3	秋	1	1		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	朝鮮語中級	1・2	秋	1	2		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	インドネシア語初級 II	1・2	秋	1	1		上ケ原		履修要件あり
	-	言セ	インドネシア語中級	1	秋	1	2		上ケ原		履修要件あり
	-	CIEC	日本語 II	1~6	秋	2	1		上ケ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
	-	CIEC	日本語 IV	1~5	秋	2	2		上ケ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照

A	-	CIEC	日本語（聴解・会話）		秋	1	2		上ケ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
A	-	CIEC	ビジネス日本語A	1~3	春・秋	1	3		上ケ原・三田	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
A	-	CIEC	ビジネス日本語C		秋	1	3		上ケ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
A	-	CIEC	総合日本語演習B		秋	2	1		上ケ原	15	留学生対象/「日本語科目履修案内」参照
■	200	CIEC	英語中期留学トロント大学スピーキング	1・2	秋集中	2	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目
■	200	CIEC	英語中期留学オックスフォード大学Ⅰ		秋集中	8	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目
■	200	CIEC	英語中期留学オックスフォード大学Ⅱ		秋集中	8	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目
■	200	CIEC	カナダ研究マウント・アリソン大学		春集中 秋集中	3	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目
■	200	CIEC	国際研究マウント・アリソン大学		春集中 秋集中	3	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目
■	200	CIEC	英語中期留学マウント・アリソン大学Ⅰ	1・2	春集中 秋集中	5	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目
■	200	CIEC	英語中期留学マウント・アリソン大学Ⅱ	1・2	春集中 秋集中	4	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目
■	200	CIEC	英語中期留学マウント・アリソン大学Ⅲ	1・2	春集中 秋集中	4	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目
■	200	CIEC	英語中期留学クイーンズ大学Ⅰ	1・2	春集中 秋集中	3	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目
■	200	CIEC	英語中期留学クイーンズ大学Ⅱ	1・2	春集中 秋集中	5	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目
■	200	CIEC	英語中期留学クイーンズ大学Ⅲ	1・2	春集中 秋集中	5	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目
■	200	CIEC	英語中期留学トロント大学Ⅰ	1・2	春集中 秋集中	5	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目
■	200	CIEC	英語中期留学トロント大学Ⅱ	1・2	春集中 秋集中	5	2		海外派遣		英語中期留学の必修科目
■	200	CIEC	フランス語中期留学Ⅰ		秋集中	4	2		海外派遣		仏語中期留学の必修科目
■	200	CIEC	フランス語中期留学Ⅱ		秋集中	4	2		海外派遣		仏語中期留学の必修科目
■	200	CIEC	フランス語中期留学Ⅲ		秋集中	4	2		海外派遣		仏語中期留学の必修科目
	-	CIEC	日本語学習コース		春・秋	1	1	1~4	上ケ原	15	交換留学生対象

秋 スポーツ科学・健康科学科目（次ページ以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること）

申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		スポ	スポーツ科学講義A	野球の科学	2	中山 悌一	2	1	金・Ⅲ	上ケ原	200	
A		スポ	健康科学講義A	心と健康	2	安田 傑	2	1	火・Ⅰ	上ケ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義	3	日高 庸晴	2	1	金・Ⅱ	上ケ原	200	
A		スポ	体育方法学講義C	体育講義	4	溝畑 潤	2	1	金・Ⅰ	神戸三田	200	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	4	森田 茂	2	1	月・Ⅰ	上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	5	長岡 雅美	2	1	月・Ⅱ	上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	6	森田 茂	2	1	月・Ⅲ	上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	卓球	7	高島 規郎	2	1	木・Ⅱ	上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	テニス	12	山下 伸一	2	1	水・Ⅱ	上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	23	森田 茂	2	1	月・Ⅱ	上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	24	河鱈 一彦	2	1	火・Ⅰ	上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	25	仲田 秀臣	2	1	木・Ⅱ	上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	バドミントン	26	中嶋 輝雄	2	1	金・Ⅱ	上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習A	ラケットスポーツ	33	仲田 秀臣	2	1	木・Ⅰ	上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習C	サッカー	2	栗原 栄	2	1	水・Ⅰ	上ケ原	30	
A	※	スポ	スポーツ科学演習C	ソフトボール	12	中山 悌一	2	1	金・Ⅱ	上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バスケットボール	2	中嶋 輝雄	2	1	金・Ⅰ	上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	13	長岡 雅美	2	1	月・Ⅰ	上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習D	バレーボール	14	山下 伸一	2	1	水・Ⅲ	上ケ原	30	
A		スポ	スポーツ科学演習E	格技	1	栗原 栄	2	1	水・Ⅱ	上ケ原	20	
A		スポ	健康科学演習B	トレーニング	1	中山 悌一	2	1	金・Ⅰ	上ケ原	30	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	11	甲斐 知彦	2	1	月・Ⅰ	上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	12	林 直也	2	1	月・Ⅲ	上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	13	高島 規郎	2	1	木・Ⅰ	上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	14	中山 悌一	2	1	木・Ⅱ	上ケ原	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	15	中嶋三三生	2	1	火・Ⅰ	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	16	中嶋三三生	2	1	火・Ⅱ	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	17	栗原 栄	2	1	木・Ⅱ	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	18	栗原 栄	2	1	木・Ⅲ	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	19	溝畑 潤	2	1	金・Ⅱ	神戸三田	35	
A		スポ	体育方法学演習C	体育実技	20	溝畑 潤	2	1	金・Ⅲ	神戸三田	35	

A	※	スポ	余暇生活学演習D	冬期アウトドア（スキー・スノーボード）	1~4	林 直也	2	1	集中	上ケ原・学外	32(各8)	
秋 情報科学科目（次ページ以降の「全学科目申込・履修についての諸注意」を必ず確認すること）												
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A	※	共通	コンピュータ基礎		10	池田 瑞穂	2	1	月・I	上ケ原	150	
A		共通	コンピュータ基礎		11	橋本 幸枝	2	1	火・I	上ケ原	150	
A		共通	コンピュータ基礎		12	鈴木 遵也	2	1	水・I	上ケ原	150	
A		共通	コンピュータ基礎		13	若松 泰之	2	1	木・I	上ケ原	150	
A		共通	コンピュータ基礎		14	西本 実苗	2	1	金・V	上ケ原	150	
A		共通	コンピュータ実践（表計算）		8	高田 茂樹	2	1	月・Ⅲ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践（表計算）		9	高田 茂樹	2	1	月・V	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践（表計算）		10	島野 達雄	2	1	水・Ⅲ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践（表計算）		11	鈴木 遵也	2	1	水・Ⅳ	上ケ原	45	
A		共通	コンピュータ実践（表計算）		12	若松 泰之	2	1	木・Ⅱ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践（表計算）		13	周防 節雄	2	1	木・Ⅳ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践（表計算）		14	周防 節雄	2	1	木・V	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践（表計算）		15	森際 孝司	2	1	金・I	上ケ原	80	
A		共通	コンピュータ実践（表計算）		16	森際 孝司	2	1	金・Ⅱ	上ケ原	80	
A		共通	コンピュータ実践（ホームページ作成）		6	西本 実苗	2	1	火・Ⅱ	上ケ原	45	
A		共通	コンピュータ実践（ホームページ作成）		7	西本 実苗	2	1	火・Ⅲ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践（ホームページ作成）		8	西本 実苗	2	1	火・V	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践（ホームページ作成）		9	内田啓太郎	2	1	金・Ⅲ	上ケ原	45	
A		共通	コンピュータ実践（ホームページ作成）		10	古隅 弘樹	2	1	金・Ⅳ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践（プレゼンテーション）		4	島野 達雄	2	1	月・Ⅱ	上ケ原	45	
A		共通	コンピュータ実践（プレゼンテーション）		5	西本 実苗	2	1	火・Ⅳ	上ケ原	45	
A		共通	コンピュータ実践（プレゼンテーション）		6	島野 達雄	2	1	水・Ⅱ	上ケ原	45	
A		共通	コンピュータ実践（文書作成）		5	島野 達雄	2	1	月・Ⅲ	上ケ原	45	
A		共通	コンピュータ実践（文書作成）		6	後藤 達也	2	1	木・I	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践（文書作成）		7	後藤 達也	2	1	木・Ⅱ	上ケ原	45	
A		共通	コンピュータ実践（文書作成）		8	箱井 英寿	2	1	金・I	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践（文書作成）		9	箱井 英寿	2	1	金・Ⅱ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践（Webコンピューティング）		2	池田 瑞穂	2	1	木・Ⅲ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践（マルチメディア）		5	森 巧尚	2	1	火・Ⅲ	上ケ原	24	
A		共通	コンピュータ実践（マルチメディア）		6	森 巧尚	2	1	火・Ⅳ	上ケ原	24	
A		共通	コンピュータ実践（マルチメディア）		7	鍵本 聡	2	1	水・Ⅳ	上ケ原	24	
A		共通	コンピュータ実践（マルチメディア）		8	鍵本 聡	2	1	水・V	上ケ原	24	
A		共通	コンピュータ実践（データ分析）		3	周防 節雄	2	1	木・Ⅲ	上ケ原	30	
		共通	コンピュータ実践（ITパスポート講座）		2	池田 瑞穂	2	1	木・Ⅳ	上ケ原	-	
A		共通	コンピュータ実践（画像処理）		6	高田 茂樹	2	1	月・Ⅱ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践（画像処理）		7	高田 茂樹	2	1	月・Ⅳ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践（画像処理）		8	鍵本 聡	2	1	水・Ⅱ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践（画像処理）		9	高田 茂樹	2	1	木・Ⅲ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践（画像処理）		10	高田 茂樹	2	1	木・Ⅳ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ実践（映像処理）		1	武田 俊之	2	1	水・Ⅲ	上ケ原	24	
A		共通	コンピュータ実践（情報デザイン）		1	武田 俊之	2	1	水・Ⅳ	上ケ原	24	
A		共通	コンピュータ実践（メディアマネジメント）		2	水野 五郎	2	1	金・Ⅲ	上ケ原	20	
A		共通	コンピュータ実践（サウンドメディア）		1	近藤 晶子	2	1	火・Ⅱ	上ケ原	16	
A		共通	コンピュータ実践（Excel VBA）		1	古隅 弘樹	2	1	金・Ⅲ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ言語（J A V A 言語）		2	丹羽 時彦	2	1	木・Ⅱ	上ケ原	30	
A		共通	コンピュータ言語（C言語）		1	池田 瑞穂	2	1	金・Ⅱ	上ケ原	30	
		共通	情報技術概論			池田 瑞穂	2	2	金・Ⅳ	上ケ原	-	
秋 グローバルスタディーズ科目												
申込方法	ナンバ	担当窓口	科目名	クラス	開講期	単位	履修基準年度	英語実施※	開講場所	受講者数制限	特記事項	
■	-	言セ	Language and Communication	1~16	春・秋	2	1	◎	上ケ原	各12	英語要件あり	
■	-	言セ	Culture and Society	1~17	春・秋	2	1	◎	上ケ原	各12	英語要件あり	
■	-	言セ	Academic Writing and Presentation	1~11	春・秋	2	1	◎	上ケ原	各12	英語要件あり	
■	-	言セ	Project-based Seminar in English（Study Abroad）	1~4	春・秋	2	1	◎	上ケ原	各25		
■	-	言セ	Project-based Seminar in English（Career English）	1~4	春・秋	2	1	◎	上ケ原	各15		
B	100	CIEC	English for Cross-Cultural Studies A（Level 1）	1・2	春・秋	2	1	◎	上ケ原	10		
B	200	CIEC	English for Cross-Cultural Studies A（Level 2）	1・2	春・秋	2	1	◎	上ケ原	10		
B	300	CIEC	English for Cross-Cultural Studies A（Level 3）	1・2	春・秋	2	1	◎	上ケ原	10		
B	100	CIEC	English for Cross-Cultural Studies B（Level 1）	1・2	春・秋	2	1	◎	上ケ原	10		

B	200	CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 2)	1・2	春・秋	2	1	◎	上ケ原	10		
B	300	CIEC	English for Cross-Cultural Studies B (Level 3)	1・2	春・秋	2	1	◎	上ケ原	10		
■	400	CIEC	国連コースボランティア実習	1・2	春・秋	12	2		海外派遣			
■	400	CIEC	国連コースボランティア課題研究	1・2	春・秋	4	2		海外派遣			
■	400	CIEC	国際社会貢献実習	1・2	春・秋	12	2		海外派遣			
■	400	CIEC	国際社会貢献課題研究	1・2	春・秋	4	2		海外派遣			
A	200	CIEC	国際情報分析	1~4	春・秋	2	1		上ケ原・三田	24		
A	300	CIEC	教育開発論	1・2	春・秋	2	2		春)三田 秋)上ケ原	100		
A	300	CIEC	国際平和構築論		秋	2	1		上ケ原	200		
■	100	CIEC	海外フィールドワーク	1・2	春集中 秋集中	2	1		海外派遣	15		
A	200	CIEC	プロジェクトマネジメントⅠ	1~4	春集中 秋集中	2	1		上ケ原	20		
A	300	CIEC	プロジェクトマネジメントⅡ	1~4	春集中 秋集中	2	2		上ケ原	20		
	100	CIEC	世界市民論	1・2	春・秋	2	1		上ケ原			
	300	CIEC	International Politics and Economy B		秋集中	2	2	◎	上ケ原	20	隔週土曜日開講	
A	100	CIEC	グローバルゼミⅠ	3~6	秋	2	1		上ケ原・三田	20		
A	400	CIEC	グローバルゼミⅡ	1・2	秋	2	3		上ケ原	20	国際社会貢献実習等参加学生 対象	
	100	CIEC	日本企業文化論		秋	2	1		上ケ原		一般留学生対象	
■	200	CIEC	トルコ交流セミナーA		秋集中	2	1		海外派遣	15	隔年開講科目	
	100	CIEC	カナダ研究入門B		秋	2	1		上ケ原			
B	300	CIEC	Topics in Canadian Studies C		秋	2	2	◎	上ケ原			
B	300	CIEC	Topics in Canadian Studies D		秋	2	2	◎	上ケ原			
A	200	CIEC	留学のための英語 Academic Writing	1~3	春・秋	2	1	◎	上ケ原	20	交換留学派遣決定者、出願者 対象	
	400	CIEC	International Scholar's Topics B		秋	2	1	◎	上ケ原			
■	300	CIEC	海外社会体験実習		秋	13	2		海外派遣	全体30		
B	200	CIEC	CCC Introduction to Multicultural Studies		春集中 秋集中	2	1	◎		100		
B	200	CIEC	CCC Introduction to International Relations		春集中 秋集中	2	1	◎		100		
■	300	CIEC	CCC Global Career Seminar in Canada		秋集中	3	2		海外派遣	20		
■	100	CIEC	Cross-Cultural Workshop		秋集中	3	1		海外派遣	20		
A	200	CIEC	日本語教育基礎	1~6	春・秋	2	1		上ケ原・三田	40	詳細「国際教育プログラム募 集要項」参照	
A	300	CIEC	日本語教育基礎演習	1~4	春・秋	2	1		上ケ原	20	詳細「国際教育プログラム募 集要項」参照	
秋 ライフデザイン科目[2012年度以前入学生：学際・連携科目]												
申込 方法	注意 事項	担当 窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者/ コーディネータ	単位	履修 基準 年度	曜日 時限	開講場所	受講者 数制限	特記事項
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		11	樋口 保隆	2	1	火3	上ケ原	45	1年生のみ
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		12	樋口 保隆	2	1	火4	上ケ原	45	1年生のみ
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		13	樋口 保隆	2	1	火5	上ケ原	45	1年生のみ
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		14	樋口 保隆	2	1	水4	神戸三田	45	1年生のみ
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		15	樋口 保隆	2	1	水5	神戸三田	45	1年生のみ
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		16	江原 昭博	2	1	水2	上ケ原	45	1年生のみ
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		17	江原 昭博	2	1	水3	上ケ原	45	1年生のみ
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		18	江原 昭博	2	1	水4	上ケ原	45	1年生のみ
A		共通	グローバルキャリアデザイン入門		19	江原 昭博	2	1	水5	上ケ原	45	1年生のみ
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習)		1	吉川 雅也	2	2	火・I	上ケ原	42	
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習)		2	吉川 雅也	2	2	火・Ⅲ	上ケ原	42	
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習)		3	吉川 雅也	2	2	火・Ⅳ	上ケ原	42	
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習)		4	吉川 雅也	2	2	火・Ⅴ	上ケ原	42	
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習)		5	吉川 雅也	2	2	水・I	上ケ原	42	
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習)		6	吉川 雅也	2	2	水・Ⅱ	上ケ原	42	
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習)		7	吉川 雅也	2	2	水・Ⅲ	上ケ原	42	
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習)		8	吉川 雅也	2	2	水・Ⅳ	上ケ原	42	
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習)		9	吉川 雅也	2	2	水・Ⅴ	上ケ原	42	
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習)		10	吉川 雅也	2	2	水・Ⅵ	上ケ原	42	
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習)		11	吉川 雅也	2	2	水・Ⅶ	上ケ原	42	
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習)		12	吉川 雅也	2	2	木・I	上ケ原	42	
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習)		13	吉川 雅也	2	2	木・Ⅱ	上ケ原	42	
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習)		14	吉川 雅也	2	2	木・Ⅲ	上ケ原	42	
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習)		15	吉川 雅也	2	2	木・Ⅳ	上ケ原	42	
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク (インターンシップ演習)		16	吉川 雅也	2	2	木・Ⅴ	上ケ原	42	

A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク（インターンシップ演習）	17	吉川 雅也	2	2	金・Ⅳ	上ケ原	42		
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク（インターンシップ演習）	18	吉川 雅也	2	2	金・Ⅴ	上ケ原	42		
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク（インターンシップ演習）	19	吉川 雅也	2	2	火・Ⅲ	神戸三田	42		
A		キャ	ソーシャルスキルとチームワーク（インターンシップ演習）	20	吉川 雅也	2	2	火・Ⅳ	神戸三田	42		
■	※	キャ	海外インターンシップ	2	吉川 雅也	2	1	集中	各企業・団体	15	詳細「国際教育プログラム募集要項」参照	
■	※	キャ	キャリアアゼミC		吉川 雅也	1	2	集中	上ケ原・東京	40		
■	※	キャ	霞が関セミナー		吉川 雅也	1	1	集中	上ケ原・東京	100		
秋 基盤・学際科目[2012年度以前入学生：学際・連携科目]												
申込方法	注意事項	担当窓口	科目名	コース名・副題	クラス	代表者／コーディネータ	単位	履修基準年度	曜日・時限	開講場所	受講者数制限	特記事項
A		共通	「関学」学		2	舟木 讓	2	1	月4	上ケ原	300	
A		共通	災害復興学			山中 茂樹	2	1	金2	上ケ原	100	
		共通	人権教育科目003	在日朝鮮人と人権B		高島 千代	2	1	火4	上ケ原	なし	
		共通	人権教育科目005	人権から見たジェンダーB		舟木 讓	2	1	火4	上ケ原	なし	
		共通	人権教育科目007	人権と共生		細見 和志	2	1	木5	神戸三田	なし	
A		共通	人権教育科目009	多文化社会と人権		大岡 栄美	2	1	月2	上ケ原	200	
		共通	人権教育科目012	部落差別と人権B		嶺重 淑人	2	1	月4	上ケ原	なし	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		7	渡辺 一成	2	1	月1	上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		8	渡辺 一成	2	1	月2	上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		9	渡辺 一成	2	1	水2	上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		10	渡辺 一成	2	1	水4	神戸三田	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		11	樋口 保隆	2	1	木1	上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（読む・書く・話す・聴く）		12	樋口 保隆	2	1	木2	上ケ原	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（論文作成）		2	内田啓太郎	2	1	水4	上ケ原	30	
A		共通	スタディスキルセミナー（文章表現）		2	石井 晃	2	1	金2	上ケ原	20	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）		3	内田啓太郎	2	1	火4	上ケ原	30	
A	※	共通	スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）		4	内田啓太郎	2	1	金4	上ケ原	30	
		共通	寄附講座206	大学とスポーツ		根岸 紳	2	1	木1	上ケ原	なし	
		共通	連携講座005	医学入門B		兵庫医科大学教員	2	1	水4	上ケ原	なし	
A		共通	ライフデザインと仕事		1	吉川 雅也	2	1	木5	上ケ原	250	
A		共通	ライフデザインと仕事		2	吉川 雅也	2	1	木3	神戸三田	100	
A		共通	総合コース518	新ファッション学		長田 典子	2	2	火4	上ケ原	100	
		共通	総合コース522	社会的企業～創出のセオリー～		山本 隆	2	1	木4	上ケ原	なし	
		共通	総合コース523	北欧デンマークを理解する		平林 孝裕	2	1	木5	上ケ原	なし	
A		共通	総合コース525	減災まちづくり		岡田 憲夫	2	1	木4	神戸三田	100	
		共通	総合コース528	仕事のやりがいと幸福		寺本 益英	2	1	木4	上ケ原	なし	
		共通	総合コース806	ミナト神戸の宗教とコミュニティ		神田 健次	2	1	火4	上ケ原	なし	

2014年度全学科目申込・履修についての諸注意

《スポーツ科学・健康科学科目》

スポーツ科学・健康科学科目は、**全科目申込手続き**が必要です。

履修を希望する方は下記およびWeb (http://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000743.html) ならびに「スポーツ科学・健康科学科目時間割」(各学部事務室、教務機構事務部、総合体育館に設置)を参照してください。

■優先申込について

予備登録(申込)より前に、下記対象者は優先申込をすることができます。

※履修希望者が優先申込定員を上回った場合は、抽選となります。

対象者	教育職員免許状取得のために履修する必要がある3年生以上の未履修者
対象科目	「体育方法学講義C」・「体育方法学演習C」
申込方法	教学Webサービス (URL: https://webinfo.kwansei.ac.jp/) ※講義・演習科目ともに第2希望まで申し込むことができます。
発表	教学Webサービス

◆春学期：申込期間 2014年3月25日(火) 8:50～3月27日(木) 16:50締切

発表 2014年3月29日(土) 8:50～

◆秋学期：申込期間 2014年9月2日(火) 9:00～9月3日(水) 16:00締切

発表 2014年9月5日(金) 9:00～

秋学期の申込スケジュールは、変更する可能性があります。変更がある場合は、教学webサービスにて連絡します。

スポーツ科学・健康科学科目のすべての科目は、申込科目のため履修の中止を申請することはできません。

学部の必修科目等と重複しないように注意してください。

I. 申込にあたっての注意事項

1. 一学期(春学期又は秋学期)に履修できる科目は講義1科目、演習1科目の2科目4単位までです。
2. 同一名称科目は、異なるクラス・種目であっても重複して履修することはできません。
例)【スポーツ科学演習A1:卓球】を履修済みの場合は【スポーツ科学演習A21:バドミントン】を履修できません(同じ「スポーツ科学演習A」であるため)。
3. 講義科目は開講科目数まで、演習科目は第5希望まで申し込むことができます。
(優先申込のある学部については、「優先申込について」に記載の希望数となります)
4. 科目には、上ヶ原キャンパス開講と三田キャンパス開講のものがあります。確認の上、履修可能な科目を申し込むようにしてください。

II. 履修にあたっての諸注意

1. 卒業要件との関係

- 神・文・社会(2009年度以降入学生)・法・経済・商・理工・総合政策・人間福祉・教育・国際学部
……………自由選択(時間が許す範囲で履修する事ができます)
- 社会学部の2008年度以前入学生……………選択必修
(開講科目の中から2科目4単位(組み合わせは自由)を取得する必要があります)

2. 教職課程を履修する場合

スポーツ科学・健康科学科目は、教育職員免許状を取得する学生（教育学部生を除く）にとって種類・教科に関係なく、必修の科目です。「体育方法学講義C」と「体育方法学演習C」を履修することが望ましいですが、その他の科目（「健康科学」、「余暇生活学」を除く）の講義科目および演習科目からそれぞれ1科目2単位の合計2科目4単位を選択履修しても構いません。

※理工学部生（2009年度以降入学生）、総合政策学部生（2009年度以降入学生）、人間福祉学部生および国際学部生は必ず「体育方法学講義C」と「体育方法学演習C」を履修してください。

※優先申込制度があります（教育学部を除く）。

※履修に際しては、教職教育研究センターの「教職課程等履修要項」を参照してください。

3. 養護コースについて

身体活動を制限されたり禁止されている学生のために、「体育方法学演習C」の中に「養護コース」を設けています。授業内容は健康・体力状態等により決定します。養護コースを希望する学生は、教務機構事務部まで申し出てください。

申込期間：春学期 2014年4月3日(木) 16:50まで

秋学期 2014年9月3日(水) 16:00まで

4. 集中授業について

春学期開講の余暇生活学演習C（夏期アウトドア：キャンプ）および、秋学期開講の余暇生活学演習D（冬期アウトドア：スキー・スノーボード）は集中講義として開講されます。集中講義は受講にあたり別途実習参加費等の負担が発生します。また、実習の前に行われる全ての事前授業に出席しなければ実習への参加が正式に認められませんので、必ず事前授業を含めた全授業日程に参加できる事を確認した上で申し込みをしてください。

集中授業実施の詳細内容については「スポーツ科学・健康科学科目時間割」および「集中授業実施要項」(Web ※)と教学Webサービス「お知らせ」にも掲載する予定ですので、よく確認して履修してください。

※http://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000743.html

5. 演習科目の履修についての諸注意

1) 第1回目の授業について

演習科目の第1回目の授業はオリエンテーションを行うので更衣はせずに下記の場所に集合してください。

学期	科目名	曜日時限	担当	集合場所
春	上ヶ原キャンパス開講 全演習科目			総合体育館2F
	三田キャンパス開講 体育方法学演習C5	4月8日(火) 2時限	中塘	未定※
	三田キャンパス開講 体育方法学演習C6	4月8日(火) 3時限	中塘	未定※
	三田キャンパス開講 体育方法学演習C7	4月10日(木) 2時限	栗原	未定※
	三田キャンパス開講 体育方法学演習C8	4月10日(木) 3時限	栗原	未定※
	三田キャンパス開講 体育方法学演習C9	4月11日(金) 1時限	溝畑	未定※
	三田キャンパス開講 体育方法学演習C10	4月11日(金) 2時限	溝畑	未定※
秋	上ヶ原キャンパス開講 全演習科目			総合体育館2F
	三田キャンパス開講 全演習科目			体育館アリーナ

※上記未定の教室が決定しましたら教学Webサービスの「お知らせ」および各学部掲示板にてお知らせいたします。

- 2) 授業場の指示について(教室・教場が変更されている場合があるので授業開始前に必ず確認してください)
上ヶ原キャンパス : 当日の授業場は、総合体育館1Fロビーの「演習科目集合場所」にて指示します。
神戸三田キャンパス: 当日の授業場は、体育館ロビーのホワイトボードにて指示します。
- 3) 受講時の服装などについて
動きやすく通気性のよいトレーニングウェアを着用し、体育館内では屋内専用の運動靴を用意してください。
また、グラウンド等の屋外では運動に適したシューズを用意してください。
- 4) 「総合体育館」(上ヶ原キャンパス) および「体育館アリーナ」(神戸三田キャンパス) の利用にあたって
 - ①ロッカー、下足箱は個人専用でないので、授業終了後は私物を持ち帰ってください。
盗難にあわないよう貴重品の管理には十分注意してください。
 - ②シャワー室は基本的に授業終了後、利用可能です。
 - ③屋外授業で靴に着いた泥や砂は、入り口のマットでよく払ってから入館してください。
- 5) 成績評価について
演習科目の特性上、成績評価には授業予定開講回数の3/4以上の出席を必要とし、出席・態度、技術・体力、レポート等により総合評価します(集中授業と講義科目は「教学Webサービス」のシラバスを参照してください)。

《情報科学科目》

科目詳細は、WEB (http://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_000467.html) を参照してください。予備登録や履修手続きをする前に必ず読むようにしてください。

I. 申込にあたっての注意事項

1. 申込グループ

以下の4グループにつき、1学期間にそれぞれ1クラスずつ、合計4クラス履修できます。

ただし、予備登録（申込）後に定員に余裕があり、追加募集を行う場合はこの限りではありません。

グループ	科目
コンピュータ基礎	コンピュータ基礎
コンピュータ実践（1）	表計算、ホームページ作成、Webコンピューティング、メディアマネジメント、映像処理（秋学期）、情報デザイン（秋学期）
コンピュータ実践（2）	プレゼンテーション、文書作成、画像処理、マルチメディア、データ分析、サウンドメディア（秋学期）、ExcelVBA（秋学期）
コンピュータ言語	JAVA言語、C言語（秋学期）

なお、予備登録（申込）時には各グループにつき、第3希望のクラスまで申し込むことができます。

2. 同一名称科目

下表の科目は同一名称科目として取り扱うので、表の右の科目（旧科目）の単位を既に修得している場合、左の科目（現科目）を履修できません。

現科目	旧科目
コンピュータ実践（Webコンピューティング）	コンピュータ実践（データベース） 《2011年度まで開講》

II. 履修にあたっての諸注意

1. コンピュータ実践・コンピュータ言語の科目はすでにある程度のコンピュータ利用経験を持つ学生を対象として開講するものです。
2. 文学部生・教育学部生はコンピュータ基礎を履修することができません。
3. 理工学部生は全学科目情報科学科目の全ての科目を履修することができません。
4. 総合政策学部生はコンピュータ基礎、文科系学生のための情報技術入門、情報技術概論を履修できません。

《ライフデザイン科目[2012年度以前入学生：学際・連携科目]》

各科目の詳細については、2014年3月20日発行（予定）の「キャリアセンター キャリア教育プログラムガイド」を参照すること。

また、以下の科目については、別途募集要項が公開されるので、要項も熟読し、内容を確認の上履修申請を行うこと。

【募集要項を別途作成・公開する科目】	
●キャリアゼミA	●霞が関セミナー
●キャリアゼミB	●海外インターンシップ*
●キャリアゼミC	(*CIEC「国際教育プログラム募集要項」参照)
●キャリアゼミアドバンスト	

I. 申込にあたっての諸注意

1. 先修条件

①下記の科目を履修するためには、『ソーシャルスキルとチームワーク（インターンシップ実習）』の単位を修得していること。

インターンシップ実習、認定インターンシップA・B

②下記の科目を履修するためには、『キャリアゼミA』、『キャリアゼミB』、『キャリアゼミC』いずれかの単位を修得していること。

キャリアゼミ アドバンスト

2. 集中科目の申し込みについて

以下の科目は、2014年9月卒業見込の者は履修申請ができません。

キャリアゼミB、キャリアゼミ アドバンスト、認定インターンシップA・B、
海外インターンシップ（春集中）

以下の科目は、2015年度3月卒業見込の者は履修申請ができません。

霞が関セミナー、キャリアゼミC、海外インターンシップ（秋集中）

II. 履修にあたっての諸注意

1. 春学期科目（集中科目を含む）

●社会の中での自分（インターンシップ講義）

授業開始までに大学生協書籍部で必ず指定の教材（3,000円）を各自購入のうえ、受講すること。

●キャリアゼミA

授業の開講日が既定の曜日時限以外にも設定されています。開講スケジュールを確認のうえ、すべての日程の受講が可能であることを確認の上履修登録を行うこと。

<2014年度「キャリアゼミA」開講予定日>

金曜日：4月18日(金)、4月25日(金)、5月16日(金)、5月23日(金)、6月20日(金)

土曜日：5月10日(土)、5月31日(土)、6月7日(土)、6月14日(土)

*土曜日の開講時間：13：00～18：00、ただし6月14日は11：00～18：30

●海外インターンシップ

国際教育・協力センターが募集・実施する「短期海外インターンシップ（アメリカ）」に参加し、その取り組み内容を成績評価します。プログラムの実施内容・申込みについては、国際教育・協力センターが発行する「国際教育プログラム募集要項」を参照のこと。

2. 秋学期科目（集中科目を含む）

●海外インターンシップ

国際教育・協力センターが募集・実施する「短期海外インターンシップ（アメリカ）」に参加し、その取り組み内容を成績評価します。プログラムの実施内容・申込みについては、国際教育・協力センターが発行する「国際教育プログラム募集要項」を参照のこと。

《基盤・学際科目[2012年度以前入学生：学際・連携科目]》

I. 申込にあたっての注意事項

1. 同一名称科目

下表の科目は同一名称科目として取り扱うので、表の右の科目(旧科目)の単位を既に修得している場合、左の科目(現科目)を履修できません。

現科目	旧科目
スタディスキルセミナー（論文作成）	スタディスキルセミナー（文章力を身につけよう！）
スタディスキルセミナー（プレゼンテーション）	スタディスキルセミナー（プレゼン力を身につけよう！）

2. 集中科目の申し込みについて

以下の科目は、2014年9月卒業見込の者は履修申込ができません。

連携講座006、連携講座008、連携講座009、連携講座014

II. 履修にあたっての諸注意

1. 通年科目

●社会連携プロジェクト001、002、003

授業日によっては、フィールド調査、イベント実施等学外で行われることがあるので注意すること。また、002「環境マップの作成を通じた地域連携まちづくりの実践」（木曜・4時限）は、授業期間中に数回神戸三田キャンパスの教室を用いて環境マップ作成作業を行うため、木曜・3時限および5時限の科目を履修することはできません。

2. 春学期科目（集中科目を含む）

●連携講座011「現役経営者と学ぶ後継者のためのキャリアデザイン」

本講座は、「実家・親族が家業を営んでいる学生」が対象です。

履修希望者は願書をシラバスよりダウンロード、作成の上、初回授業時に担当者まで提出すること。（履修登録は所定の期間にて別途行うこと）

●平和学特別演習「ヒロシマ」

平和学特別演習「ヒロシマ」の日程は8月3日～8月8日。6月頃、事前説明会を行うので、教学Webサービスでの連絡に注意すること。交通費、宿泊代等の諸費用として30000円（予定）必要。

●連携講座006（早期臨床体験実習）

4種予防接種（麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘）を接種済であることが受講条件のため、4月下旬に受講者全員に抗体検査を実施。

受講者には教学Webサービスで連絡をするので注意すること。

※以下の科目について、開講時間や場所等の詳細は受講者に7月中旬教学Webサービスで連絡をするので注意すること。

●連携講座006（早期臨床体験実習）

●連携講座008（医療入門）

●連携講座009（東洋医学入門）

●連携講座014（臨床ゲノム医学入門）

2014年度免許状取得のための他学部履修について

1 免許状取得のための他学部履修に関する取り扱い

本学在学中の者は、所属する学部（学科）において取得できる免許状以外の免許状を、他学部履修に関する取り扱いによって取得することが可能である。この取り扱いを受けようとする者は、教職教育研究センターで以下の申込手続きを行い、所属学部及び受け入れ学部の承認を経て、教職課程委員会の承認を得ること。履修にあたっては、免許状取得に必要な教職・教科・教科又は教職に関する科目のすべての単位を卒業までに修得できるよう計画を立てなければならない。詳細は、「教職課程等履修要項」を参照すること。

2 2014年度免許状取得のための他学部履修希望者の手続き

(1) 申し込み資格

卒業までに、免許状取得のためのすべての単位を修得できる可能性を持つ者。

(2) 申し込み

日 時：[通年・春学期科目] 3月27日（木）～3月31日（月） 8：50～11：30、12：30～16：50

[秋学期科目] 9月3日（水）～8日（月） 9：00～11：30、12：30～16：00

※1年生については[秋学期科目]からの申し込みとする。

手続き：手順①「履修申込書」（用紙）の受け取り

教職教育研究センター事務室（上ヶ原キャンパスまたは神戸三田キャンパス）にて配付

手順②「履修申込書」の提示（確認）

必要事項を記入した「履修申込書」を教職教育研究センター事務室（上ヶ原キャンパスまたは神戸三田キャンパス）に一旦提出し、確認の上、受付印を押印してもらう。

手順③「履修申込書」の提出

手順②で受け取った「履修申込書」を各自の所属学部の事務室へ提出する。

(3) 履修許可科目の確認

日 時：[通年・春学期科目] 4月9日（水）

[秋学期科目] 9月22日（月）

場 所：所属学部事務室

ただし、同一学部内の他学科履修をしようとする者は、上記手続きは不要とする。

3 「理科」、「数学」、「情報」、「福祉」、「保健体育」の取り扱いについて

(1) 理工学部の「理科」および「情報」は他学部履修できない。

(2) 理工学部物理学科、情報科学科および人間システム工学科の「数学」は他学部履修できない。

(3) 総合政策学部の「情報」は他学部履修できない。

(4) 人間福祉学部社会福祉学科の「福祉」は他学部・他学科履修できない。

(5) 人間福祉学部の「保健体育」は他学部履修できない。

※ なお、教育学部に小学校教員・幼稚園教員・保育士を養成する課程が設置されているが、教育学部生以外の学生は履修できないので、注意すること。

2014年度「博物館実習」履修について

I 先修条件・履修者数制限

1 2014年度「博物館実習」履修者の先修条件は、つぎの通りとする。

【2011年度以前入学生】

「生涯学習概論」2単位、「博物館概論」2単位、「博物館学各論A」2単位、「博物館学各論B」2単位の計4科目8単位を修得すること。

【2012年度以降入学生及び編入学生】

「博物館概論」2単位、「博物館経営論」2単位、「博物館資料論」2単位、「博物館教育論」2単位、の計4科目8単位を修得すること。

2 上記先修条件を満たした履修希望者を対象にオリエンテーションを行う。これに欠席・遅刻した者の履修は原則として認めない。

- 3 先修条件を満たし、「博物館実習オリエンテーション」に出席した履修希望者数が90名（ただし各クラス定員30名）を越える場合は、履修者数制限を行う。
その方法は以下のとおりとする。
- (1) 4年生及び科目等履修生を優先とし、残りについて3年生から抽選する。
 - (2) 抽選は、オリエンテーション終了後、教職教育研究センターにて教職教育研究センター副長の立ち会いのもと厳正に行う。

II 2014年度「博物館実習」履修希望者の手続き

- 1 オリエンテーション出席
日 時：4月1日(火) 13:30~14:30
場 所：第4別館 202号教室（上ヶ原キャンパス）
- 2 履修者発表の確認
（オリエンテーション出席者が90名（ただし各クラスの定員30名）を上回る場合は、上記要領で履修者を決定するので、各自確認すること。）
日 時：4月3日(木) 8:50
場 所：（上ヶ原キャンパス） 教職教育研究センター掲示板
（神戸三田キャンパス） 教職教育研究センター掲示板

（以下は履修が認められた者の手続きである。）

- 3 実習費納入・履修申し込み
日 時：4月3日(木)~5日(土) 8:50~11:30、12:30~16:50
但し、土曜日は上ヶ原キャンパスのみで、8:50~12:20
場 所：（上ヶ原キャンパス） 教職教育研究センター
（神戸三田キャンパス） 教職教育研究センター
※提出は上ヶ原キャンパス・神戸三田キャンパスのみ
方 法：実習費金額(8,000円)の申請書を証明書自動発行機(財務課、学生サービスセンター、図書館、G号館、神戸三田キャンパス I・VI号館、聖和キャンパス、大阪梅田キャンパス)で購入し、実習生カード(要 写真 3.5×4.0cm)とともに提出すること。
- 4 許可されたクラスの第1回授業に必ず出席すること。
- 5 履修登録すること。

2014年度「社会教育実習」履修申し込みについて

- 日 時：4月3日(木)~5日(土) 8:50~11:30、12:30~16:50
但し土曜日は上ヶ原キャンパスのみで8:50~12:20
- 場 所：（上ヶ原キャンパス） 教職教育研究センター
（神戸三田キャンパス） 教職教育研究センター
- 方 法：実習費金額(5,000円)分の証明書発行手数料申込書を証明書自動発行機(財務課、学生サービスセンター、図書館、G号館、神戸三田キャンパス I・VI号館、聖和キャンパス、大阪梅田キャンパス)で購入し、提出すること。
- 注 意：予備登録科目のため、事前に申し込みがない場合は履修登録できない。

教職課程における「教科に関する科目」の履修について

取得しようとする教科の「教科に関する科目」は、すべて所属学部で開講されている。他学部で同じ名称の科目が開講されている場合もあるが、免許状取得のための「教科に関する科目」としては認められないので、十分確認のうえ履修登録すること。

Ⅲ. 試験・レポート等について

試験について

本冊子の「関西学院大学成績評価・試験規程」および「経済学部内規」Ⅱ、試験・出席内規を熟読すること。ただし、全学で統一された定期試験・中間試験期間の他に、一部の科目において期間外に実施日が設定される場合もあるので、掲示には注意しておくこと。

【受験に際しての注意事項】

1. 学生証は必携のこと。紛失した者は証明書自動発行機にて学生証再発行申込書を購入し、すみやかに学生活動支援機構にて再発行の手続きをすること。試験当日学生証を忘れた者は「受験許可証」を発行するので経済学部事務室に来ること。
2. 座席を指定するので、必ず定められた席で受験すること。
3. 解答用紙の試験場外持ち出しは厳禁する。
4. 試験開始後20分を過ぎると試験場に入場できず、受験することができない。
また、試験開始後30分間・試験終了前5分間は退場できない。
5. 不正行為を行った者は停学に付し、当該期間の全科目の試験を無効（0点を表記する）とすると共に訓育を実施する。

【追試験】

次の理由により定期試験を受けられなかった場合に、その事由を説明するに足る書類を所定期日内に提出し、かつ教授会の承認を得た者に限り追試験を実施する。

- a 二親等以内の死亡
- b 本人の病気
- c 試験当日の事故
- d 学校において予防すべき感染症による登校停止
- e 裁判員制度により、候補者として裁判員等選任手続きに参加および裁判員・補充裁判員として職務に従事
- f 以上に相当する事由のある場合

なお、上記a項、d項、e項による事由の場合を除き、追試験の評点は20%を減じる。

出席制について

言語教育科目において、各言語教育科目の欠席時数が規程回数を超えた場合、採点されない（成績表には0点を表記）。詳細については「経済学部内規」（Ⅱ試験・出席内規の2出席制について）および本冊子の言語教育科目P.30を参照のこと。

また、基礎演習において、欠席時数が規定回数を超えた場合、採点されない（成績表には0点を表記）。詳細については「経済学部内規」（Ⅱ試験・出席内規の2出席制について）を参照のこと。

【出席制に関する注意点】

休講(大学祭も含む)の場合はカウントされない。忌引き・病気やクラブ活動等の理由であっても、公欠制度などの規程がないため、欠席扱いとなる。

レポートについて

- ①レポートは原則として経済学部事務室へ本人が提出するものとする。
ただし、学期末の研究演習入門と研究演習Ⅰのレポートは原則として授業担当者へ本人が提出するものとする。
- ②経済学部事務室提出のレポートの受付時間は原則として事務室の開室時間とする。
- ③提出に際しては、所定の表紙（生協にて販売されているもの、もしくは本学教務機構ホームページの「レポート表紙フォーム」よりダウンロードしたもの）を必ずつけ、授業科目名・担当者・学部・学生番号・氏名を明記すること。
- ④提出締め切り期日・時間に遅れたレポートは一切受け付けない。各自余裕を持って提出すること。
- ⑤担当者に直接提出するよう指示された場合は、事務室では受け付けない。
- ⑥いったん提出したレポートの内容の変更・追加等は一切認めない。

レポートにおける^{ひょうせつ}剽窃に対する処分について

経済学部では剽窃（出典を明記することなく文献・資料・データなどを勝手に用いること）に対する事の重大さを鑑み、剽窃が発覚した場合は、定期試験における不正行為の処分内容と同等の扱いとする。
またそれに伴い、経済学部では剽窃判定支援ソフトを導入し、今後は剽窃に対してさらに厳格な姿勢で取り組むことにしている。剽窃が不正行為であるという自覚を持って、レポート作成に取り組むこと。

基礎演習学年末レポートについて

基礎演習学年末レポートは次の要領で提出しなければならない。

- ①基礎演習学年末レポートは、原則本人が直接経済学部事務室へ提出しなければならない。
- ②提出期限
2015年1月8日（木）16:50
- ③提出期限厳守。各自余裕を持って提出すること。
- ④提出に際しては、所定の表紙（生協で販売されているもの、もしくは本学教務事務機構ホームページの「レポート表紙フォーム」よりダウンロードしたもの）を必ずつけ、授業科目名・担当者・学部・学生番号・氏名を明記すること。
- ⑤提出後の変更・追加は認めない。

チャペルについて

毎日（月～金）10：35～11：05のチャペル・アワーに行われる経済学部チャペルに、週1回以上出席すること。
なお、1年生は4月にチャペル・オリエンテーションを行うのでゼミ別に指定された日に必ず出席すること。

2014年度 春学期 履修登録

経済学部

氏名

学年

番

	月			火			水			木			金		
	授業科目名	担当者	単位												
I															
II															
III															
IV															
V															
集中															
講義															
	合計														
	単位														

2014年度 秋学期 履修登録

経済学部

学年

番

氏名

	月		火		水		木		金	
	授業科目名	担当者								
I										
II										
III										
IV										
V										
集中										
講義										

合計 _____ 単位

IV. 教育課程表

2013・2014年度入学生

〈学則別表〉 経済学部教育課程表 (2013・2014年度入学生)

Table with columns for '履修基準年度' (Academic Year), '経済学部開設総合教育科目' (General Education Courses), '経済学部開設専門教育科目' (Specialized Education Courses), and '教職等資格科目' (Teacher Qualification Courses). It details course numbers, credits, and requirements for students entering in 2013, 2014, 2015, and 2016.

〈備考〉 ①*印のついている科目は全学科目である。

②英語・フランス語・ドイツ語インテグレーションプログラムの単位をもって、言語教育科目の必修・選択必修科目単位の一部に代えることができる。

③外国人留学生入学試験を受けて入学した者は、必修外国語を日本語とする。選択必修外国語については、母語以外の外国語を選択必修とする。

(裏面に続く)

(2)

コース別選択必修科目一覧

1 コース以上を選択し、各コースで定められた科目 (○印) のうち20単位を必修とする。

	履修標準年度	単位	配分先	コース名				
				日本経済と財政・金融	地域政策 (経法連携)	日本の企業と家計	世界経済の思想と文化	グローバル経済と環境・資源
マクロ経済学 I	2年	2	標準	○	○	○	○	○
マクロ経済学 II	2年	2	標準	○	○	○	○	○
ミクロ経済学 I	2年	2	標準	○	○	○	○	○
ミクロ経済学 II	2年	2	標準	○	○	○	○	○
マクロ経済学とその応用 A	2年	2	応用	○	○	○	○	○
マクロ経済学とその応用 B	2年	2	応用	○	○	○	○	○
ミクロ経済学とその応用 A	2年	2	応用	○	○	○	○	○
ミクロ経済学とその応用 B	2年	2	応用	○	○	○	○	○
経済統計学 A	2年	2	標準	○	○	○	○	○
経済統計学 B	2年	2	標準	○	○	○	○	○
計量経済学	2年	2	標準	○	○	○	○	○
中級計量経済学 I	2年	2	応用	○	○	○	○	○
中級計量経済学 II	2年	2	応用	○	○	○	○	○
経済情報処理	2年	2	標準	○	○	○	○	○
数理統計	2年	2	応用	○	○	○	○	○
経済学史 A	2年	2	応用					
経済学史 B	2年	2	応用					
近代経済学史 A	2年	2	応用					
近代経済学史 B	2年	2	応用					
社会思想史 A	2年	2	標準	○	○	○	○	○
社会思想史 B	2年	2	標準	○	○	○	○	○
経済学 A	2年	2	標準	○	○	○	○	○
経済学 B	2年	2	標準	○	○	○	○	○
日本経済史 I	2年	2	標準					
日本経済史 II	2年	2	標準					
外国経済史 I	2年	2	標準					
外国経済史 II	2年	2	標準					
現代日本経済史	2年	2	応用					
現代外国経済史	2年	2	応用					
財政学 A	2年	2	標準	○	○	○	○	○
財政学 B	2年	2	標準	○	○	○	○	○
財政トビックス	2年	2	応用	○	○	○	○	○
国と地方関係論	2年	2	応用	○	○	○	○	○
マクロ金融論	2年	2	標準	○	○	○	○	○
ミクロ金融論	2年	2	標準	○	○	○	○	○
金融政策論	2年	2	応用	○	○	○	○	○
国際金融論	2年	2	応用	○	○	○	○	○
金融機関論	2年	2	応用	○	○	○	○	○
資本市場論	2年	2	応用	○	○	○	○	○
ファイナンス論	2年	2	応用	○	○	○	○	○
企業金融論	2年	2	標準					
現代産業論 A	2年	2	標準					
現代産業論 B	2年	2	標準					
産業組織論 A	2年	2	標準					
産業組織論 B	2年	2	標準					
中級産業組織論	2年	2	標準					
規制経済論	2年	2	応用					
流通経済論 A	2年	2	応用					
流通経済論 B	2年	2	応用					
農業経済論 A	2年	2	標準					
農業経済論 B	2年	2	標準					
中小企業論 A	2年	2	標準					
中小企業論 B	2年	2	標準					
ベンチャービジネス A	2年	2	標準					
ベンチャービジネス B	2年	2	標準					
競争政策 A	2年	2	応用					
競争政策 B	2年	2	応用					
地域経済論	2年	2	標準	○	○	○	○	○
都市経済論	2年	2	標準	○	○	○	○	○
公共経済論	2年	2	標準	○	○	○	○	○
環境・資源経済学	2年	2	標準	○	○	○	○	○
中級環境・資源経済学	2年	2	標準					
社会政策 A	2年	2	標準					
社会政策 B	2年	2	標準					
社会保障論 A	2年	2	標準					
社会保障論 B	2年	2	標準					
労働経済学 A	2年	2	標準					
労働経済学 B	2年	2	標準					
中級労働経済学 A	2年	2	標準					
中級労働経済学 B	2年	2	標準					
国際経済学	2年	2	標準					
中級国際経済学	2年	2	標準					
国際経済政策	2年	2	標準					
中級国際経済政策	2年	2	標準					
開発経済学	2年	2	標準					
中級開発経済学	2年	2	標準					
アジア経済論 A	2年	2	標準	○	○	○	○	○
アジア経済論 B	2年	2	標準	○	○	○	○	○
自治体経営論	2年	2	応用	○	○	○	○	○
地域フォーカ分析	2年	2	応用	○	○	○	○	○
関西経済論	2年	2	標準					
行政法概論	2年	2	標準					
行政作用法	2年	2	標準					
地域政策コース導入演習	2年	2	標準					
国家補償法	3年	2	応用					
行政訴訟法	3年	2	応用					
地方自治法	3年	2	応用					
環埴法	3年	2	応用					
都市法	3年	2	応用					
自治体法務	3年	2	応用					
社会保険法	3年	2	応用					
行政学 B	2年	2	標準					
行政学 A	2年	2	標準					
公共政策論 B	3年	2	標準					
公共政策論 A	3年	2	標準					
NPO/NGOと市民社会	2年	2	標準					
地域政策論	2年	2	標準					
地方自治論	3年	2	応用					
地方自治論	3年	2	応用					
政策評論論	3年	2	応用					
地域政策トビックス	3年	2	標準	○	○	○	○	○
地域政策演習 A	2年	2	標準					
地域政策演習 B	2年	2	標準					
公共政策実践演習 A	3年	2	応用					
公共政策実践演習 B	3年	2	応用					
地域イノベーション実習	3年	1.2	応用					
経済地理学 A	2年	2	応用	○	○	○	○	○
経済地理学 B	2年	2	応用	○	○	○	○	○
人口と経済発展 A	2年	2	応用	○	○	○	○	○
人口と経済発展 B	2年	2	応用	○	○	○	○	○
法と経済学 I	2年	2	応用	○	○	○	○	○
法と経済学 II	2年	2	応用	○	○	○	○	○
家計経済学 I	2年	2	応用					
家計経済学 II	2年	2	応用					
経済学のための数学ツール A	2年	2	応用					
経済学のための数学ツール B	2年	2	標準	○	○	○	○	○
文化と社会の経済学 A	2年	2	応用					
文化と社会の経済学 B	2年	2	応用					
企業経済学 A	2年	2	応用					
企業経済学 B	2年	2	応用					
実証国際経済学 A	2年	2	応用					
実証国際経済学 B	2年	2	応用					
社会科学概論 A	2年	2	応用	○	○	○	○	○
社会科学概論 B	2年	2	応用	○	○	○	○	○
中級マクロ経済学	2年	2	応用					
中級マクロ経済学	2年	2	応用					
Topics in Economics (in English) A	2年	2	応用	○	○	○	○	○
Topics in Economics (in English) B	2年	2	応用	○	○	○	○	○
Topics in Economics (in English) C	2年	2	応用	○	○	○	○	○
Topics in Economics (in English) D	2年	2	応用	○	○	○	○	○
Japanese and Asian Economies A	2年	2	応用	○	○	○	○	○
Japanese and Asian Economies B	2年	2	応用	○	○	○	○	○
単位数合計				112	118	124	86	90
科目数合計				56科目	59科目	61科目	43科目	45科目
コース必修単位数				コースで定められた科目	59科目以上	28単位以上	選択必修 (その内コースに定められた応用科目から6単位以上)	選択必修

(注1) 「」を履修するには、まず「」を修得しなければなりません。「」のみの修得も可。また、「A・B」は「A」のみ修得、「A」「B」とも修得のいずれも可 (修得の順字は問わない)。

2012年度入学生

〈学則別表〉 経済学部教育課程表 (2012年度入学生)

Table with columns for '履修基準年度' (Academic Year), '経済学部開設総合教育科目' (General Education Courses), '経済学部開設専門教育科目' (Specialized Education Courses), and '教職等資格科目' (Teacher Qualification Courses). It lists various subjects like Language and Communication, Academic Writing, and Economics, along with their credit values and prerequisites.

備考) ①*印のついている科目は全学科目である。
②英語・フランス語・ドイツ語インテグレーションプログラムの単位をもって、言語教育科目の必修・選択必修科目単位の一部に代えることができる。
③外国人留学生入学試験を受けて入学した者は、必修外国語を日本語とする。選択必修外国語については、母語以外の外国語を選択必修とする。

(2)

コース別選択必修科目一覧

1 コース以上を選択し、各コースで定められた科目 (○印) のうち20単位を必修とする。

	履修標準年度	単位	配分先	コース名				
				日本経済と財政・金融	地域政策 (経法連携)	日本の企業と家計	世界経済の思想と文化	グローバル経済と環境・資源
マクロ経済学 I	2年	2	標準	○	○	○	○	○
マクロ経済学 II	2年	2	標準	○	○	○	○	○
ミクロ経済学 I	2年	2	標準	○	○	○	○	○
ミクロ経済学 II	2年	2	標準	○	○	○	○	○
マクロ経済学とその応用 A	2年	2	応用	○	○	○	○	○
マクロ経済学とその応用 B	2年	2	応用	○	○	○	○	○
ミクロ経済学とその応用 A	2年	2	応用	○	○	○	○	○
ミクロ経済学とその応用 B	2年	2	応用	○	○	○	○	○
経済統計学 A	2年	2	標準	○	○	○	○	○
経済統計学 B	2年	2	標準	○	○	○	○	○
計量経済学	2年	2	標準	○	○	○	○	○
中級計量経済学 I	2年	2	応用	○	○	○	○	○
中級計量経済学 II	2年	2	応用	○	○	○	○	○
経済情報処理	2年	2	標準	○	○	○	○	○
数理統計	2年	2	応用	○	○	○	○	○
経済学史 A	2年	2	応用					
経済学史 B	2年	2	応用					
近代経済学史 A	2年	2	応用					
近代経済学史 B	2年	2	応用					
社会思想史 A	2年	2	標準	○	○	○	○	○
社会思想史 B	2年	2	標準	○	○	○	○	○
経済学 A	2年	2	標準	○	○	○	○	○
経済学 B	2年	2	標準	○	○	○	○	○
日本経済史 I	2年	2	標準					
日本経済史 II	2年	2	標準					
外国経済史 I	2年	2	標準					
外国経済史 II	2年	2	標準					
現代日本経済史	2年	2	応用					
現代外国経済史	2年	2	応用					
財政学 A	2年	2	標準	○	○	○	○	○
財政学 B	2年	2	標準	○	○	○	○	○
財政トビックス	2年	2	応用	○	○	○		
国と地方関係論	2年	2	応用	○	○	○		
マクロ金融論	2年	2	標準	○	○	○		
ミクロ金融論	2年	2	標準	○	○	○		
金融政策論	2年	2	応用	○	○	○		
中央銀行論	2年	2	応用	○	○	○		
国際金融論	2年	2	応用	○	○	○		
国際金融システム論	2年	2	応用	○	○	○		○
金融機関論	2年	2	応用	○	○	○		
資本市場論	2年	2	応用	○	○	○		
ファイナンス論	2年	2	応用	○	○	○		
企業金融論	2年	2	応用	○	○	○		
現代産業論 A	2年	2	標準					○
現代産業論 B	2年	2	標準					○
産業組織論 A	2年	2	標準					○
産業組織論 B	2年	2	標準					○
中級産業組織論	2年	2	応用					
規制経済論	2年	2	応用					
流通経済論 A	2年	2	応用					
流通経済論 B	2年	2	応用					
農業経済論 A	2年	2	標準					
農業経済論 B	2年	2	標準					
中小企業論 A	2年	2	応用					
中小企業論 B	2年	2	応用					
ベンチャービジネス A	2年	2	標準					
ベンチャービジネス B	2年	2	標準					
競争政策 A	2年	2	応用					
競争政策 B	2年	2	応用					
地域経済論	2年	2	応用	○	○	○	○	
都市経済論	2年	2	標準	○	○	○		
公共経済論	2年	2	応用	○	○	○		○
環境・資源経済学	2年	2	標準					
中級環境・資源経済学	2年	2	応用					○
社会政策 A	2年	2	標準					
社会政策 B	2年	2	標準					
社会保障論 A	2年	2	応用		○	○	○	
社会保障論 B	2年	2	応用		○	○	○	
労働経済学 A	2年	2	標準					
労働経済学 B	2年	2	標準					
中級労働経済学 A	2年	2	応用					
中級労働経済学 B	2年	2	応用					
国際経済学	2年	2	標準				○	
国際経済学	2年	2	標準					
中級国際経済政策	2年	2	応用					
国際経済学	2年	2	標準					
中級国際経済学	2年	2	標準					
行政作用法	2年	2	標準					
地域政策コース導入演習	2年	2	標準					
国家補償法	3年	2	応用		○	○		
行政訴訟法	3年	2	応用		○	○		
地方自治法	3年	2	応用		○	○		
環境法	3年	2	応用		○	○		
都市法	3年	2	応用		○	○		
自治体法務	3年	2	応用		○	○		
社会保障法	3年	2	応用		○	○		
公共政策論 A	2年	2	標準		○	○		
公共政策論 B	2年	2	標準		○	○		
NPO/NGOと市民社会	2年	2	標準		○	○		
地域政策論	2年	2	標準		○	○		
地方自治論	3年	2	応用		○	○		
地方政治論	3年	2	応用		○	○		
政策評価論	3年	2	応用		○	○		
地域政策トビックス	3年	2	応用	○				
地域政策演習 A	2年	2	標準					
地域政策演習 B	2年	2	標準					
公共政策実践演習 A	3年	2	応用					
公共政策実践演習 B	3年	2	応用					
地域イノベーション実習	3年	1.2	応用					
経済地理学 A	2年	2	応用		○	○		○
経済地理学 B	2年	2	応用		○	○		○
人口と経済発展 A	2年	2	応用	○				○
人口と経済発展 B	2年	2	応用	○				○
法と経済学 I	2年	2	応用	○		○		○
法と経済学 II	2年	2	応用	○		○		○
家計経済学 I	2年	2	応用					
家計経済学 II	2年	2	応用					
経済学のための数学ツール A	2年	2	応用	○				○
経済学のための数学ツール B	2年	2	応用	○				○
文化と社会の経済学 A	2年	2	標準					
文化と社会の経済学 B	2年	2	標準					
企業経済学 A	2年	2	応用					○
企業経済学 B	2年	2	応用					○
実証国際経済学 A	2年	2	応用					○
実証国際経済学 B	2年	2	応用					○
社会科学概論 A	2年	2	応用	○	○	○	○	○
社会科学概論 B	2年	2	応用	○	○	○	○	○
中級マクロ経済学	2年	2	応用	○				○
中級マクロ経済学	2年	2	応用	○				○
Topics in Economics (in English) A	2年	2	応用	○				○
Topics in Economics (in English) B	2年	2	応用	○				○
Topics in Economics (in English) C	2年	2	応用	○				○
Topics in Economics (in English) D	2年	2	応用	○				○
Japanese and Asian Economies A	2年	2	応用	○				○
Japanese and Asian Economies B	2年	2	応用	○				○
単位数合計		2		116	118	122	44	92
科目数合計				58科目	59科目	61科目	44科目	46科目
コース必修単位数				コースで定められた科目より28単位以上選択必修 (その内コースに定められた応用科目から6単位以上選択必修)				

(注1) 「○」を履修するには、まず「□」を修得しなければなりません。「□」のみの修得も可。また、「A・B」は「A」のみ修得、「B」のみ修得、「A」「B」とも修得のいずれも可 (修得の順序は問わない)。